資料－３

第１７８回女川原子力発電所環境調査測定技術会資料

女川原子力発電所
温排水調査結果（案）

令 和 ７ 年 度

目　　次

1.はじめに …… 1
2.調査結果の概要
(1)物理調査
a.水温・塩分調査 …… 1
b.水温調査（モニタリング） …… 1
c.流動調査 …… 1
d.水質調査 …… 1
e.底質調査 …… 2
(2)生物調査
a.プランクトン調査 …… 2
b.卵・稚仔調査 …… 2
c.底生生物調査 …… 2
d.潮間帯生物調査 …… 3
e.海藻群落調査 …… 3

資　　料

第Ⅰ編　物理調査
Ⅰ－１　調査方法 …… 47
Ⅰ－２　調査結果
水温・塩分調査 …… 50
水温調査（モニタリング） …… 84
流動調査 …… 91
水質調査 …… 116
底質調査 …… 141
気象観測 …… 149

第Ⅱ編　生物調査
Ⅱ－１　調査方法 …… 152
Ⅱ－２　調査結果
プランクトン調査 …… 155
卵・稚仔調査 …… 169
底生生物調査 …… 178
潮間帯生物調査 …… 183
海藻群落調査 …… 192
漁業漁獲調査 …… 194
養殖生物調査 …… 197

第Ⅲ編　調査結果の長期的な変動傾向
Ⅲ－１　物理調査
水質調査 …… 199
底質調査 …… 202

Ⅲ－２　生物調査
プランクトン調査 …… 205
卵・稚仔調査 …… 209
底生生物調査 …… 212
潮間帯生物調査 …… 214
海藻群落調査 …… 217
Ⅲ－３　養殖漁場環境
水質調査 …… 219
底質調査 …… 222

参考資料

・プランクトン沈殿量 …… 224
・植物・動物プランクトン出現種一覧表 …… 226
・マクロプランクトン出現種一覧表 …… 233
・海藻群落鉛直断面分布 …… 235
・水温・塩分調査における平年値と平年偏差 …… 267

1. はじめに

本報告書は,「女川原子力発電所環境放射能及び温排水測定基本計画」に基づき，令和7年度（令和7年4月1日～令和8年3月31日）に実施した温排水調査結果について報告するものである。

2. 調査結果の概要

令和7年度調査結果（令和7年4月～令和8年3月）と令和6年度以前における過去の測定値との比較検討を行った。その結果，温排水の影響と考えられる異常な値は観測されなかった。

以下，調査事項ごとにその概要について述べる。

(1) 物理調査

a. 水温・塩分調査

(a) 水温（図－１）

10月の前面海域，2,3号機浮上点及び周辺海域で過去同期の測定範囲を上回った。これは沖合から流入した暖水の影響によるものと考えられた。

浮上点及び浮上点近傍と取水口前面水温との較差については,7月のSt.32-取水口前面で過去同期の測定範囲を下回った。

(b) 塩分（図－２）

各調査時期の測定値は，過去同期の測定値の範囲内にあった。

b. 水温調査（モニタリング）（図－３）

8月の湾中央部で過去同期の測定範囲を上回った。これは沖合から流入した暖水の影響によるものと考えられた。

月旬平均水温をみると，前面海域の水温は，女川湾沿岸と比較して，4月上旬から9月下旬でSt.６（1号機取水口）を除き，同範囲またはやや低め，10月上旬から１月中旬でやや高め，その他についてはほぼ同範囲に推移していた。

c. 流動調査

(a) 流向（図－４～５）

最多出現流向は，過去の傾向とほぼ同様であった。

(b) 流速（図－６）

最多出現流速範囲は，過去の傾向とほぼ同様であった。

d. 水質調査（図－７）

過去の発電所前面海域における評価点の調査月別測定値の範囲を上回った項目は，水温が10月の海面下0.5m層，海面下10m層，塩分が7月の海面下0.5m層，硝酸態窒素(NO_3-N)が7月の海面下10m層であった。

過去の発電所前面海域における評価点の調査月別測定値の範囲を下回った項目は,水素イオン濃度（pH）が8月の海面下0.5m層であった。

その他の項目については，過去同期の測定値の範囲内であった。

なお,発電所前面海域で過去同期の測定値の範囲を外れたものがいくつかの項目でみられたが,沖合の暖水の影響による水温を除くと,発電所周辺海域や過去同期の測定値との差はわずかであり，大きな変動は認められなかった。

e. 底質調査（図－８）

評価点別の年間測定値は，すべての項目で過去の測定値の範囲内にあった。

(2) 生物調査

a. プランクトン調査（図－９～１０，表－１～４）

過去の調査月別の調査海域（評価点）全体における測定値の範囲を上回った項目は，植物プランクトン（採水法）の2月の出現細胞数であった。その他の項目については過去の測定値の範囲内にあった。

主な出現種についてみると，植物プランクトン（採水法）及び動物プランクトン（ネット法）の各調査月で，過去とほぼ同様の出現傾向にあり，大きな差異はみられなかった。

なお，調査海域（評価点）全体における代表的な種の季節別経年変化をみると，植物プランクトンの*Chaetoceros sociale*が本年度の2月に増加傾向，動物プランクトンの*Fritillaria* spp.が過去と異なる傾向がみられた。それ以外は近年における大きな変動傾向はみられなかった（図Ⅲ－３～４参照）。

b. 卵・稚仔調査（図－１１，表－５～８）

過去の調査月別の調査海域(評価点)全体における測定値は,過去の測定値の範囲内にあった。

主な出現種についてみると，卵の各調査月，稚仔の5月，8月及び2月で過去とほぼ同様の出現傾向にあり，大きな差異はみられなかった。

稚仔の11月については，過去の出現傾向とは異なるが，いずれも女川湾において生息が確認されている種であった。

なお，調査海域（評価点）全体における代表的な種の季節別経年変化をみると，ハゼ科とイソギンポの稚仔が本年度の8月に増加傾向がみられた。それ以外は近年における大きな変動傾向はみられなかった（図Ⅲ－５参照）。

c. 底生生物調査（図－１２，表－９～１０）

評価点別の年間測定値は，過去の測定値の範囲内にあった。

主な出現種についてみると，発電所周辺海域のSt. 5（湾奥）及びSt. 9（湾口），発電所前面海域のSt. 12及びSt. 14については，過去と同様の出現傾向にあり，大きな差異はみられなかった。

発電所周辺海域のSt. 15（湾外），発電所前面海域のSt. 10及びSt. 11については，過去の出現傾向とは異なるが，いずれも女川湾において生息が確認されている種であった。

なお，各調査海域区分における代表的な種の評価点別経年変化をみると，近年における大きな変動はみられなかった（図Ⅲ－６参照）。

d. 潮間帯生物調査（図－１３，表－１１～１４）

過去の評価点別の年間測定値の範囲を上回った項目は，潮間帯植物の発電所前面海域のSt. 30及びSt. 31の潮下帯の出現湿重量，St. 33の低潮帯及び潮下帯の出現種類数であった。

過去の評価点別の年間測定値の範囲を下回った項目は，潮間帯植物の発電所前面海域のSt. 31の潮下帯の出現種類数及び出現湿重量，潮間帯動物の発電所前面海域のSt. 30の低潮帯の出現種類数及び高潮帯の出現個体数，St. 31の低潮帯の出現種類数であった。その他の項目については過去の測定値の範囲内にあった。

潮間帯植物の主な出現種についてみると，発電所前面海域のSt. 30，St. 31，St. 32及びSt. 33については，過去と同様の出現傾向にあり，大きな差異はみられなかった。

発電所周辺海域のSt. 28（湾口）及びSt. 34（湾外）については，過去の出現傾向とは異なるが，いずれも女川湾において生息が確認されている種であった。

なお，各調査海域区分における代表的な種の評価点別経年変化をみると，一部の地点でアマノリ属及びワカメの増加傾向が見られたが，その他では大きな変動傾向はみられなかった（図Ⅲ－７参照）。

潮間帯動物の主な出現種についてみると，発電所周辺海域のSt. 28（湾口）及びSt. 34（湾外），発電所前面海域のSt. 30については，過去と同様の出現傾向にあり，大きな差異はみられなかった。

発電所前面海域のSt. 31，St. 32及びSt. 33については，過去の出現傾向とは異なるが，いずれも女川湾において生息が確認されている種であった。

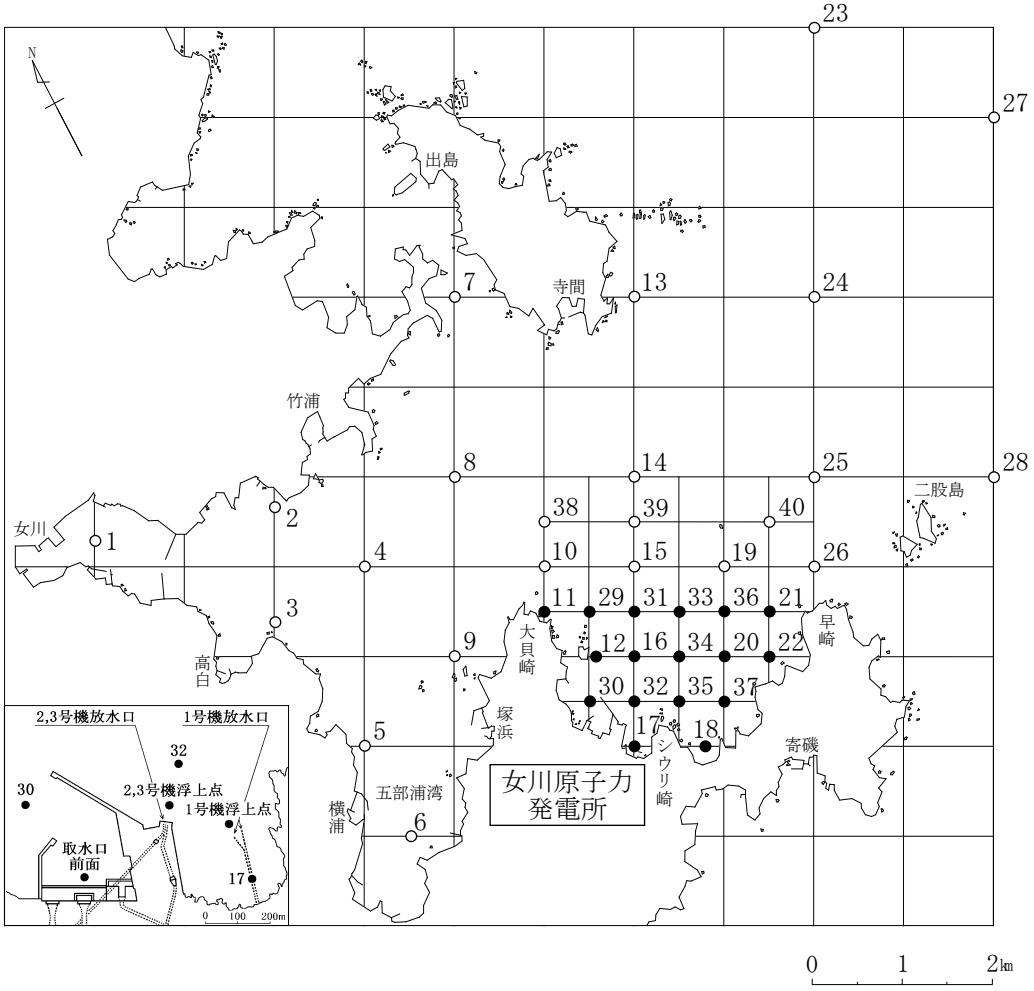
なお，各調査海域区分における代表的な種の評価点別経年変化をみると，近年における大きな変動傾向はみられなかった（図Ⅲ－７参照）。

e. 海藻群落調査（図－１４，表－１５～１７）

評価点別の年間測定値は，過去の測定値の範囲内にあった。

主な出現種についてみると，各評価点とも過去と同様の出現傾向にあり，大きな差異はみられなかった。

なお，各調査海域区分における代表的な種の評価点別経年変化をみると，近年における大きな変動傾向はみられなかった（図Ⅲ－８参照）。



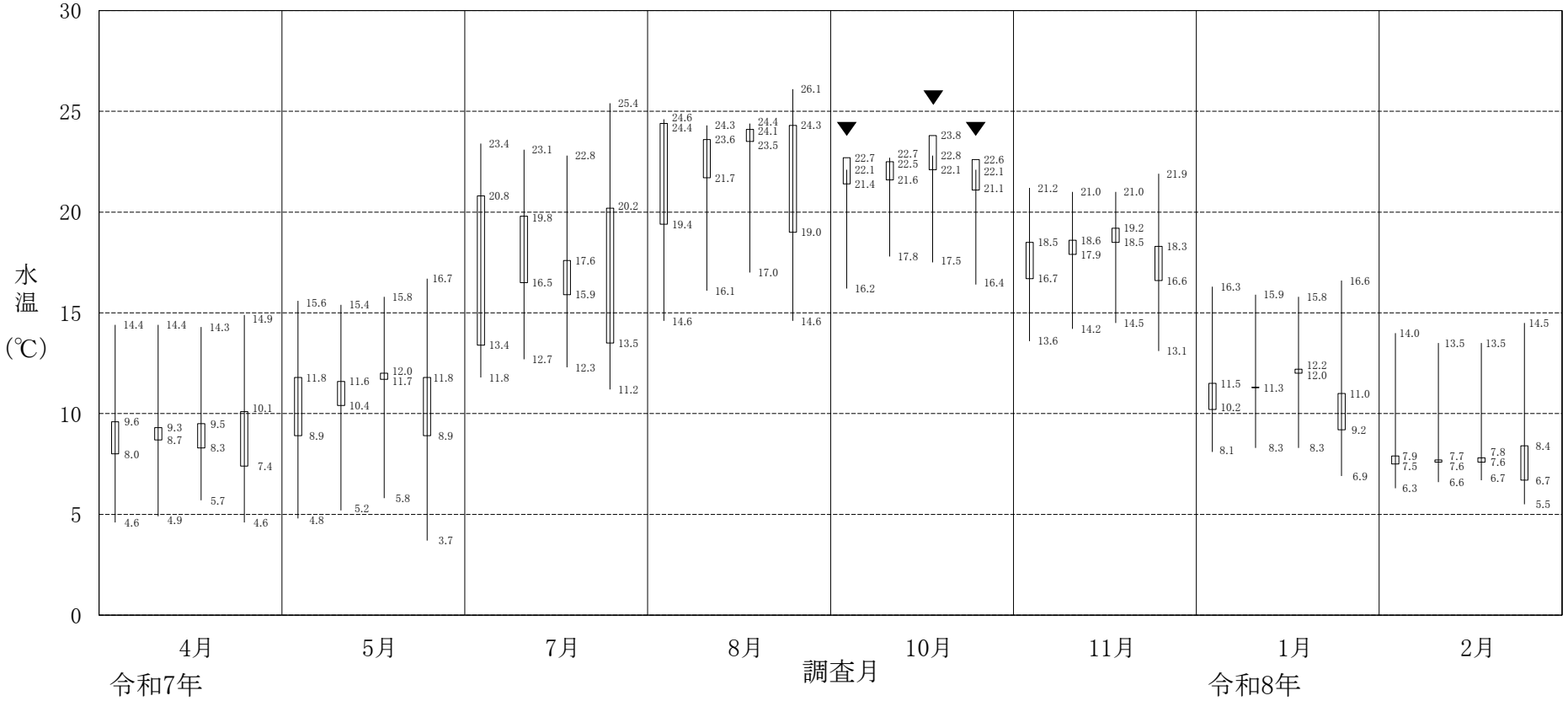
（測定者：宮城県及び東北電力）

凡例	● 前面海域の調査点
	○ 周辺海域の調査点

注１　各浮上点は，発電所運転中に測位した地点を示す。

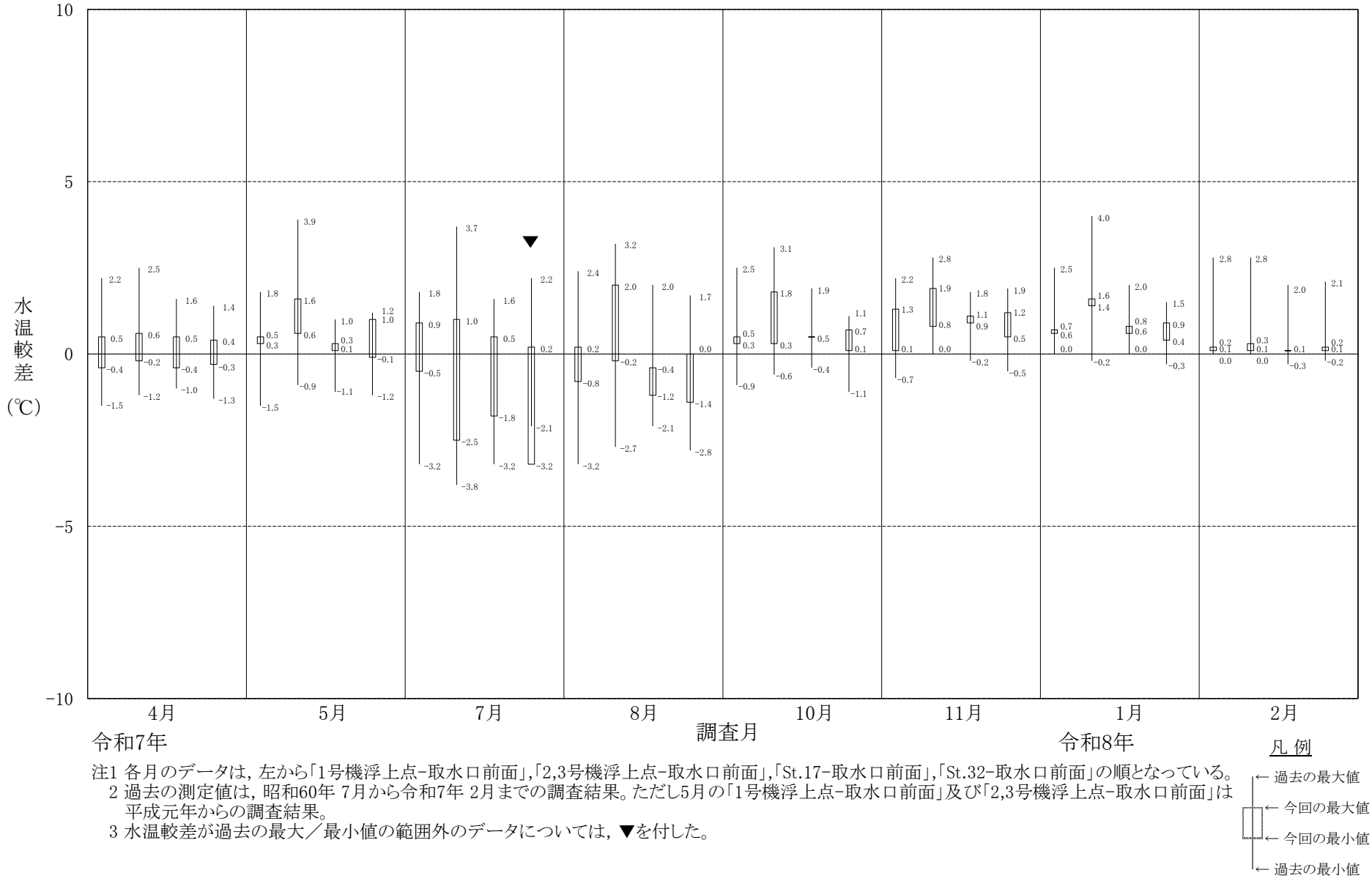
　２　大貝崎と早崎を結ぶ線の内側部分を「前面海域」，その他を「周辺海域」とする。

図－１－(1)　水温･塩分調査位置



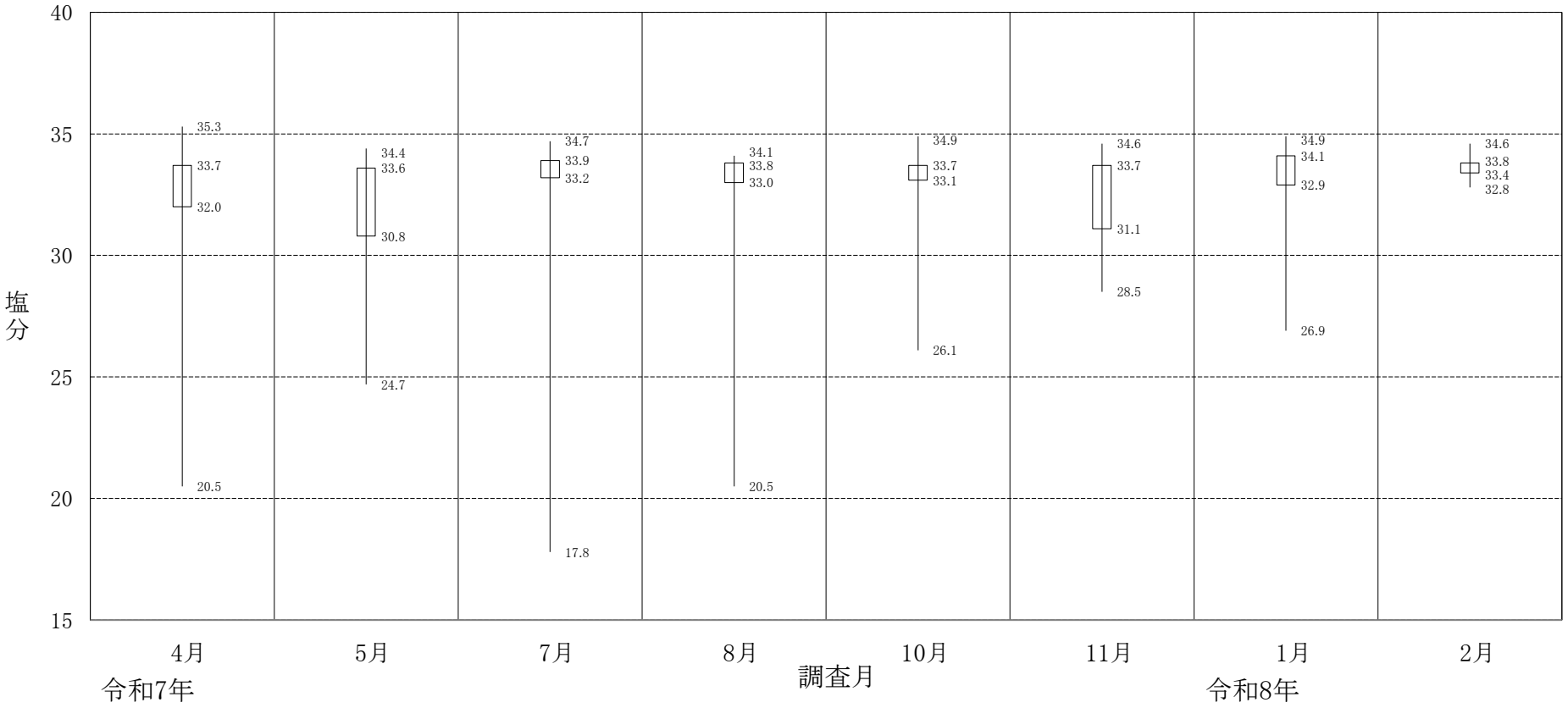
注1 各月のデータは，左から「前面海域」，「1号機浮上点」，「2,3号機浮上点」，「周辺海域」の順となっている。
2 「前面海域」とは，大貝崎と早崎とを結ぶ線の内側を示す。ただし，浮上点を除く。
3 過去の測定値は，昭和59年 7月から令和7年 2月までの調査結果。ただし，「2,3号機浮上点(2号機浮上点)」は，平成 7年 1月からの調査結果。
4 測定値が過去の最大／最小値の範囲外のデータについては，▼を付した。

図－1－(2) 水温・塩分調査時の水温範囲(測定値の比較)



注1 各月のデータは，左から「1号機浮上点−取水口前面」,「2,3号機浮上点−取水口前面」,「St.17−取水口前面」,「St.32−取水口前面」の順となっている。
2 過去の測定値は，昭和60年 7月から令和7年 2月までの調査結果。ただし5月の「1号機浮上点−取水口前面」及び「2,3号機浮上点−取水口前面」は平成元年からの調査結果。
3 水温較差が過去の最大／最小値の範囲外のデータについては，▼を付した。

図－1－(3) 水温・塩分調査時の浮上点及び浮上点近傍の水温と取水口前面水温との較差(測定値の比較)

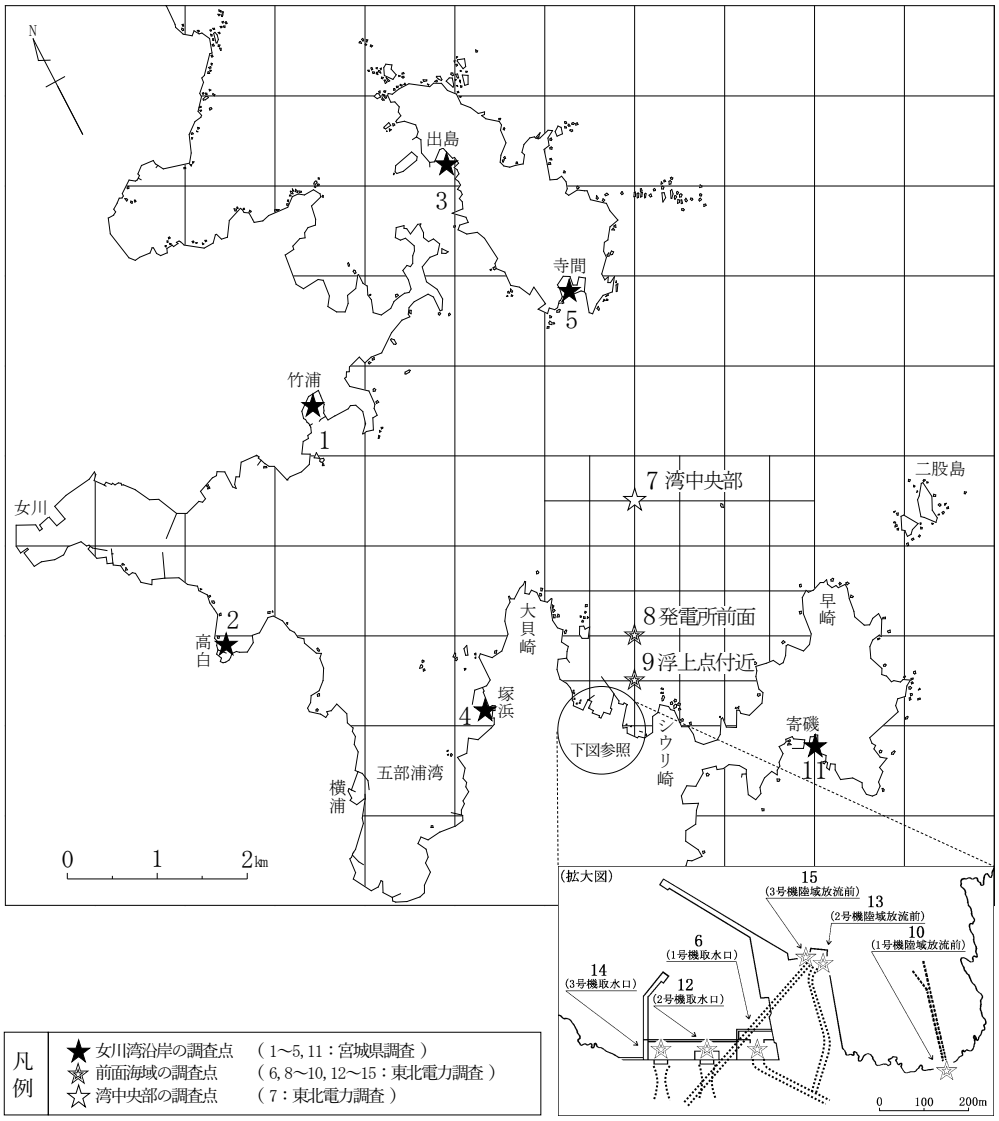


凡 例

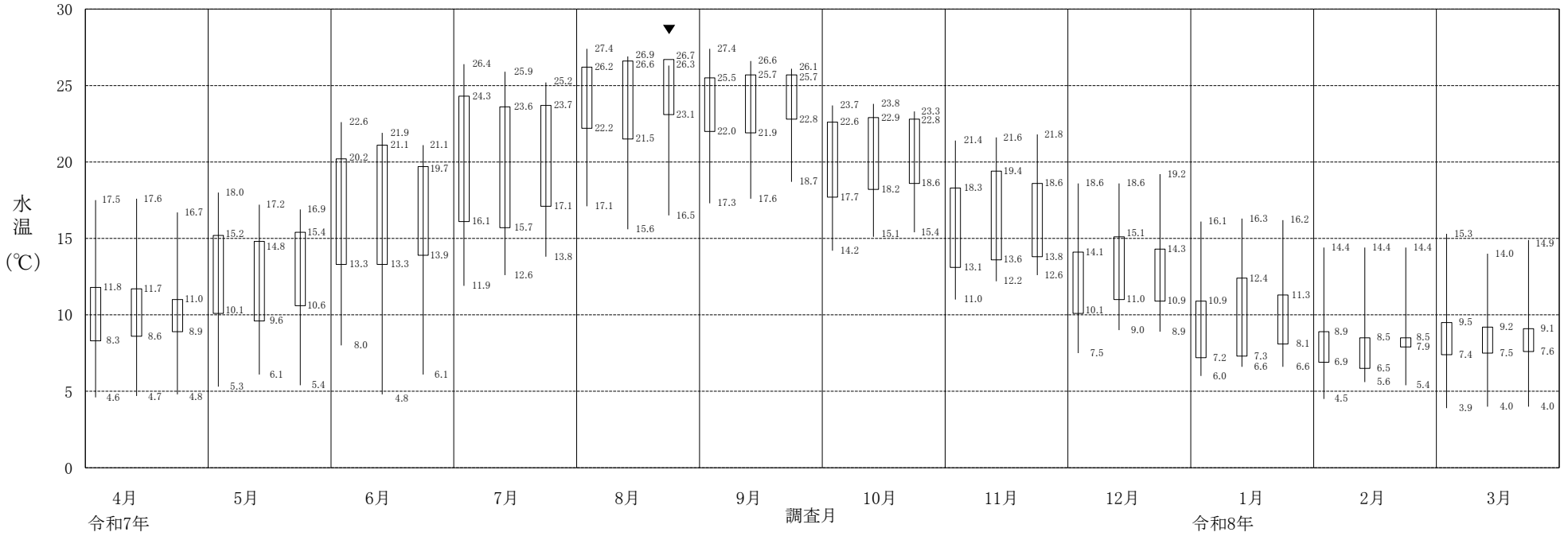
← 過去の最大値
← 今回の最大値
← 今回の最小値
← 過去の最小値

注1 過去の測定値は，昭和59年 7月から令和7年 2月までの調査結果。
2 実用塩分(気象庁「海洋観測指針」による)であり，電気伝導度比により定義されるため単位はない。海水1kg中に含まれる塩分(g)と同程度の値を示す。

図－2 水温・塩分調査時の塩分範囲(測定値の比較)

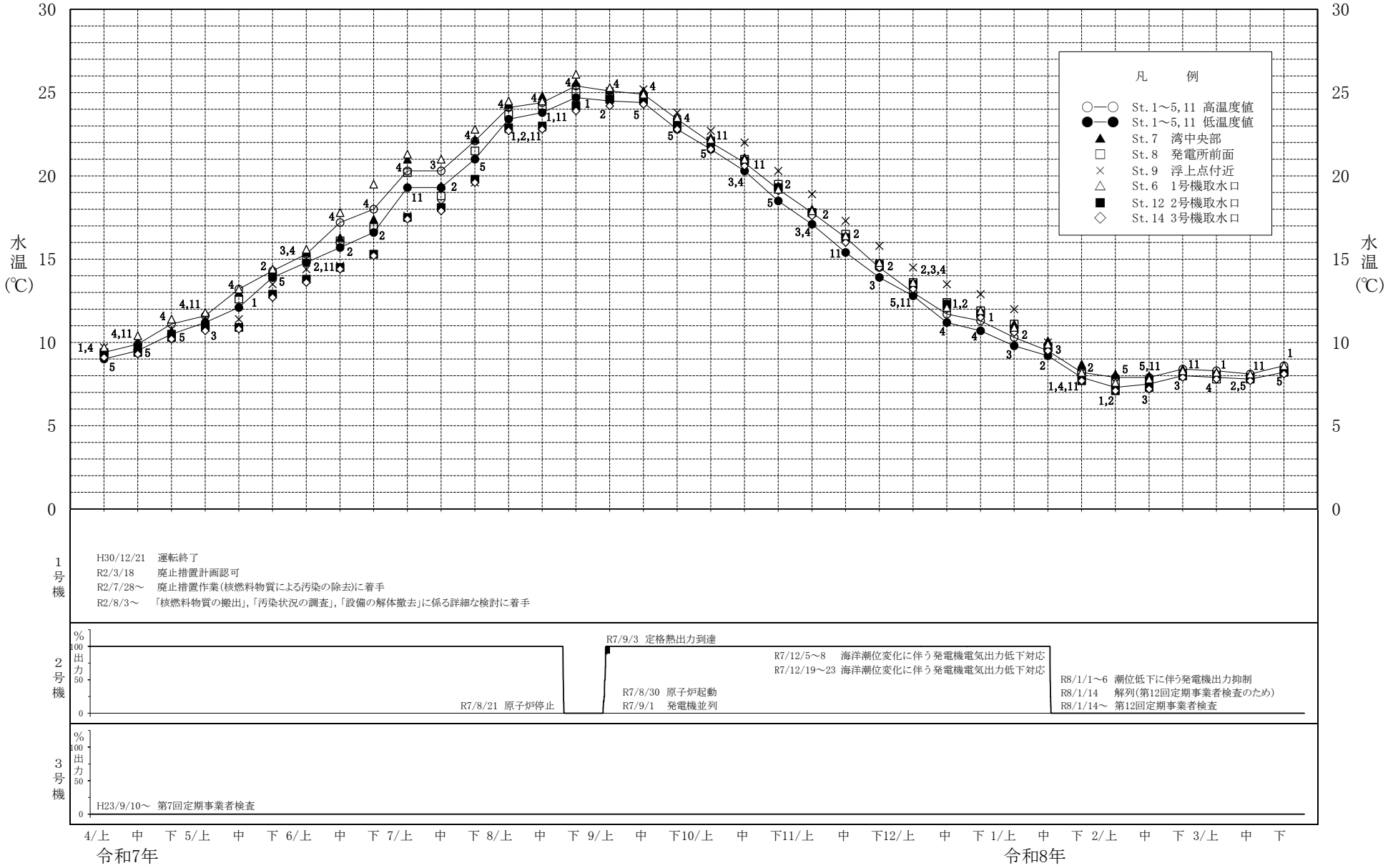


図－3－(1) 水温調査(モニタリング)位置(St.1～15)

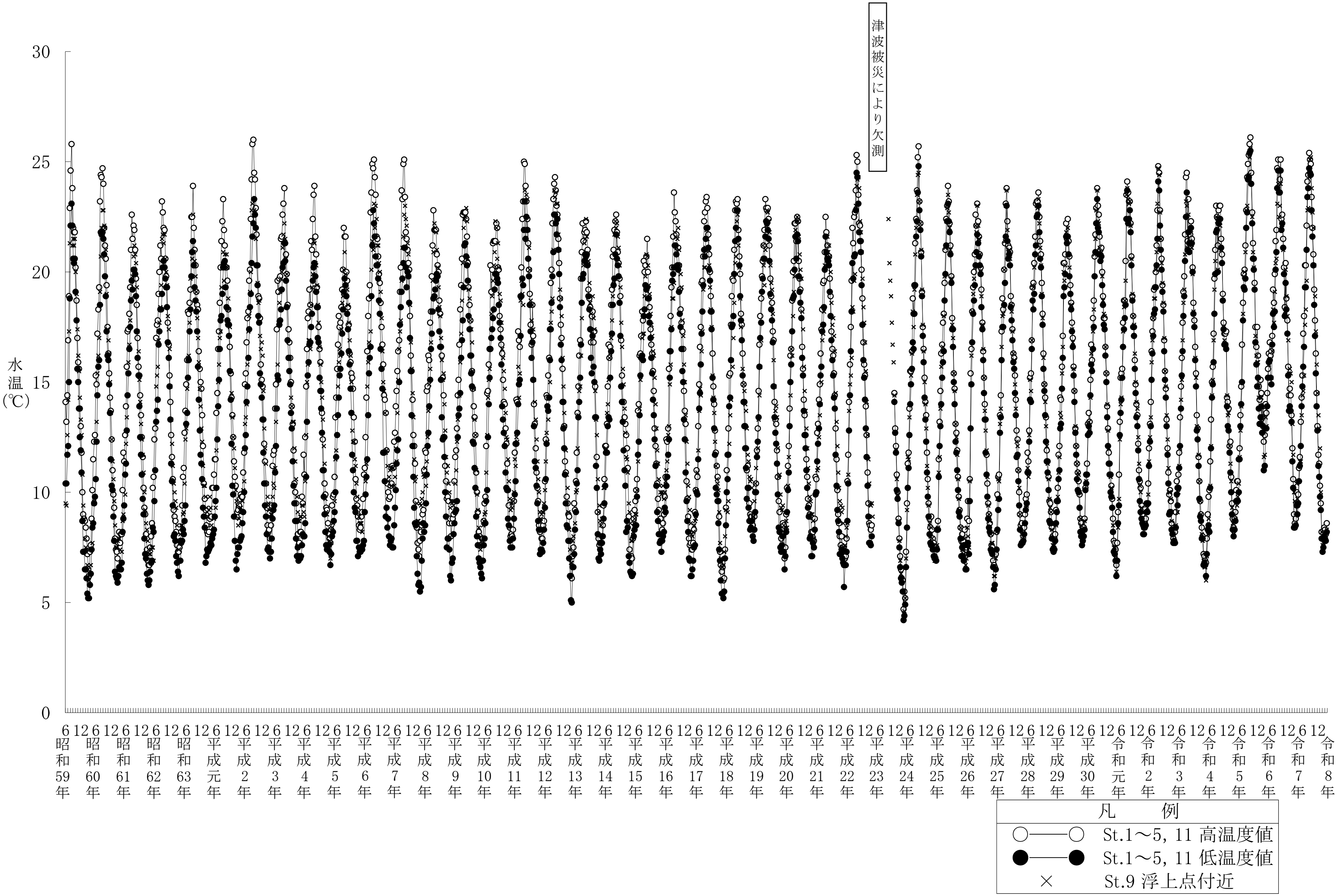


注1 各月のデータは，左から「女川湾沿岸(St.1～5,11)」，「前面海域(St.6,8,9,12,14)」，「湾中央部(St.7)」の順となっている。
2 過去の測定値は，昭和59年 6月から令和7年 3月までの調査結果。ただし，前面海域において，St.12は平成6年 10月，St.14は平成13年 4月からの調査結果。
3 測定値が過去の最大／最小値の範囲外のデータについては，▼を付した。

図－3－(2) 水温モニタリングの範囲(測定値の比較)

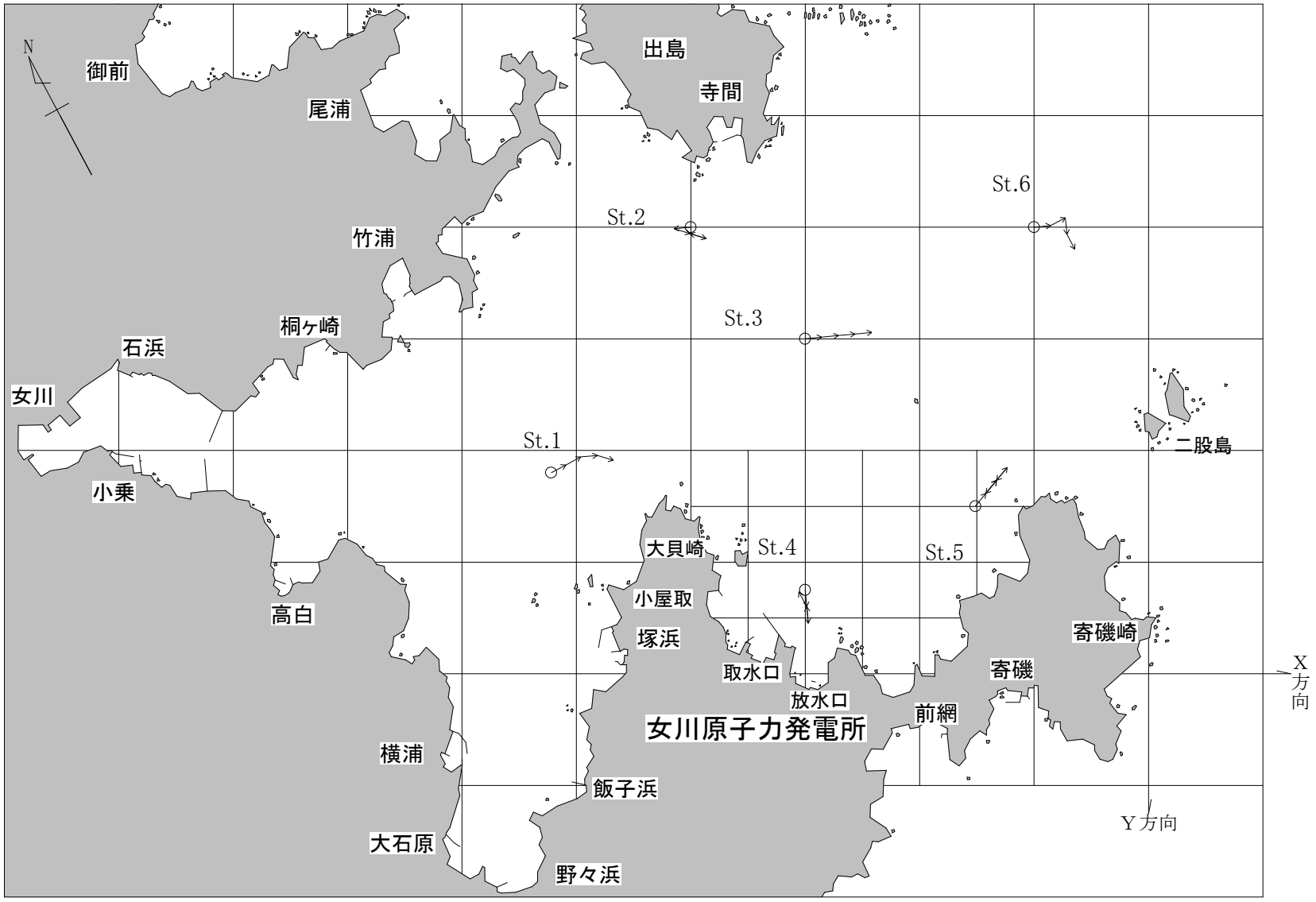


図－3－(3) 水温調査(モニタリング)月旬平均水温



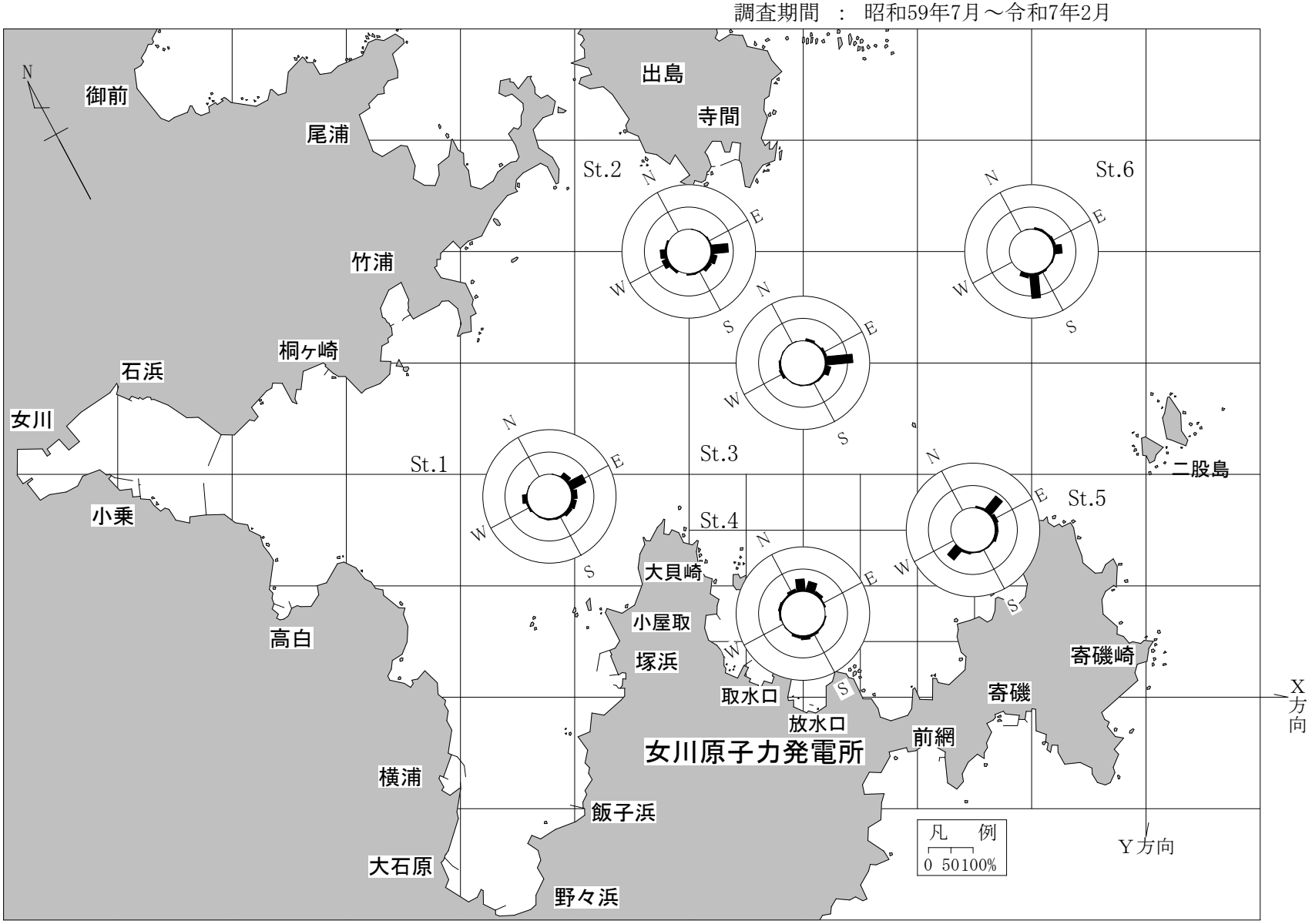
図－3－(4)　水温調査(モニタリング)月旬平均水温

調査期間 ： 令和7年5月～令和8年2月



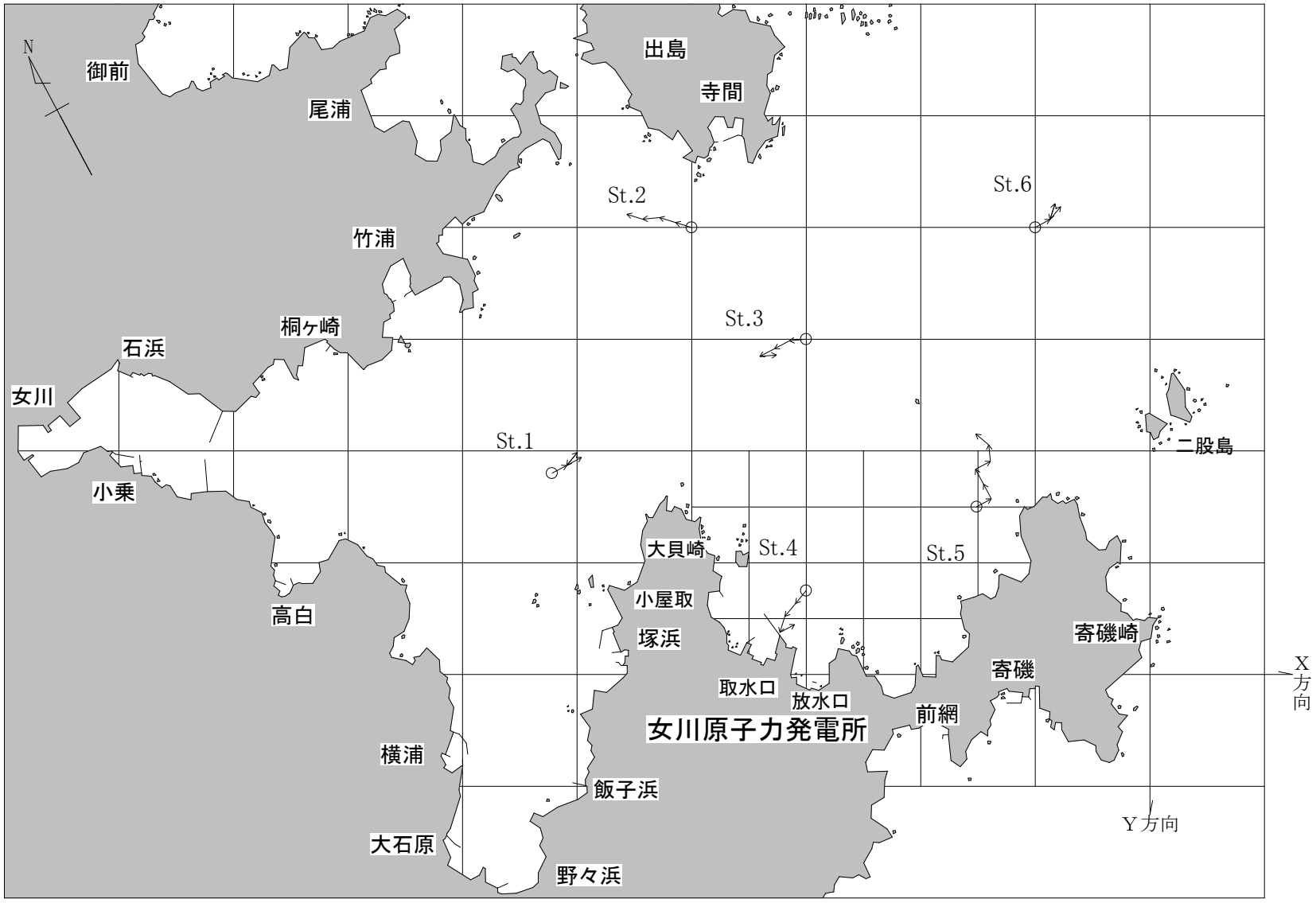
注 図中の矢印は，各調査期の最多出現流向をつなげたものであり，起点(丸印)から，5月，8月，11月，2月の最多出現流向を順に示した。
なお，St.5は，宮城県実施分の7月及び1月調査を含めたことから，5月，7月，8月，11月，1月，2月の最多出現流向を順に示した。

図－４－(１)　　最多出現流向（上層）



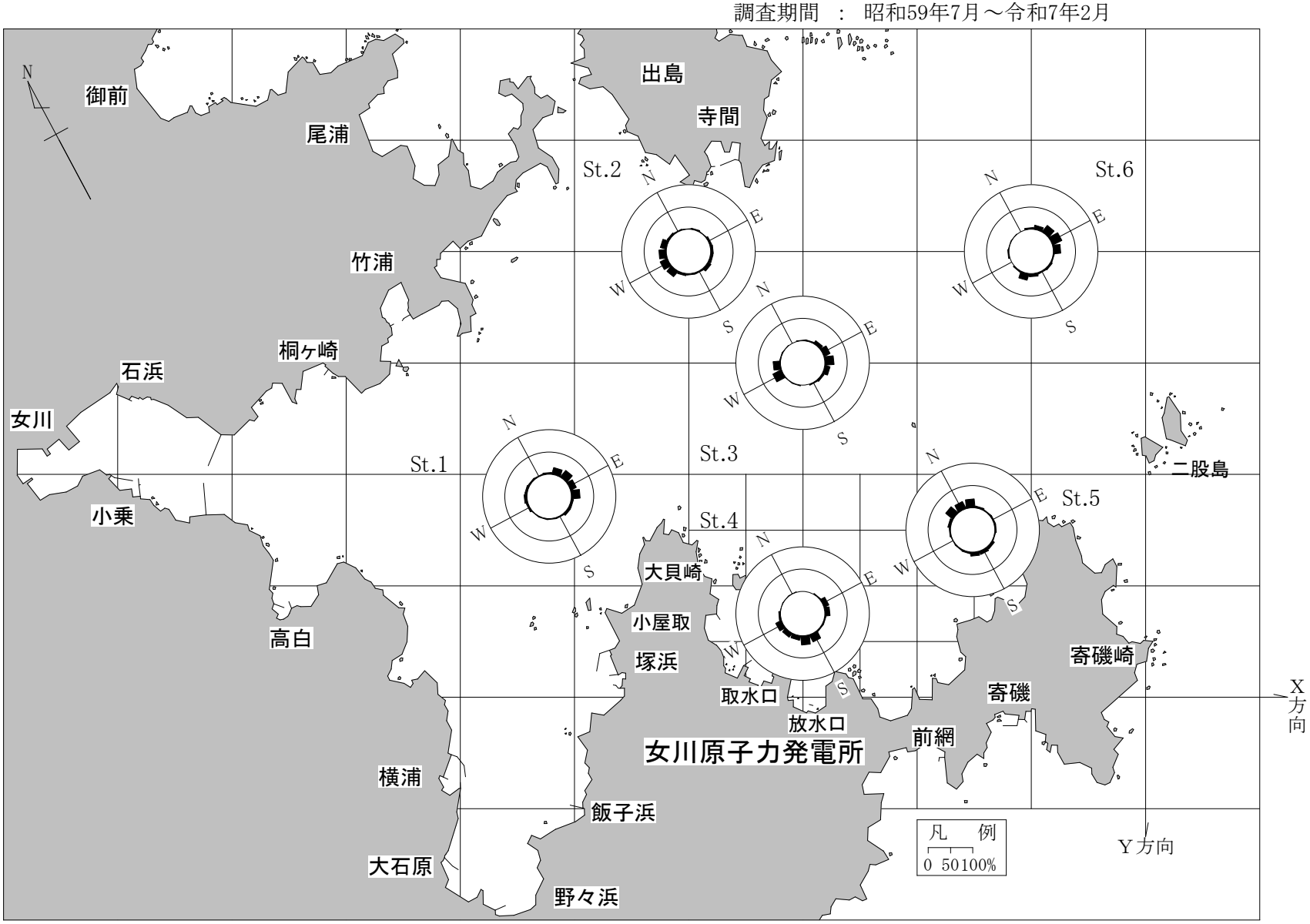
図－４－(２)　　過去の最多出現流向（上層）

調査期間 ： 令和7年5月～令和8年2月

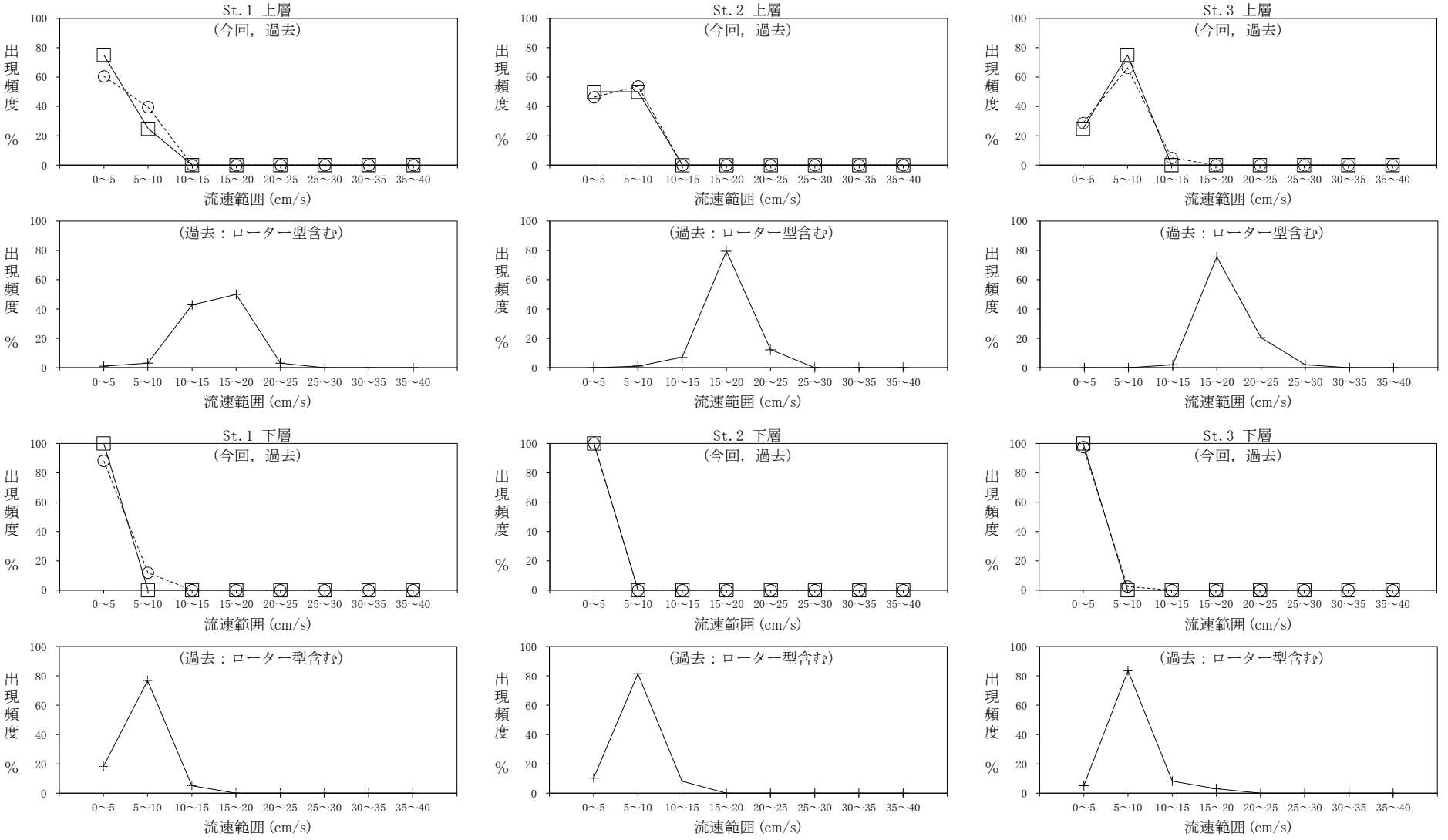


注 図中の矢印は，各調査期の最多出現流向をつなげたものであり，起点(丸印)から，5月，8月，11月，2月の最多出現流向を順に示した。
なお，St.5は，宮城県実施分の7月及び1月調査を含めたことから，5月，7月，8月，11月，1月，2月の最多出現流向を順に示した。

図－５－(１)　　最多出現流向（下層）



図－５－(２)　　過去の最多出現流向（下層）

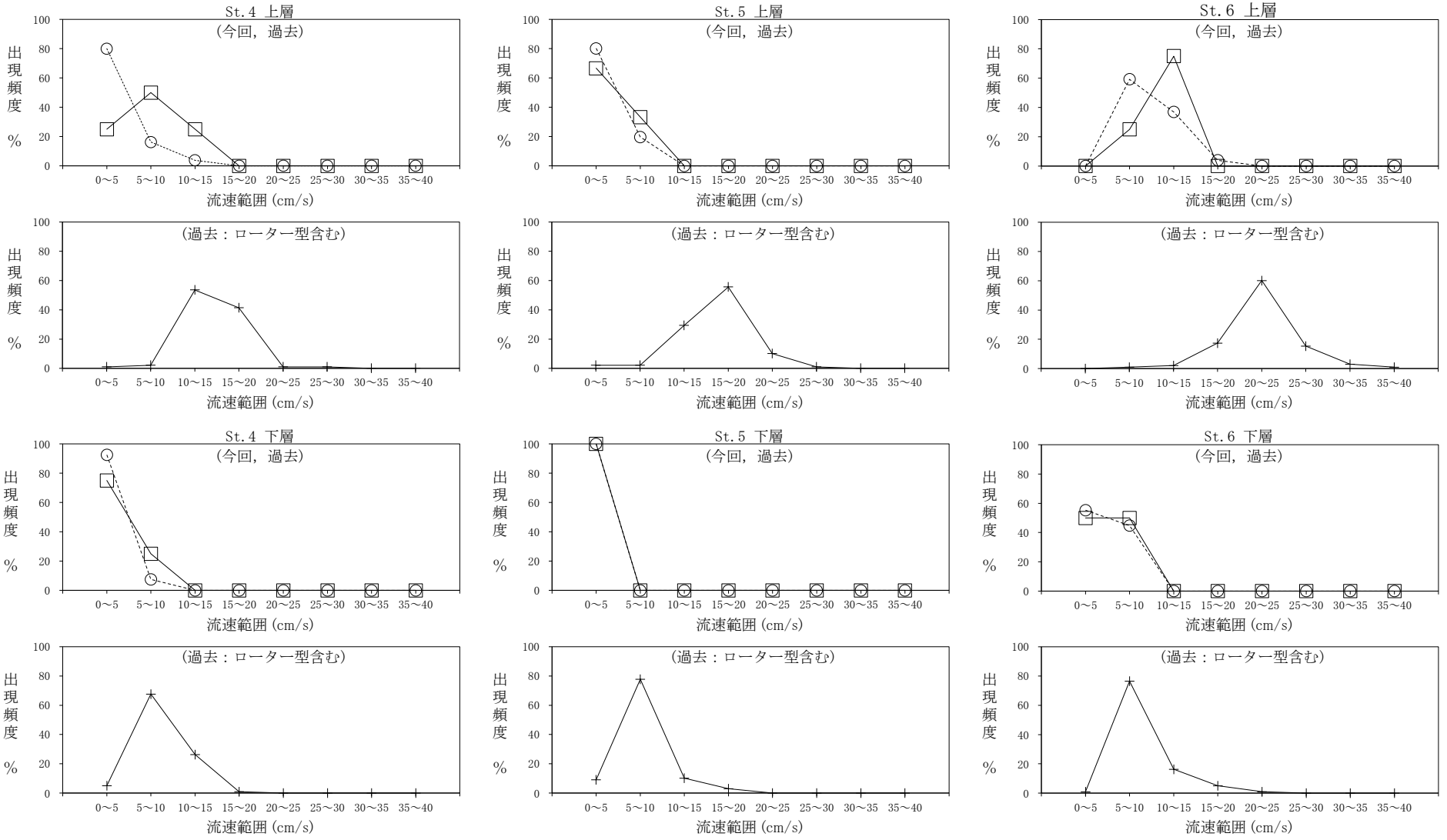


注1 宮城県は，S59.7～H11.7までローター型流向流速計を使用し，H12.1からは電磁流向流速計を使用した。

2 東北電力は，S59.8～H19.2までローター型流向流速計を使用し，H19.5からは電磁流向流速計を使用した。

凡例	
	□——□ R7.5～R8.2（今回）
	○----○ H19.5～R7.2（過去）
	＋——＋ S59.7～H19.2（過去:ローター型含む）

図－6－(1) 最多出現流速範囲の出現頻度



凡例

□——□ R7.5～R8.2（今回）

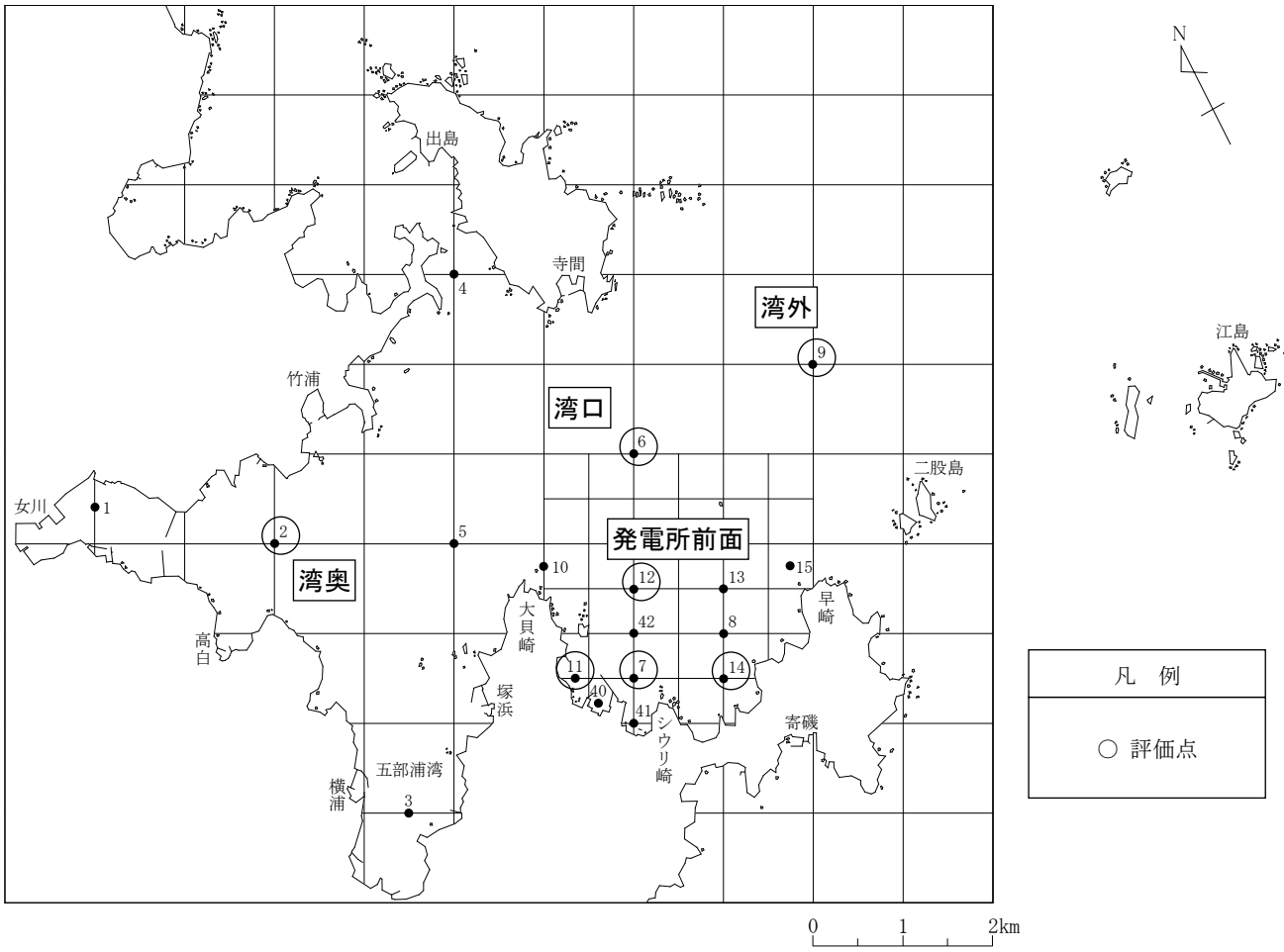
○----○ H19.5～R7.2（過去）

＋——＋ S59.7～H19.2（過去:ローター型含む）

注1 宮城県は，S59.7～H11.7までローター型流向流速計を使用し，H12.1からは電磁流向流速計を使用した。

2 東北電力は，S59.8～H19.2までローター型流向流速計を使用し，H19.5からは電磁流向流速計を使用した。

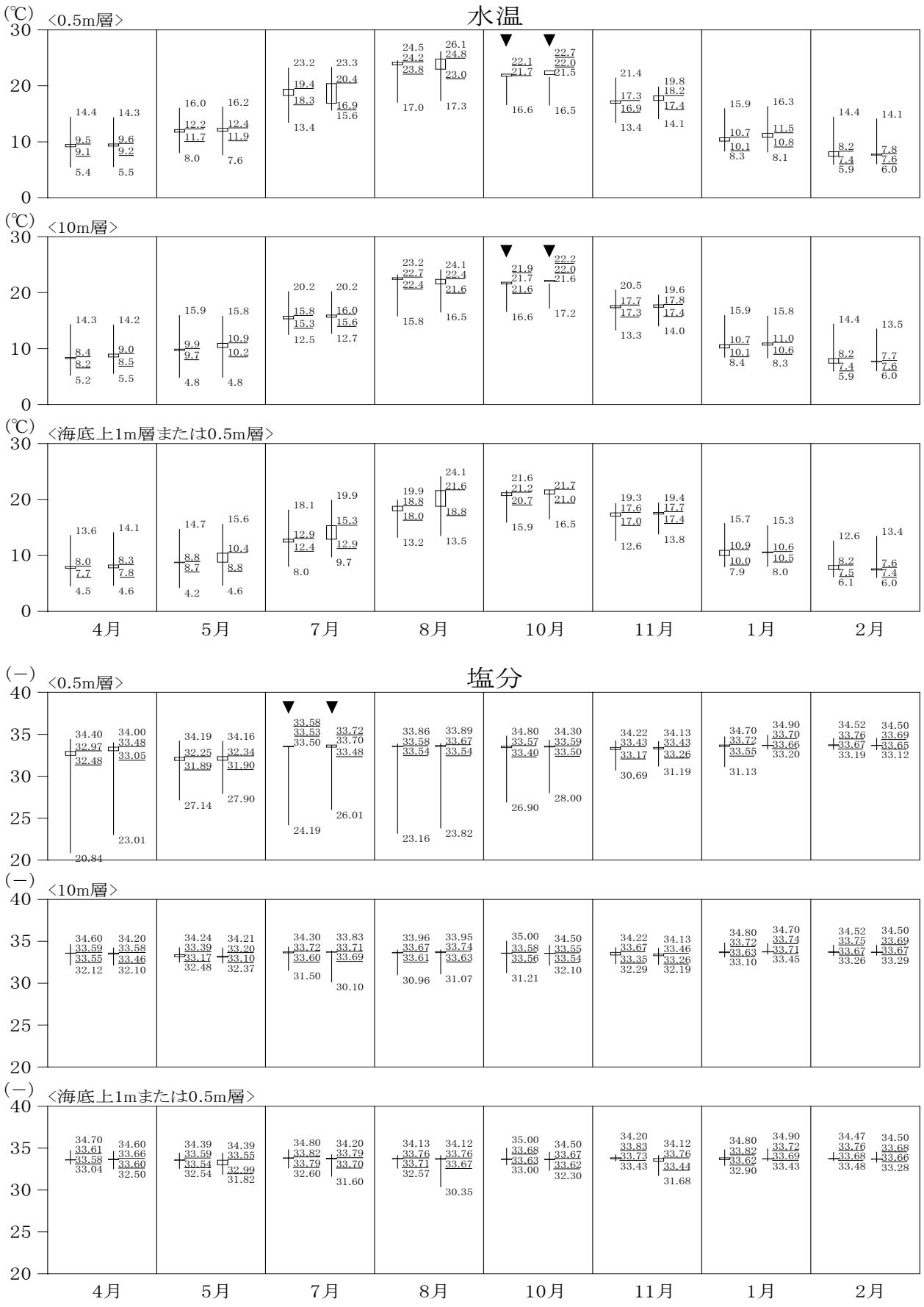
図－6－(2) 最多出現流速範囲の出現頻度



(St.1～15，42　　測定月：4，7，10，1月　　測定者：宮 城 県)
(St.1～15，40～42　測定月：5，8，11，2月　　測定者：東北電力)

注　大貝崎と早崎を結ぶ線の内側部分を「発電所前面海域」，その他を「発電所周辺海域」とする。

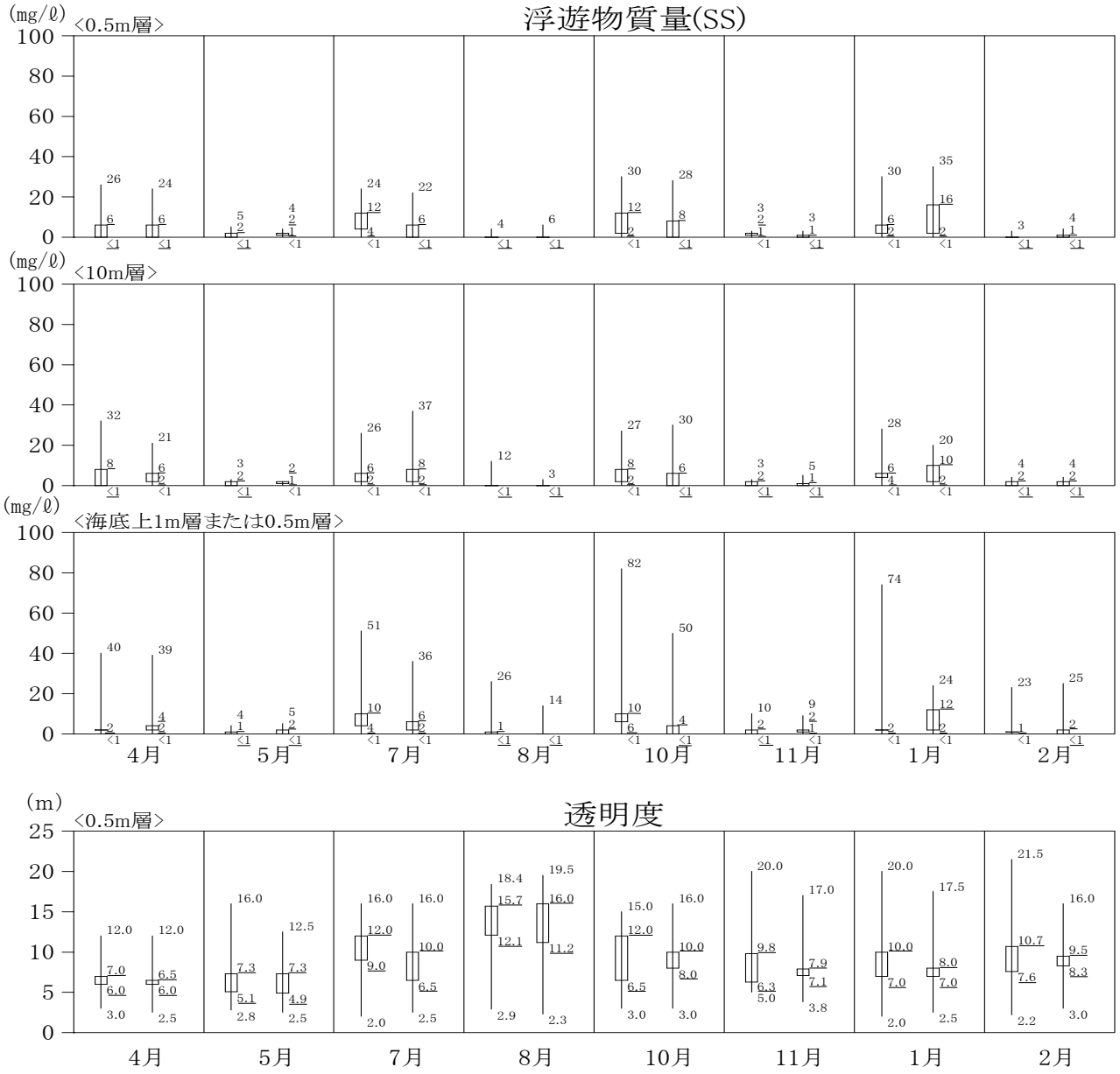
図－7－(1) 水質調査位置及び評価点



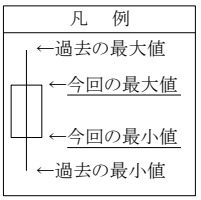
注 1 過去の測定値は，昭和 59 年 7 月から令和 7 年 2 月までの評価点における調査結果である。
2 各月のデータは，左が「発電所周辺海域」，右が「発電所前面海域」である。
3 実用塩分(気象庁「海洋観測指針」による)であり，電気伝導度比により定義されるため単位はない。
海水 1kg 中に含まれる塩分(g)と同程度の値を示す。
4 測定値が過去の最大／最小値の範囲外のデータについては，▼を付した。

凡　例
←過去の最大値
←今回の最大値
←今回の最小値
←過去の最小値

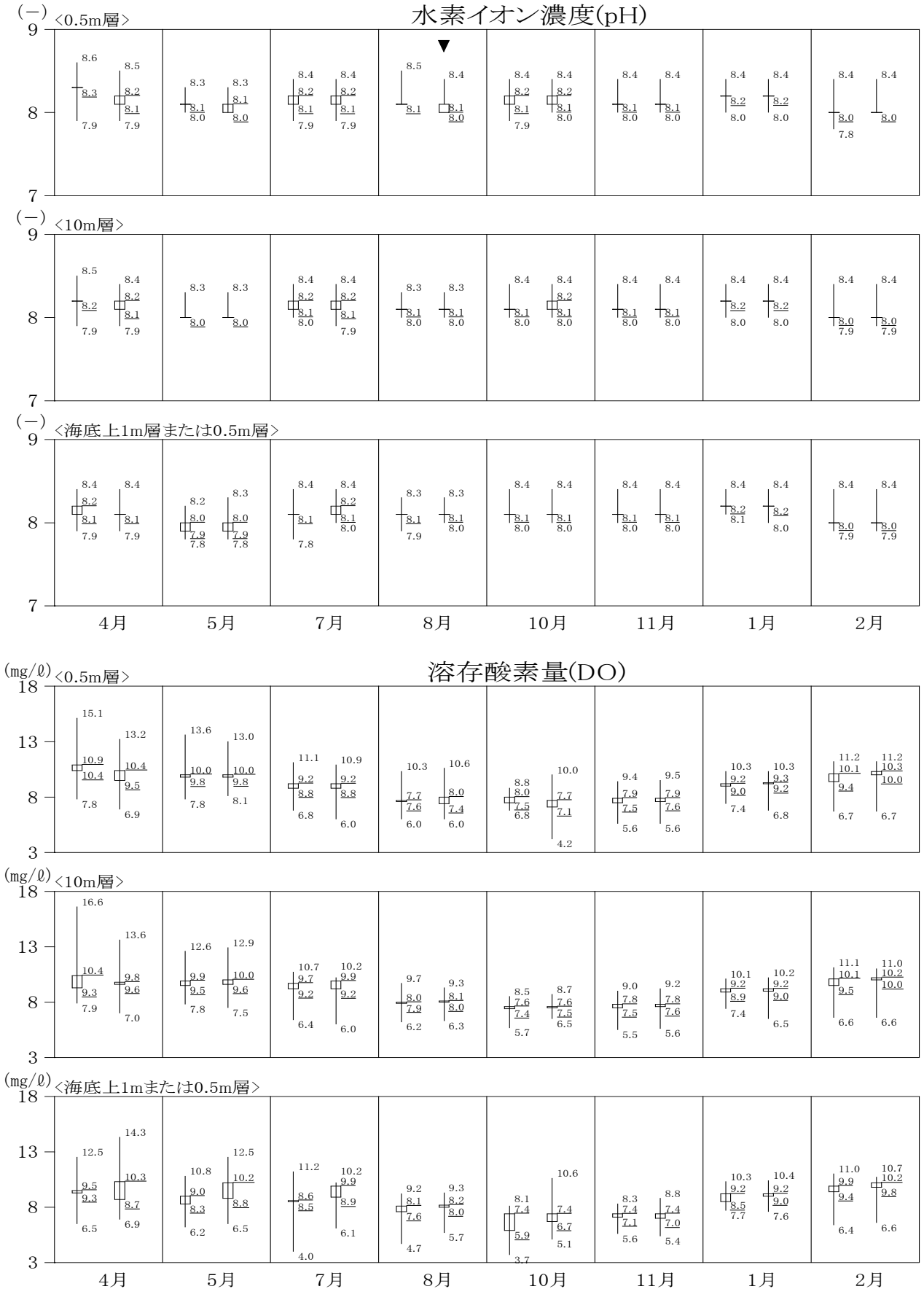
図－7－(2) 水質調査測定範囲



注 1 過去の測定値は，昭和 59 年 7 月から令和 7 年 2 月までの評価点における調査結果である。
2 浮遊物質量の測定値が定量下限値未満である場合は，「<定量下限値」と表記した。
3 各月のデータは，左が「発電所周辺海域」，右が「発電所前面海域」である。



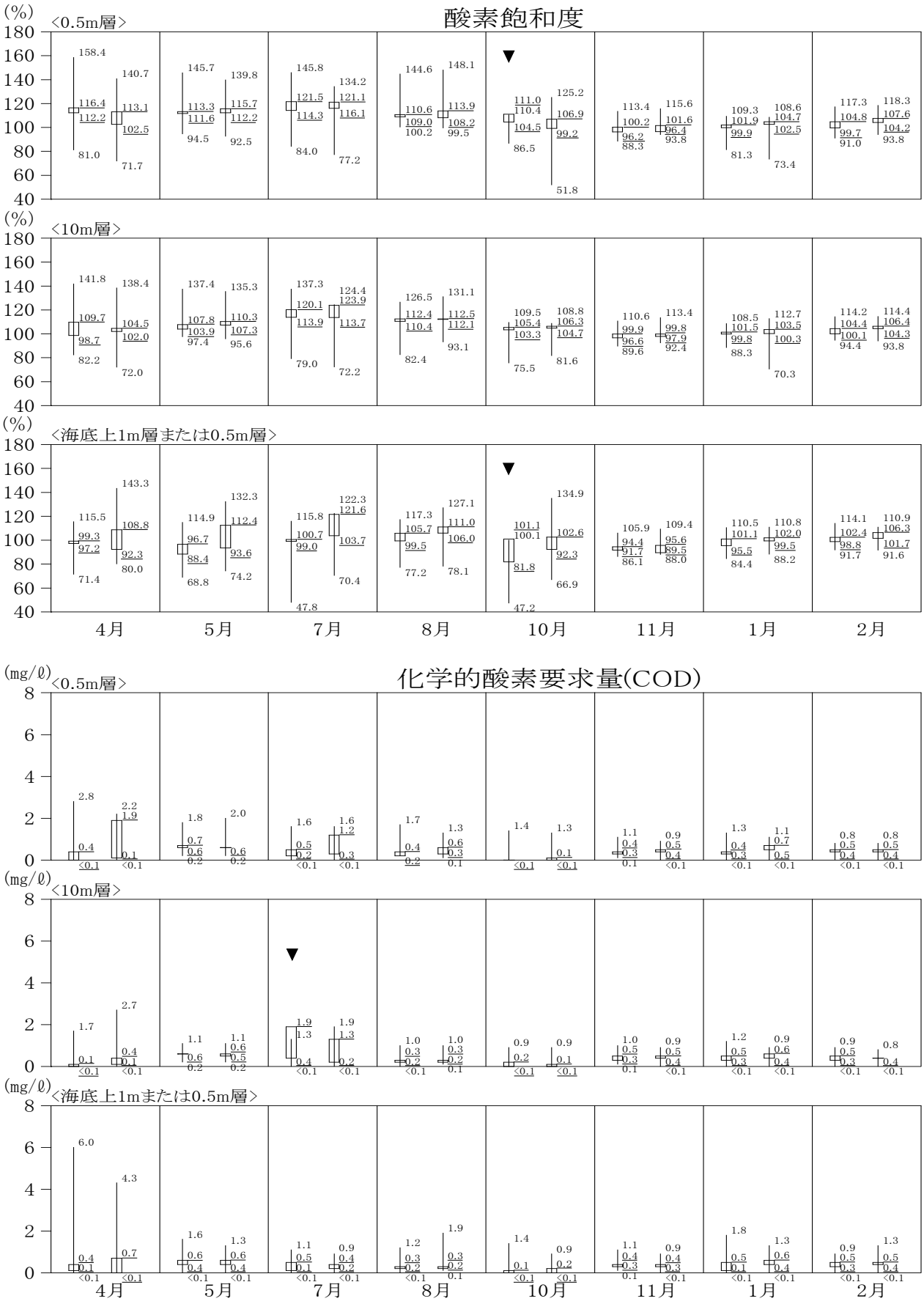
図－7－(3) 水質調査測定範囲



注 1 過去の測定値は，昭和 59 年 7 月から令和 7 年 2 月までの評価点における調査結果である。
2 各月のデータは，左が「発電所周辺海域」，右が「発電所前面海域」である。
3 測定値が過去の最大／最小値の範囲外のデータについては，▼を付した。

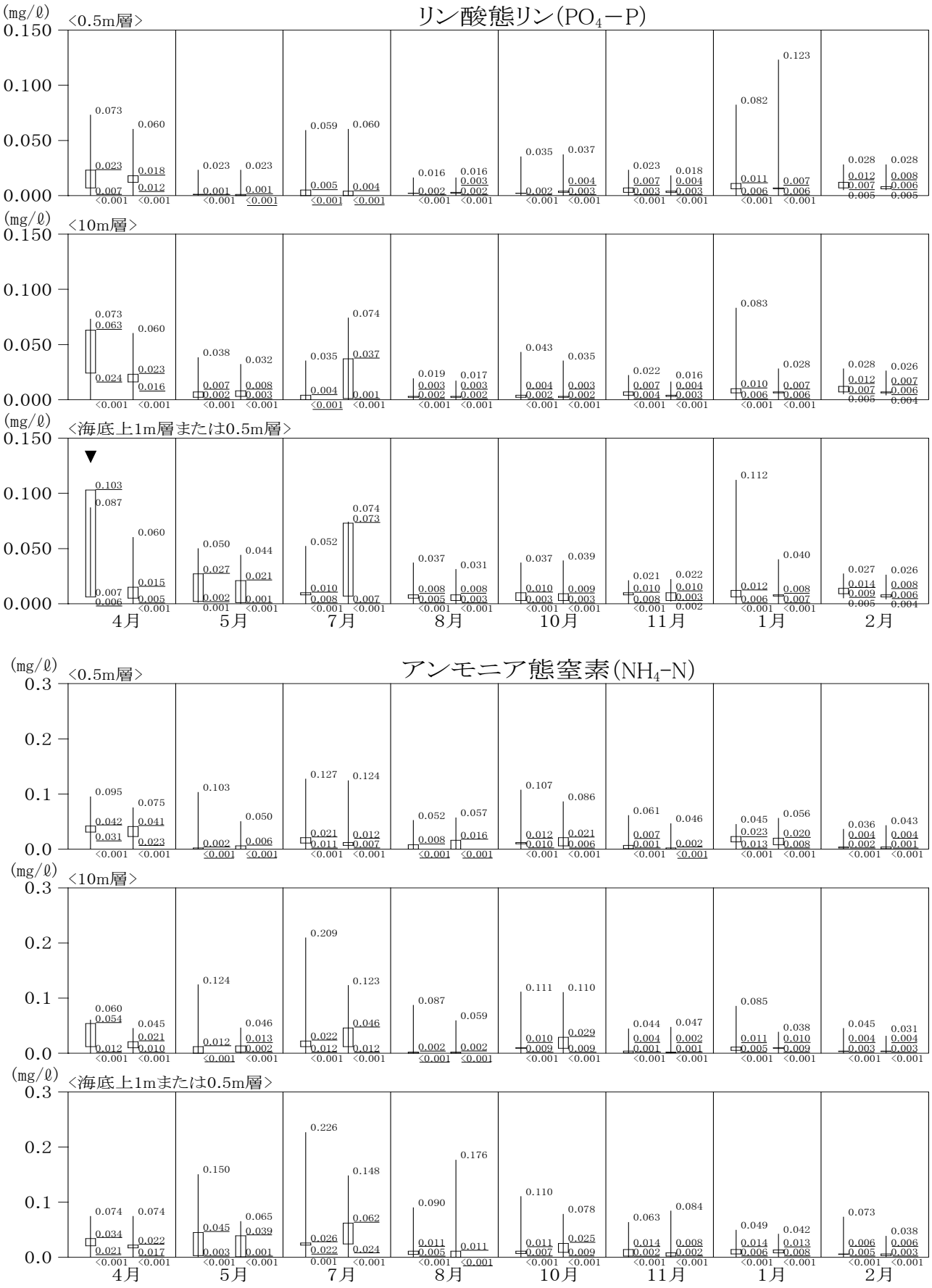
凡 例
←過去の最大値
←今回の最大値
←今回の最小値
←過去の最小値

図－7－(4) 水質調査測定範囲

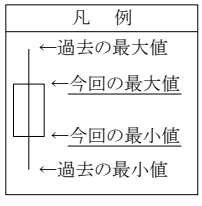


注 1　過去の測定値は，昭和 59 年 7 月から令和 7 年 2 月までの評価点における調査結果である。
2　測定値が定量下限値未満である場合は，「<定量下限値」と表記した。
3　各月のデータは，左が「発電所周辺海域」，右が「発電所前面海域」である。
4　測定値が過去の最大／最小値の範囲外のデータについては，▼を付した。

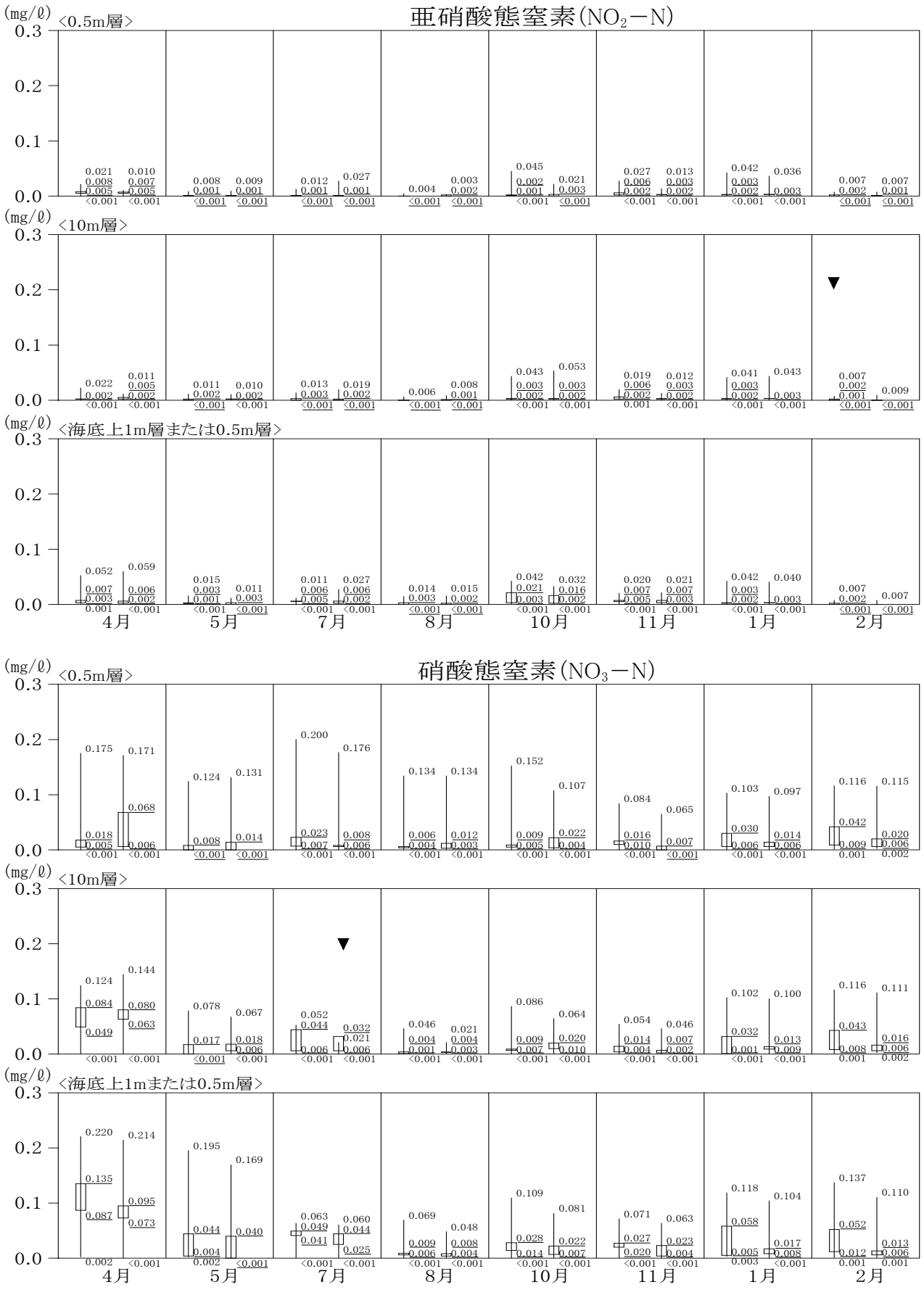
図－7－(5)　水質調査測定範囲



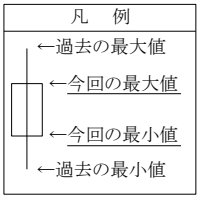
注 1 過去の測定値は，昭和 59 年 7 月から令和 7 年 2 月までの評価点における調査結果である。
2 測定値が定量下限値未満である場合は，「<定量下限値」と表記した。
3 各月のデータは，左が「発電所周辺海域」，右が「発電所前面海域」である。
4 測定値が過去の最大／最小値の範囲外のデータについては，▼を付した。



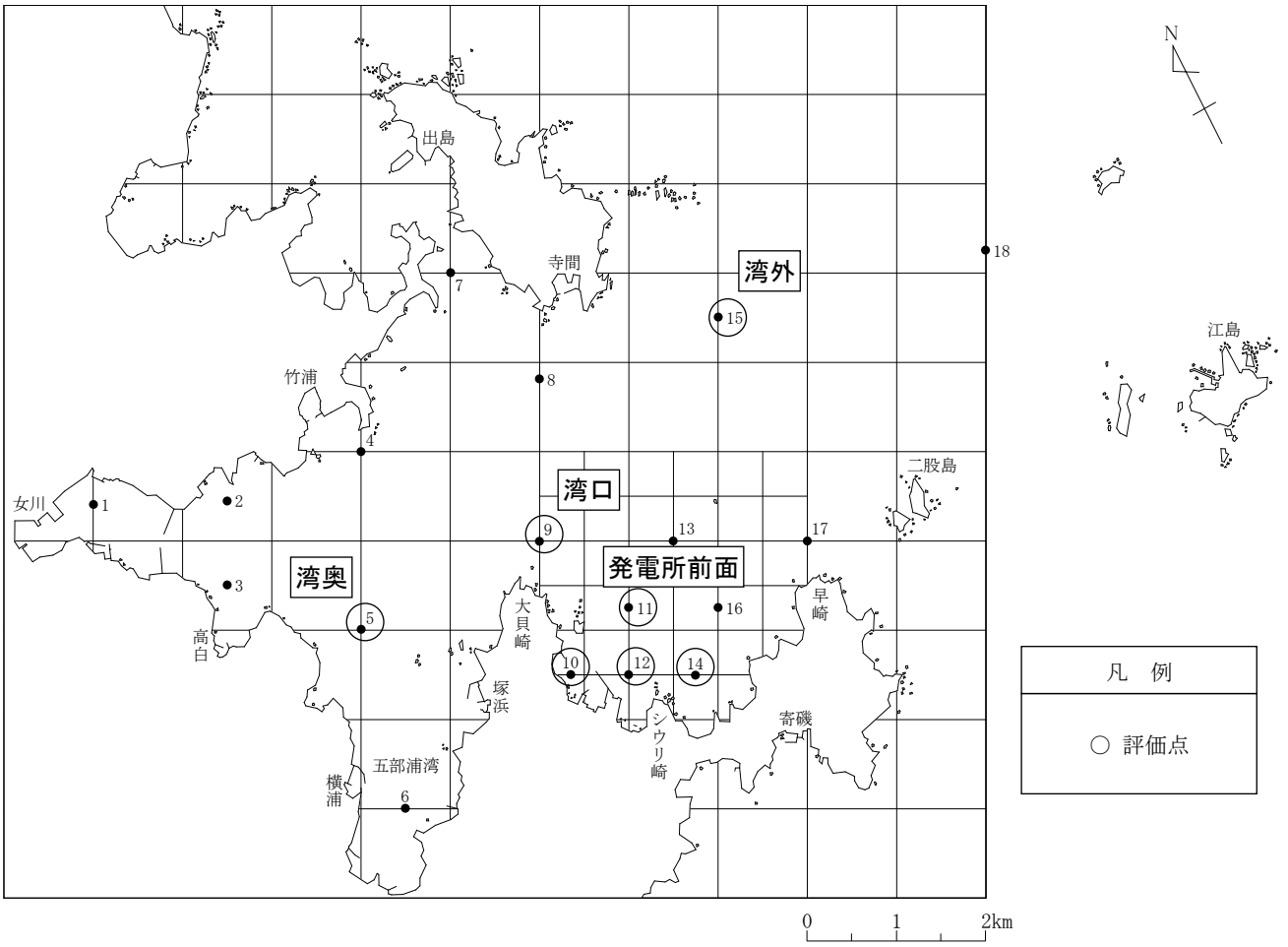
図－7－(6) 水質調査測定範囲



注 1 過去の測定値は，昭和 59 年 7 月から令和 7 年 2 月までの評価点における調査結果である。
2 測定値が定量下限値未満である場合は，「<定量下限値」と表記した。
3 各月のデータは，左が「発電所周辺海域」，右が「発電所前面海域」である。
4 測定値が過去の最大／最小値の範囲外のデータについては，▼を付した。



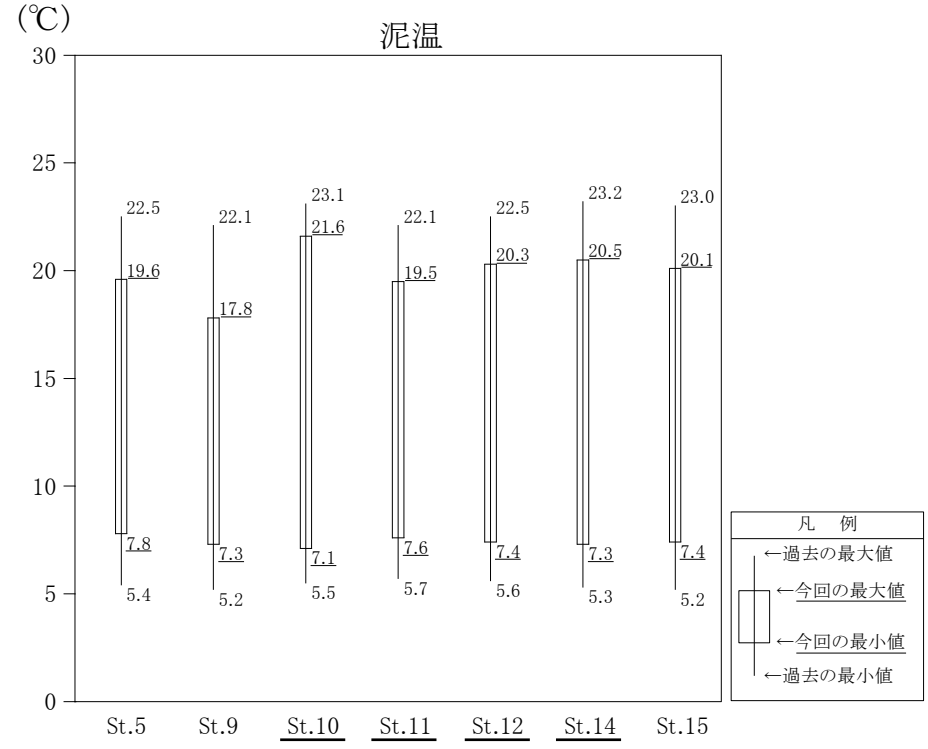
図－7－(7) 水質調査測定範囲



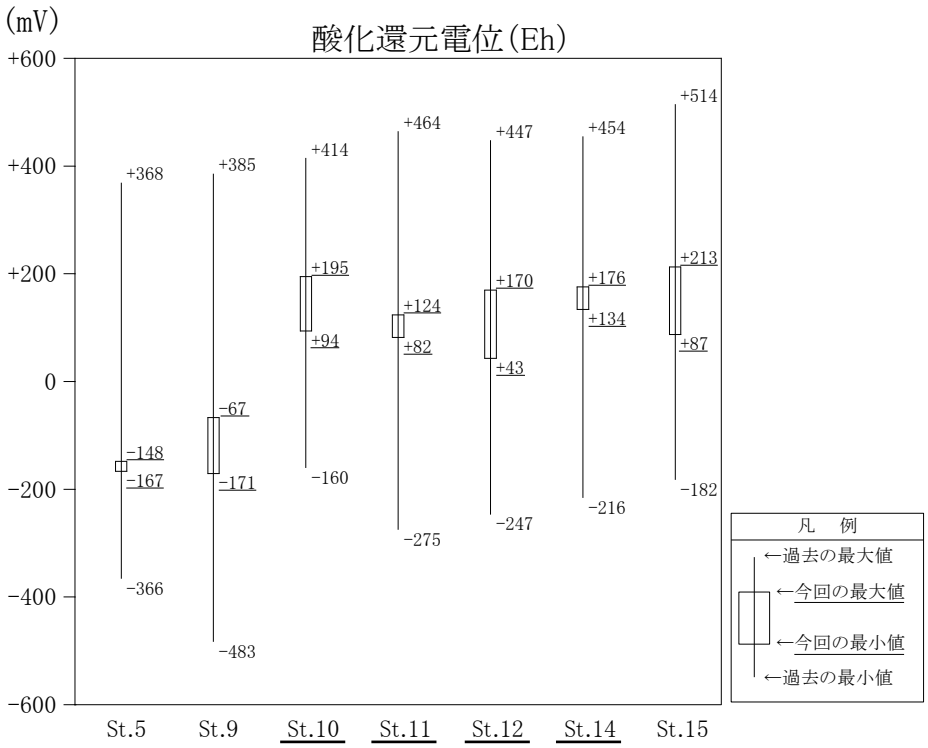
（測定月：5，10 月　　測定者：宮 城 県）
（測定月：8，　2 月　　測定者：東北電力）

注　大貝崎と早崎を結ぶ線の内側部分を「発電所前面海域」，その他を「発電所周辺海域」とする。

図－8－(1) 底質調査位置及び評価点

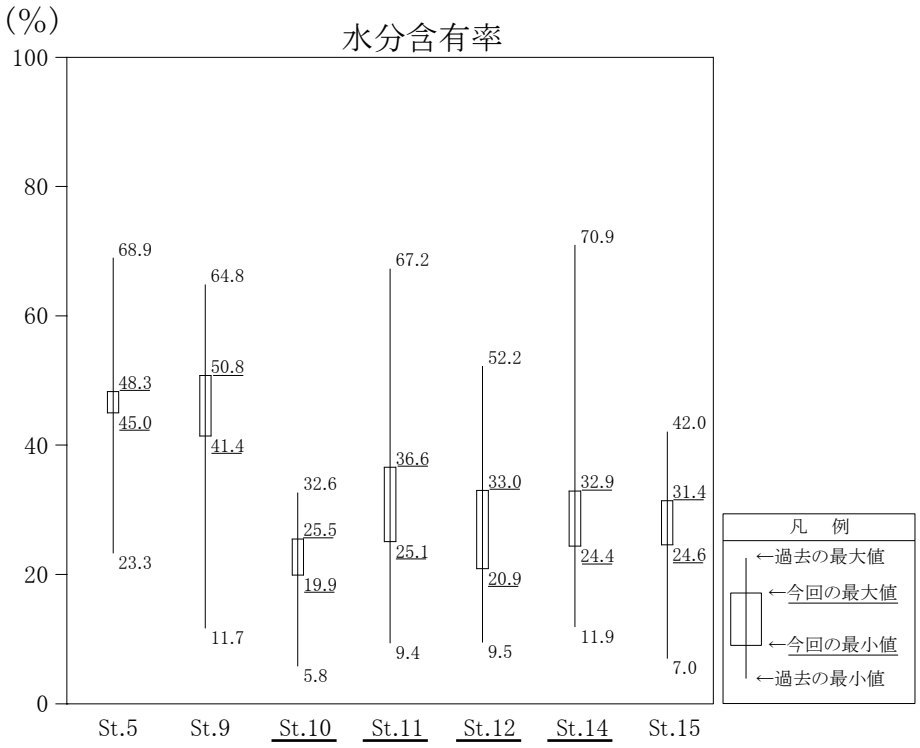


注 1　過去の測定値は，昭和 59 年 9 月から令和 7 年 2 月までの評価点における調査結果である。
　　2　測点の下線は，「発電所前面海域」である。

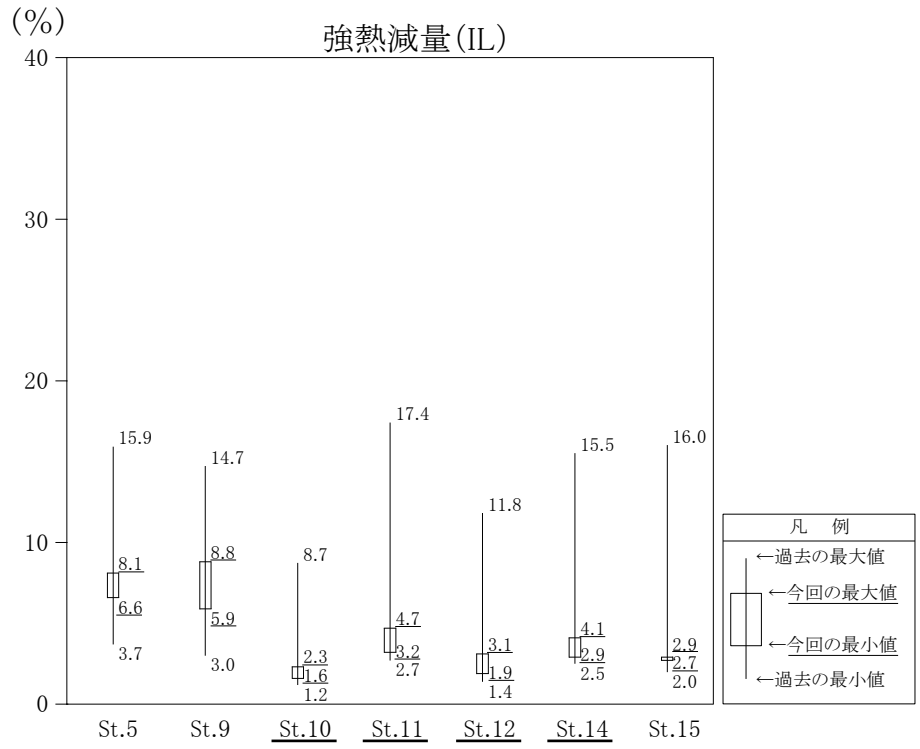


注 1　過去の測定値は，昭和 59 年 9 月から令和 7 年 2 月までの評価点における調査結果である。
　　2　測点の下線は，「発電所前面海域」である。

図－8－(2)　底質調査測定範囲

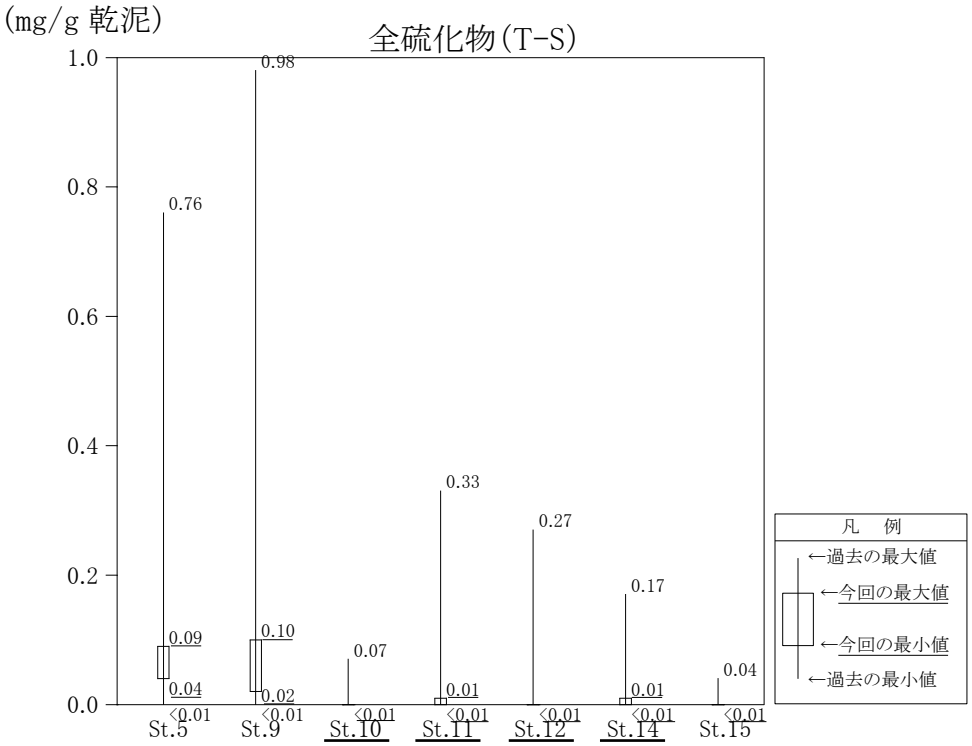


注 1　過去の測定値は，昭和 59 年 9 月から令和 7 年 2 月までの評価点における調査結果である。
　　2　測点の下線は，「発電所前面海域」である。

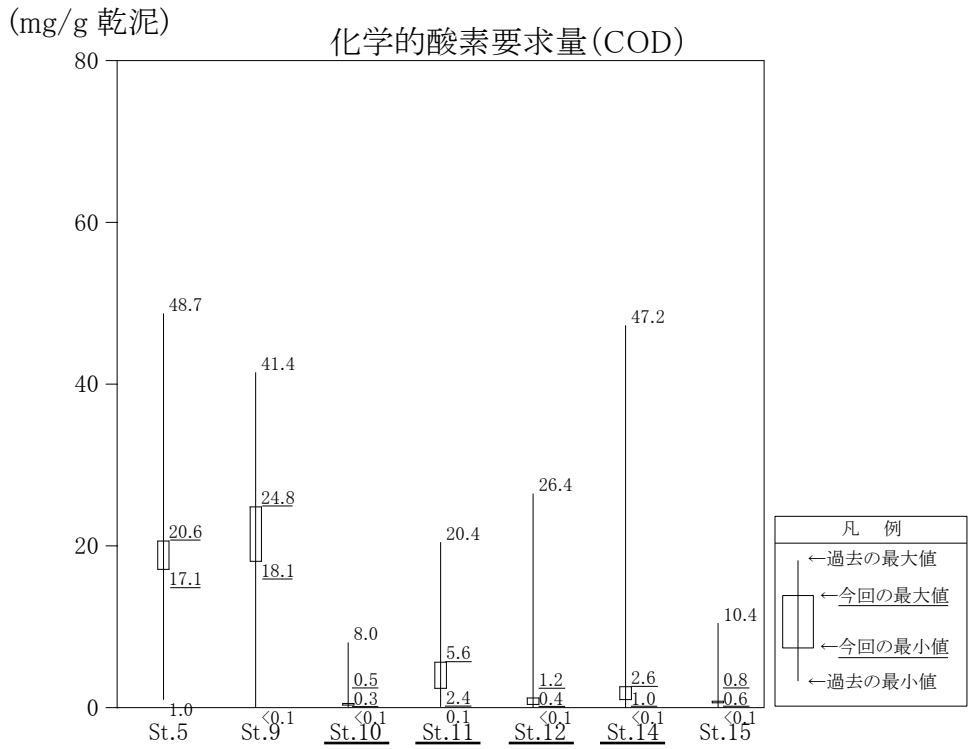


注 1　過去の測定値は，昭和 59 年 9 月から令和 7 年 2 月までの評価点における調査結果である。
　　2　測点の下線は，「発電所前面海域」である。

図－8－(3)　底質調査測定範囲

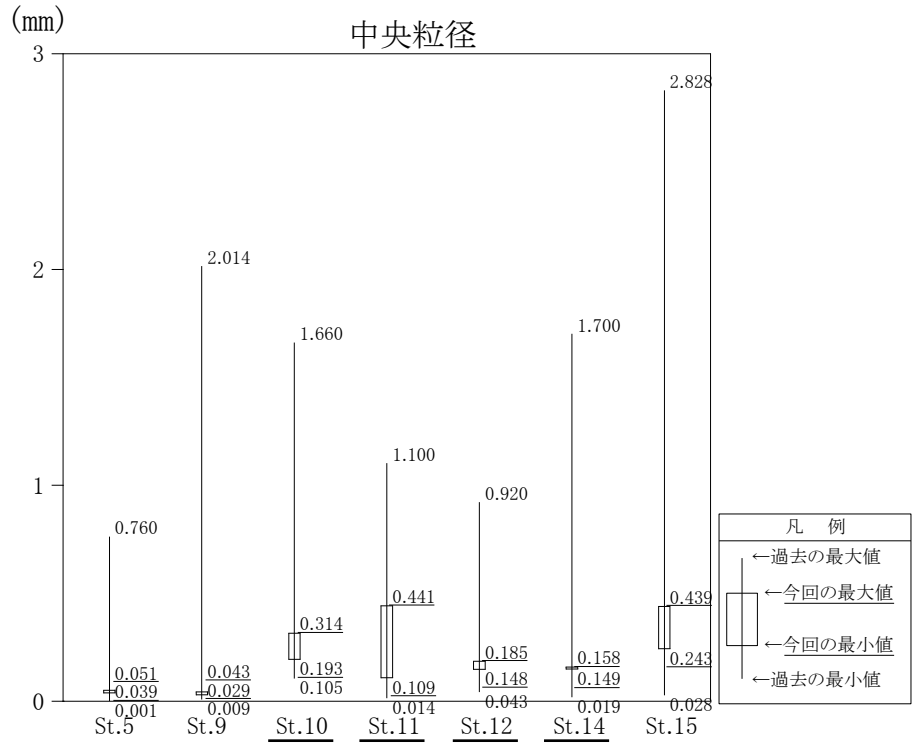


注 1 過去の測定値は，昭和 59 年 9 月から令和 7 年 2 月までの評価点における調査結果である。
2 測定値が定量下限値未満である場合は，「<定量下限値」と表記した。
3 測点の下線は，「発電所前面海域」である。



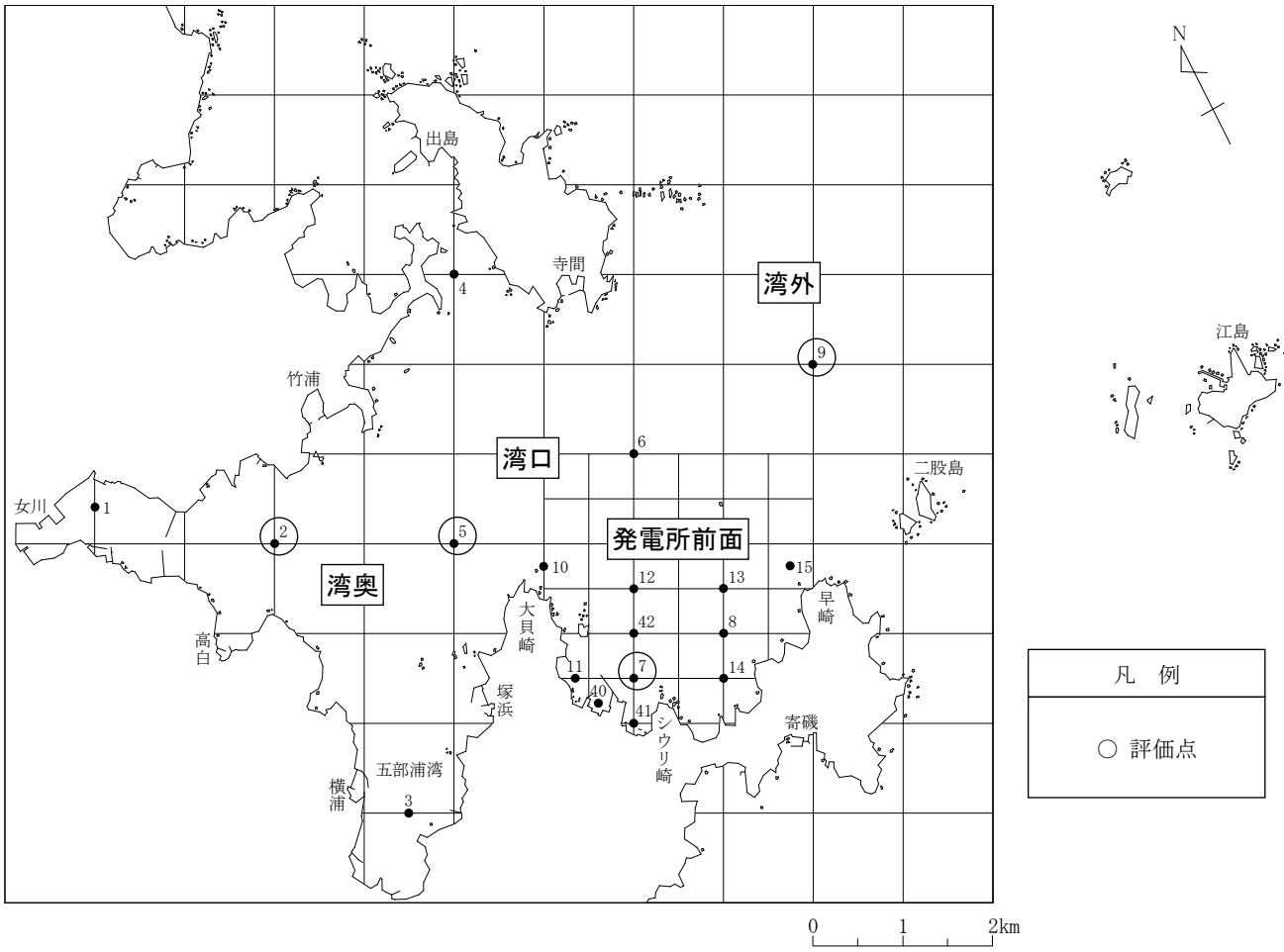
注 1 過去の測定値は，昭和 59 年 9 月から令和 7 年 2 月までの評価点における調査結果である。
2 測定値が定量下限値未満である場合は，「<定量下限値」と表記した。
3 測点の下線は，「発電所前面海域」である。

図－8－(4) 底質調査測定範囲



注 1　過去の測定値は，昭和 59 年 9 月から令和 7 年 2 月までの評価点における調査結果である。
　　2　測点の下線は，「発電所前面海域」である。

図－8－(5)　底質調査測定範囲



（測定者：東北電力）

注　大貝崎と早崎を結ぶ線の内側部分を「発電所前面海域」，その他を「発電所周辺海域」とする。

図－9　植物プランクトン調査位置及び評価点

表－1　植物プランクトンの季節別出現状況（令和7年度）

調査方法：バンドーン型採水器による採水法

調査月	5月			8月			11月			2月		
項目	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小
出現種類数	49	48	44	51	50	49	68	60	56	35	30	26
出現細胞数（細胞/ℓ）	1,414,560	1,172,303	912,060	316,530	257,944	198,585	816,510	514,613	139,110	**3,085,560**	1,767,270	1,210,380
主な出現種（上位5種かつ5%以上）	*Chaetoceros radicans* (42.2) *Skeletonema costatum* (13.4) *Nitzschia* spp. (11.2) CRYPTOPHYCEAE (5.3)			HAPTOPHYCEAE (64.4) Gymnodiniales (8.1)			*Asterionella glacialis* (32.2) *Chaetoceros debile* (12.4) *Skeletonema costatum* (6.7) *Nitzschia* spp. (5.8) *Chaetoceros sociale* (5.7)			*Chaetoceros sociale* (68.9) *Chaetoceros debile* (15.2)		

注1 種類数及び細胞数の最大，最小，平均の値は，5月，8月，11月，2月の評価点における表層及び10m層の測定値より集計した。
2 （ ）内の数値は，各月における評価点の総出現量に占める各種の割合とし，単位は「%」とした。
3 主な出現種は，各月における評価点の上位5種かつ5%以上を占める種とした。
4 アンダーラインの数値（太字）は，過去の測定範囲を外れた値を示す。
5 主な出現種のアンダーラインは，表－2に定義する「過去の主な出現種」と一致しなかった種を示す。

表－2　過去の植物プランクトン調査結果

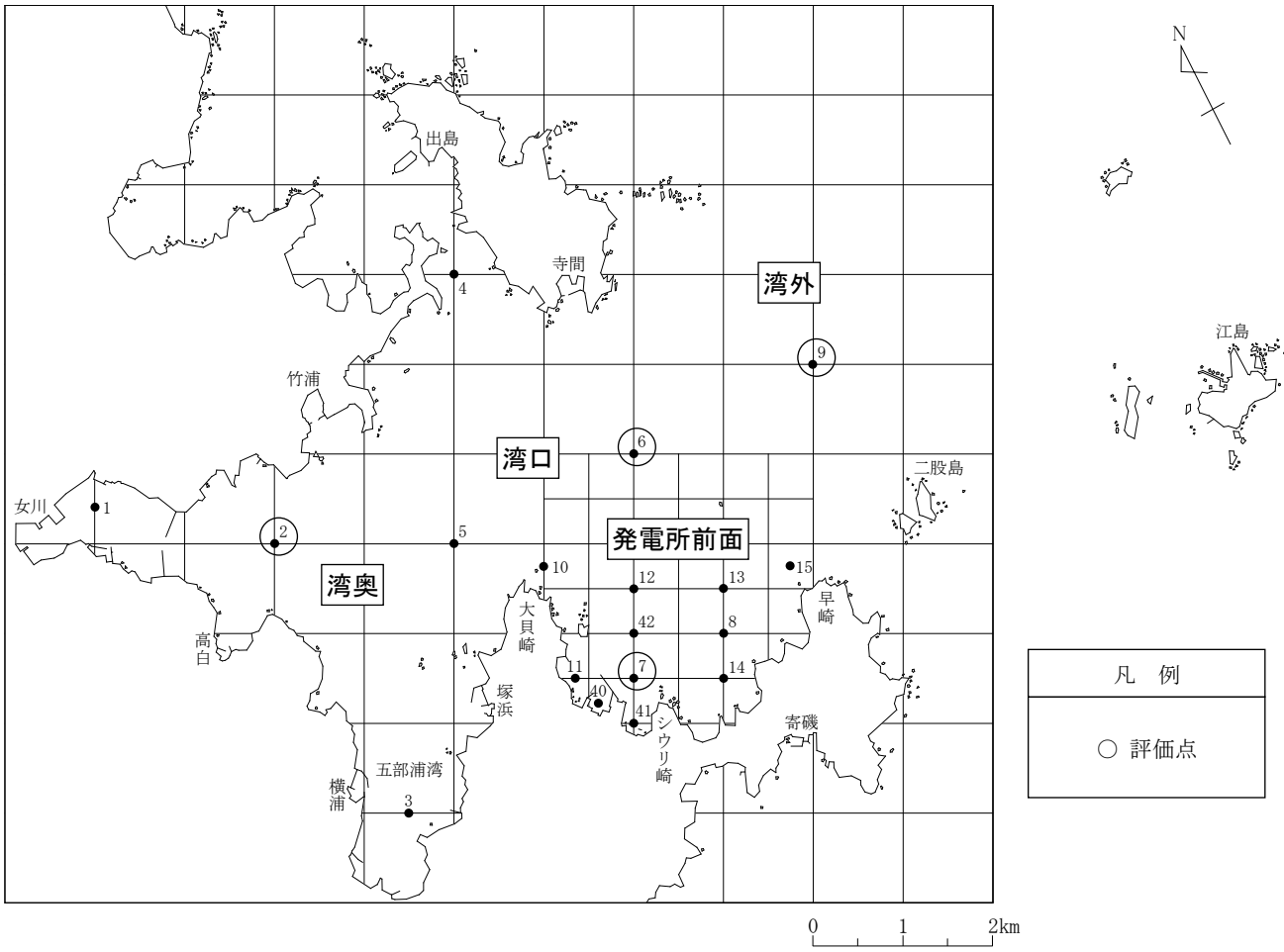
調査方法：バンドーン型採水器による採水法

調査月	5月			8月			11月			2月		
項目	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小
出現種類数	56	27	12	64	35	17	76	39	13	51	29	15
出現細胞数（細胞/ℓ）	3,435,648	717,615	6,258	4,738,944	437,446	18,036	2,267,136	237,737	768	2,432,256	379,266	7,968
主な出現種（上位10種）												
Chaetoceros radicans	■■■■		※				□			□		
Chaetoceros debile	■■						■■■		※	■■		※
Chaetoceros compressum	■									□		
Skeletonema costatum	■		※	■■■			■■		※	■		
Leptocylindrus danicus	■			■								
Chaetoceros sociale	□						■		※	■■		※
Nitzschia spp.	□		※	■■■			□		※			
Rhizosolenia fragilissima	□											
CRYPTOPHYCEAE	□		※	□			□			□		
Nitzschia pungens	□			■						□		
Chaetoceros spp.				■								
Chaetoceros curvisetum				■								
HAPTOPHYCEAE				□		※	□					
Cerataulina pelagica				□								
Peridiniales				□								
Asterionella glacialis							■■		※	■■■		
Thalassiosiraceae							■			□		
Thalassiosira spp.							□			■		

凡　例

■■■■	30%以上
■■■	20%以上
■■	10%以上
■	5%以上
□	5%未満

注1 過去の測定値は，昭和60年5月から令和7年2月までの評価点における調査結果である。
2 種類数及び細胞数の最大，最小，平均の値は，過去の各月の評価点における表層及び10m層の測定値より集計した。
3 主な出現種は，評価点の表層及び10m層の各月の総出現量の上位10種とした。
4 表中の凡例に示すマークは，過年度の月別における評価点の総出現量に占める各種の割合とした。
5 ※は，各月において令和7年度の主な出現種と一致した種を示す。
6 過去に出現した同属の「sp.」及び「spp.」は，全て「spp.」として集計した。



（測定者：東北電力）

注　大貝崎と早崎を結ぶ線の内側部分を「発電所前面海域」，その他を「発電所周辺海域」とする。

図－10　動物プランクトン調査位置及び評価点

表－3　動物プランクトンの季節別出現状況（令和7年度）

調査方法：北原式定量ネット(NXX13)による鉛直曳き

調査月	5月			8月			11月			2月		
項目	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小
出現種類数	27	23	19	32	30	27	49	41	34	22	18	13
出現個体数（個体/ℓ）	8.9	5.5	1.5	36.1	13.3	2.8	21.0	16.5	7.1	14.8	7.7	4.4
主な出現種（上位5種かつ5%以上）	Nauplius of COPEPODA (43.3) Copepodite of *Oithona* (10.0) Copepodite of *Pseudocalanus* (9.8)			*Fritillaria* spp. (39.8) *Microsetella norvegica* (10.0) Nauplius of COPEPODA (9.2) Nauplius of Balanomorpha (5.8)			Nauplius of COPEPODA (37.5) Copepodite of *Paracalanus* (10.7) *Sticholonche zanclea* (5.7) *Oncaea media* (5.5) Copepodite of *Oithona* (5.4)			Nauplius of COPEPODA (43.3) *Evadne nordmanni* (13.5) *Fritillaria* spp. (12.4) Copepodite of *Oithona* (7.7) Copepodite of *Paracalanus* (6.8)		

注1 種類数及び個体数の最大，最小，平均の値は，5月，8月，11月，2月の評価点における0～5m層及び5～10m層の測定値より集計した。
2 （ ）内の数値は，各月における評価点の総出現量に占める各種の割合とし，単位は「%」とした。
3 主な出現種は，各月における評価点の上位5種かつ5%以上を占める種とした。
4 主な出現種のアンダーラインは，表－4に定義する「過去の主な出現種」と一致しなかった種を示す。

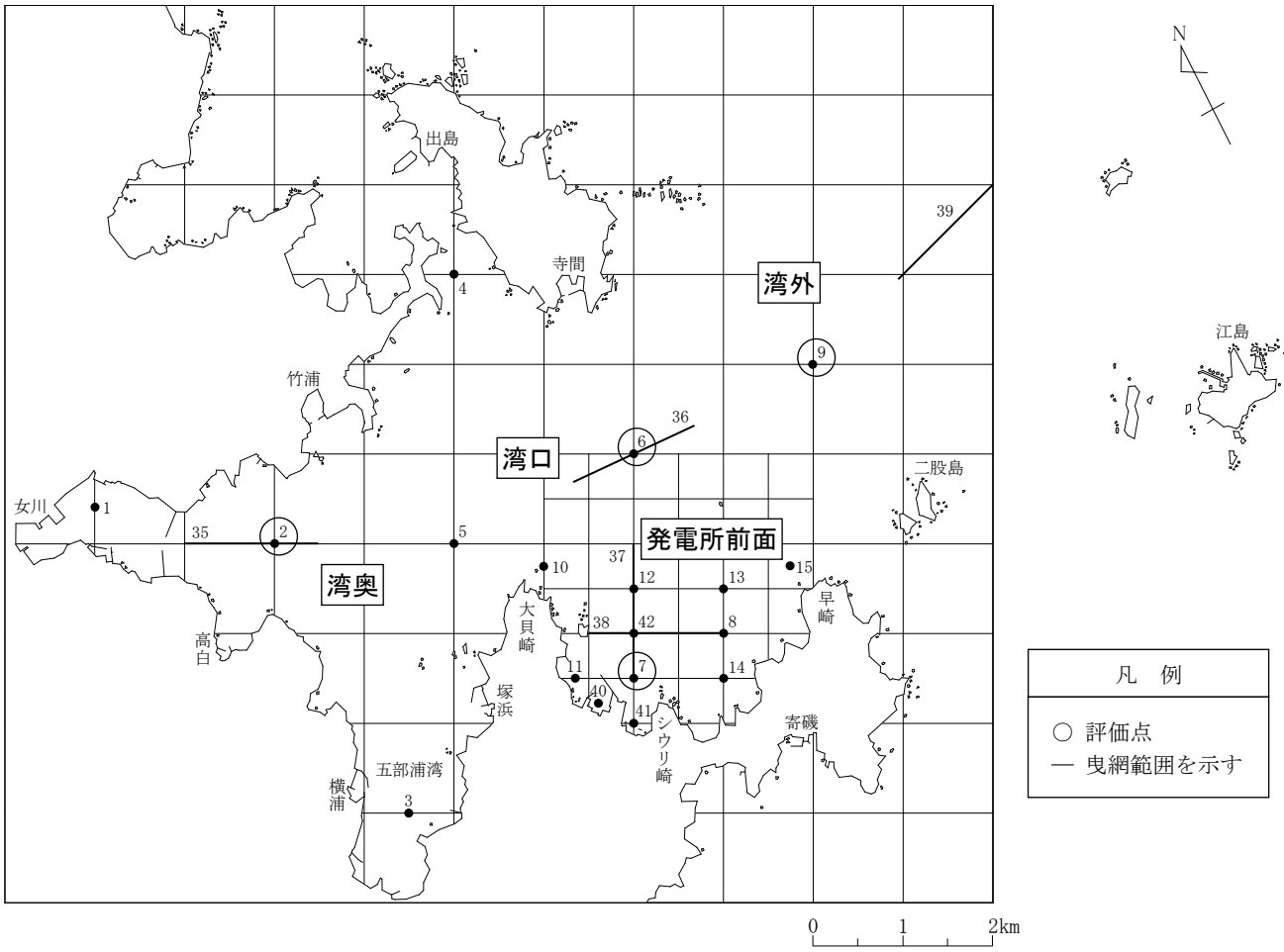
表－4　過去の動物プランクトン調査結果

調査方法：北原式定量ネット(NXX13)による鉛直曳き

調査月	5月			8月			11月			2月		
項目	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小
出現種類数	33	20	6	47	31	9	51	32	12	39	22	5
出現個体数（個体/ℓ）	144.9	23.6	0.1	182.2	20.9	0.8	59.5	11.8	0.4	20.6	5.1	+
主な出現種（上位10種）												
Nauplius of COPEPODA	■■■■		※	■■■		※	■■■■		※	■■■■		※
Copepodite of *Oithona*	■		※	■			■		※	■		※
Copepodite of *Acartia*	□			□			□			□		
Copepodite of *Pseudocalanus*	□		※									
Fritillaria spp.	□									■■		※
Parafavella gigantea	□											
Fritillaria borealis	□											
Favella taraikaensis	□			□								
Oithona similis	□			□						□		
Fritillaria borealis f. *intermedia*	□											
Copepodite of *Paracalanus*				■			■■		※	■		※
Oikopleura spp.				■			■			□		
Microsetella norvegica				□		※						
Oikopleura dioica				□			□			□		
Umbo larva of BIVALVIA				□								
Sticholonche zanclea							■		※			
Copepodite of *Oncaea*							□					
Oncaea media							□		※			
Paracalanus parvus							□					
Nauplius of Balanomorpha										□		
Acartia omorii										□		

注1 過去の測定値は，昭和60年5月から令和7年2月までの評価点における調査結果である。
2 種類数及び個体数の最大，最小，平均の値は，過去の各月の評価点における0～5m層及び5～10m層の測定値より集計した。
3 個体数の「+」は，0.1個体/ℓ未満を示す。
4 主な出現種は，評価点の0～5m層及び5～10m層の各月の総出現量の上位10種とした。
5 表中の凡例に示すマークは，過年度の月別における評価点の総出現量に占める各種の割合とした。
6 ※は，各月において令和7年度の主な出現種と一致した種を示す。
7 過去に出現した同属の「sp.」及び「spp.」は，全て「spp.」として集計した。

凡　例	
■■■■	30%以上
■■■	20%以上
■■	10%以上
■	5%以上
□	5%未満



（測定者：東北電力）

注　大貝崎と早崎を結ぶ線の内側部分を「発電所前面海域」，その他を「発電所周辺海域」とする。

図－11　卵･稚仔調査位置及び評価点

表－5　卵の季節別出現状況（令和7年度）

調査方法：丸稚ネット(NMG52)による300m水平曳き

調査月	5月			8月			11月			2月		
項目	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小
出現種類数	4	4	3	9	9	7	9	7	5	3	2	0
出現個体数（個体/1,000m^3）	36	22	8	1,797	946	342	1,844	886	31	11	5	0
主な出現種（上位5種かつ5%以上）	カレイ科Ⅰ (42.1) 不明卵XⅢ (29.2) 不明卵Ⅶ (25.3)			不明卵Ⅶ (39.0) 不明卵Ⅰ (31.5) 不明卵Ⅷ (11.7) 不明卵Ⅴ (7.5) ネズッポ科 (6.0)			不明卵Ⅴ (63.6) 不明卵Ⅳ (21.4) 不明卵Ⅸ (8.0)			カレイ科Ⅱ (38.9) 不明卵ⅩⅤ (38.9) 不明卵ⅩⅣ (13.9) カレイ科Ⅰ (8.3)		

注1 種類数及び個体数の最大，最小，平均の値は，5月，8月，11月，2月の評価点における表層及び10m層の測定値より集計した。
2 （ ）内の数値は，各月における評価点の総出現量に占める各種の割合とし，単位は「%」とした。
3 主な出現種は，各月における評価点の上位5種かつ5%以上を占める種とした。

表－6　過去の卵調査結果

調査方法：丸稚ネット(NMG52)による300m水平曳き

調査月	5月			8月			11月			2月		
項目	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小
出現種類数	12	1	0	12	6	0	10	2	0	6	2	0
出現個体数（個体/1,000m^3）	5,668	80	0	18,750	973	0	20,455	173	0	542	26	0
主な出現種（上位10種）												
カタクチイワシ	■■■■			■■■■			□			□		
カレイ科	■■		※				□			■■■■		※
ネズッポ科	□			■		※	□					
コノシロ	□											
ババガレイ	□									□		
マガレイ	□									□		
メイタガレイ属	□						□					
ウシノシタ亜目	□			□								
ボラ科	□											
ウナギ目				□			□			□		
ウシノシタ科				□								
ヒラメ科				□								
マイワシ				□								
タチウオ				□								
ウナギ亜目				□								
ウルメイワシ				□			□					
スズキ							■					
イシガレイ							□			■		
マトウダイ科							□					
タチウオ科							□					
アカガレイ										■		
スケトウダラ										■		
アカガレイ属										□		
フリソデウオ科										□		

注1 過去の測定値は，昭和60年5月から令和7年2月までの評価点における調査結果である。
2 種類数及び個体数の最大，最小，平均の値は，過去の各月の評価点における表層及び10m層の測定値より集計した。
3 「0」は，未出現であることを示す。
4 主な出現種は，評価点の表層及び10m層の各月の総出現量の上位10種とした。
5 表中の凡例に示すマークは，過年度の月別における評価点の総出現量に占める各種の割合とした。
6 ※は，各月において令和7年度の主な出現種と一致した種を示す。
7 過去に出現した判別できないカレイ科については，全て「カレイ科」として集計した。

凡　例	
■■■■	30%以上
■■■	20%以上
■■	10%以上
■	5%以上
□	5%未満

表－7　稚仔の季節別出現状況（令和7年度）

調査方法：丸稚ネット(NMG52)による300m水平曳き

調査月	5月			8月			11月			2月		
項目	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小
出現種類数	3	1	0	14	12	6	8	7	4	5	4	2
出現個体数（個体/1,000m^3）	5	3	0	1,075	570	191	26	17	10	28	23	21
主な出現種（上位5種かつ5%以上）	ムラソイ		(55.0)	ハゼ科		(37.0)	ベラ科		(32.6)	メバル属		(43.8)
	メバル属		(15.0)	イソギンポ		(26.5)	メバル属		(19.7)	アイナメ属		(42.2)
	カサゴ		(15.0)	カタクチイワシ		(23.8)	オニハダカ属		(11.4)	マコガレイ		(9.2)
	マツカワ		(15.0)				カサゴ		(8.3)			
							ハゼ科		(5.3)			

注1 種類数及び個体数の最大，最小，平均の値は，5月，8月，11月，2月の評価点における表層及び10m層の測定値より集計した。
2 （ ）内の数値は，各月における評価点の総出現量に占める各種の割合とし，単位は「%」とした。
3 主な出現種は，各月における評価点の上位5種かつ5%以上を占める種とした。
4 主な出現種のアンダーラインは，表－8に定義する「過去の主な出現種」と一致しなかった種を示す。

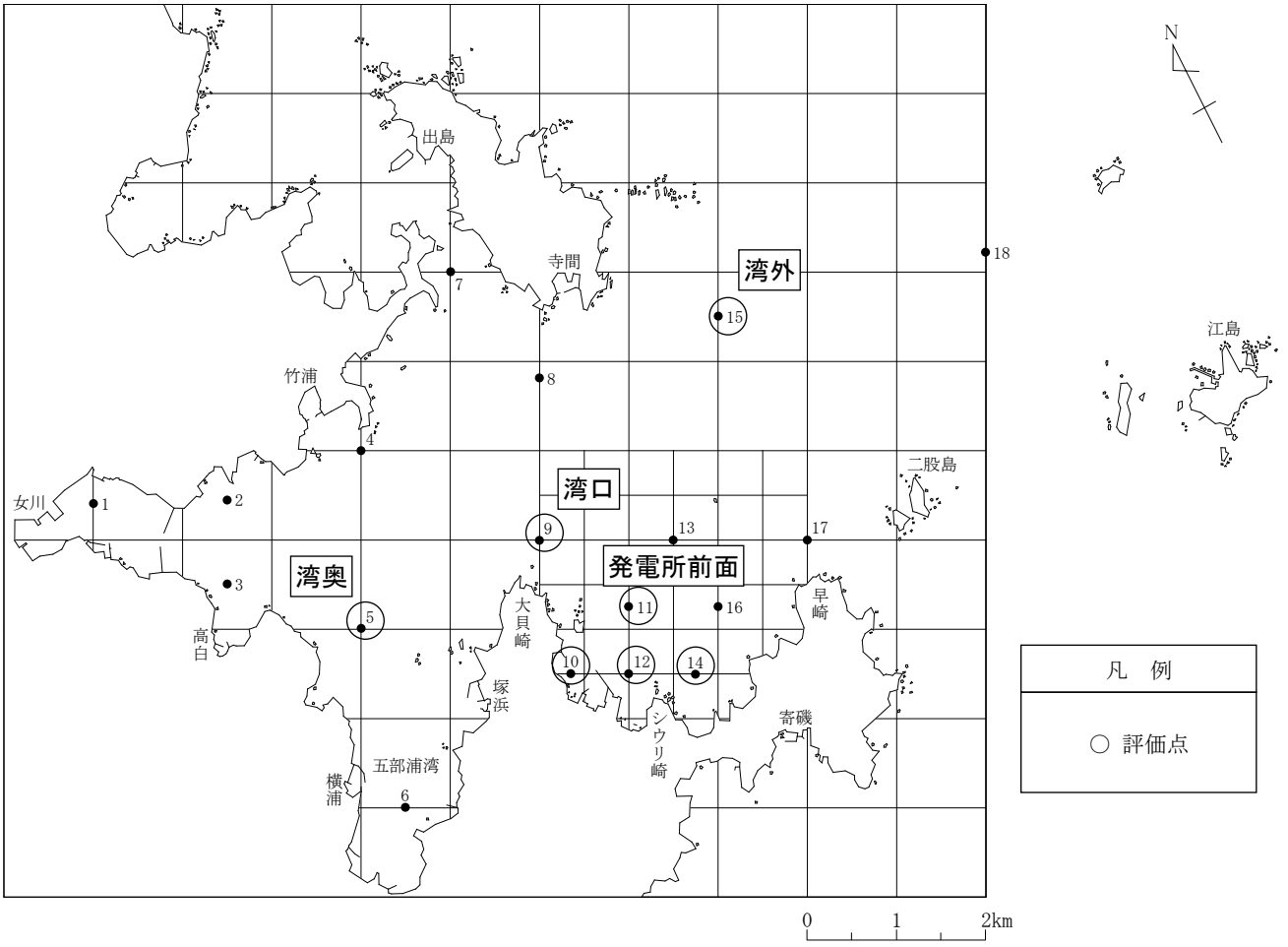
表－8　過去の稚仔調査結果

調査方法：丸稚ネット(NMG52)による300m水平曳き

調査月	5月			8月			11月			2月		
項目	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小
出現種類数	14	1	0	16	5	0	14	2	0	7	3	0
出現個体数（個体/1,000m^3）	268	8	0	1,759	104	0	1,005	18	0	648	37	0
主な出現種(上位10種)												
カタクチイワシ	■■■■			■■■■		※	■■■■					
ネズッポ科	■			□			□					
クサウオ属	□											
メバル属	□		※				□		※	□		※
ヒラメ科	□			□								
ムラソイ	□		※				■			□		
クロソイ	□											
カジカ科	□											
イソギンポ	□			■		※	□					
キツネメバル	□											
ハゼ科				■■		※						
イソギンポ科				□								
アジ科				□								
フグ科				□								
ミミズハゼ属				□								
ナベカ属				□								
アイナメ属							□			■■		※
ヨロイメバル							□					
アミメハギ							□					
ササノハベラ属							□					
アイナメ科							□					
イカナゴ										■■■■		
マコガレイ										□		※
タウエガジ科										□		
ムシャギンポ属										□		
タラ科										□		
スケトウダラ										□		
フサギンポ属										□		

注1 過去の測定値は，昭和60年5月から令和7年2月までの評価点における調査結果である。
2 種類数及び個体数の最大，最小，平均の値は，過去の各月の評価点における
表層及び10m層の測定値より集計した。
3 「0」は，未出現であることを示す。
4 主な出現種は，評価点の表層及び10m層の各月の総出現量の上位10種とした。
5 表中の凡例に示すマークは，過年度の月別における評価点の総出現量に占める各種の割合とした。
6 ※は，各月において令和7年度の主な出現種と一致した種を示す。

凡　例	
■■■■	30%以上
■■■	20%以上
■■	10%以上
■	5%以上
□	5%未満



（測定者：東北電力）

注　大貝崎と早崎を結ぶ線の内側部分を「発電所前面海域」，その他を「発電所周辺海域」とする。

図－12　底生生物調査位置及び評価点

表－9　マクロベントスの評価点別出現状況（令和7年度）

調査方法：スミス・マッキンタイヤ型採泥器による採泥(3回採泥)

項目＼区分	評価点	発電所周辺海域 湾奥 St.5	発電所周辺海域 湾口 St.9	発電所周辺海域 湾外 St.15	発電所前面海域 St.10	St.11	St.12	St.14
出現種類数	最大	40	40	28	33	42	22	41
	平均	32	39	24	24	40	22	30
	最小	23	37	19	14	37	21	19
出現個体数 (個体/0.15m²)	最大	197	193	71	114	110	57	94
	平均	149	165	57	69	102	44	71
	最小	101	137	43	23	93	30	47
主な出現種 (上位5種かつ5%以上)		モロテゴカイ (34.9) タケフシゴカイ科 (11.1)	モロテゴカイ (16.1) タケフシゴカイ科 (10.6) *Iphinoe* sp. (7.6) *Euchone* sp. (6.4)	*Gammaropsis* sp. (20.2) チマキゴカイ (7.0) 紐形動物門 (6.1) *Pista* sp. (6.1) *Birubius* sp. (6.1)	*Aricidea neosuecica* (26.3) *Chaetozone* sp. (10.2) タマキガイ (6.6) マメウニ科 (5.8) 紐形動物門 (5.1)	*Iphinoe* sp. (8.4) 紐形動物門 (6.9) ウミホタル科 (6.4)	タマキガイ (26.4) *Anaitides* sp. (5.7)	タマキガイ (12.8) *Anaitides* sp. (5.7)

注1 種類数及び個体数の最大，最小，平均の値は，評価点における8月，2月の測定値より集計した。
2 ( )内の数値は，評価点の総出現量に占める各種の割合とし，単位は「%」とした。
3 主な出現種は，評価点における上位5種かつ5%以上を占める種とした。
4 主な出現種のアンダーラインは，表－10に定義する「過去の主な出現種」と一致しなかった種を示す。

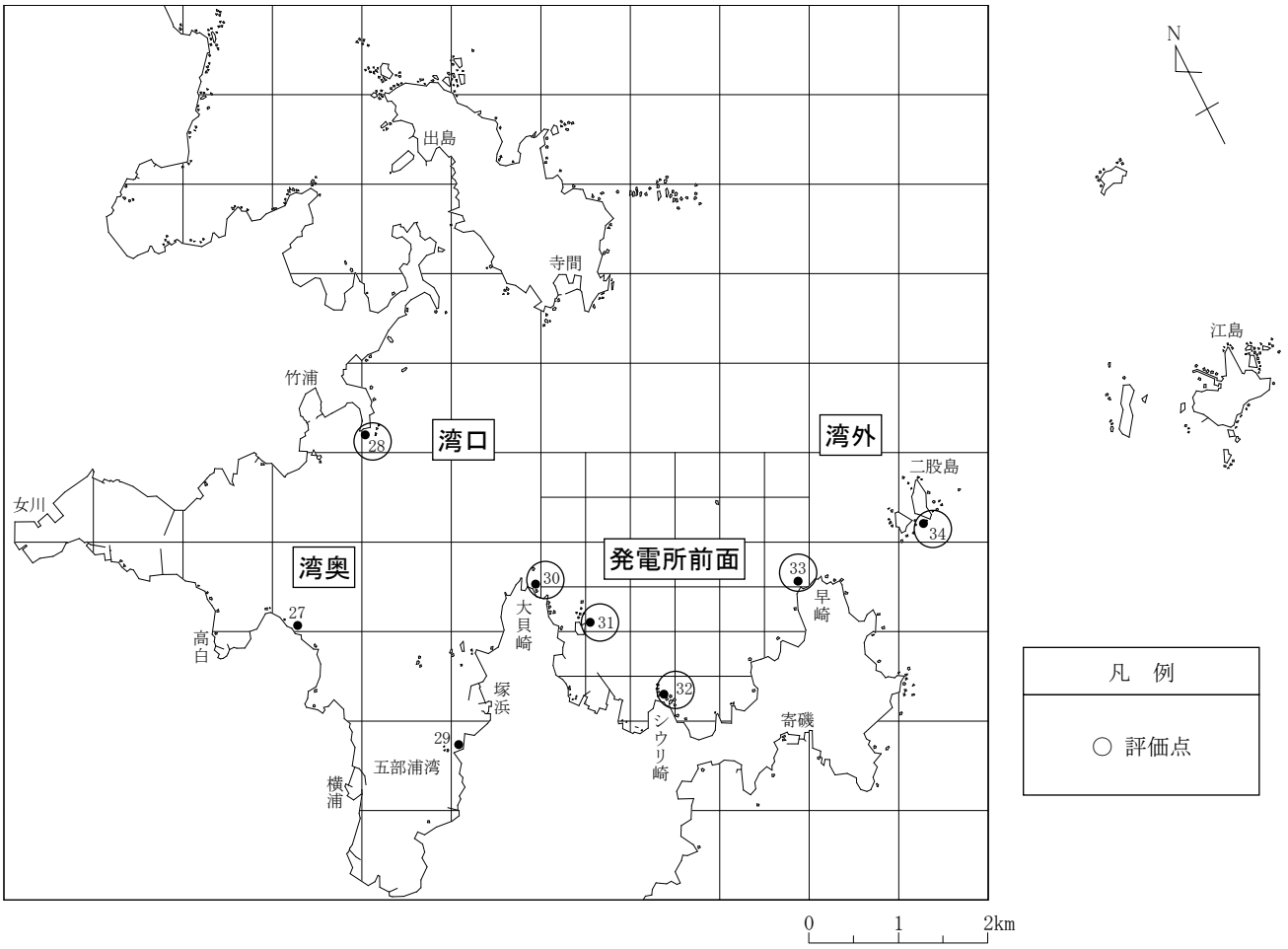
表－10　過去のマクロベントス調査結果

調査方法：スミス・マッキンタイヤ型採泥器による採泥(3回採泥)

項目＼区分	評価点	発電所周辺海域 湾奥 St.5	発電所周辺海域 湾口 St.9	発電所周辺海域 湾外 St.15	発電所前面海域 St.10	St.11	St.12	St.14
出現種類数	最大	105	87	54	58	113	78	73
	平均	49	44	30	24	48	31	37
	最小	15	13	9	8	8	8	9
出現個体数 (個体/0.15m²)	最大	826	1,570	478	584	909	767	967
	平均	266	223	112	109	237	164	226
	最小	44	23	12	17	12	23	25
主な出現種(上位10種)								
タケフシゴカイ科		■ ※	■ ※			□		
モロテゴカイ		■ ※	■ ※					
ハナシガイ		■	□					
ニッポンスガメ		■	□			□		□
Leiochrides spp.		■	□					
Chaetozone spp.		■			■ ※	□	□	□
Aricidea neosuecica		□	□					
コグルミガイ		□						
Polydora spp.		□		□	□			
Tharyx spp.		□				□		
ラスバンマメガニ			■■					
Lumbrineris spp.			□					
メリタヨコエビ属			□					
紐形動物門			□	□ ※				
エラナシスピオ				■■	■	□	□	
Euchone spp.				■■				
Laphania spp.				□				
Prionospio spp.				□	■		■	
マクスピオ				□	□			
Lumbrinerides spp.				□				
Synchelidium spp.				□			□	
Pista spp.				□ ※				
タマキガイ					■ ※		■ ※	□ ※
マルソコエビ属					■		■	■
Birubius spp.					□		□	
マルソコエビ					□			□
ラムプロプス科					□			
フトヒゲソコエビ科						■	■	□
キララガイ						□		
Ampelisca spp.						□	■	■■
ウミホタル科						□ ※		
ヒダエラソコエビ						□	□	
ケヤリ科								□
クビナガスガメ								□
Chone spp.								□

注1 過去の測定値は，昭和60年8月から令和7年2月までの評価点における調査結果である。
2 種類数及び個体数の最大，最小，平均の値は，評価点における過去の測定値より集計した。
3 主な出現種は，評価点における総出現量の上位10種とした。
4 表中の凡例に示すマークは，過年度における評価点別の総出現量に占める各種の割合とした。
5 ※は，評価点において令和7年度の主な出現種と一致した種を示す。
6 過去に出現した同属の「sp.」及び「spp.」は，全て「spp.」として集計した。

凡　例	
■■■■	30%以上
■■■	20%以上
■■	10%以上
■	5%以上
□	5%未満



（測定者：東北電力）

注　大貝崎と早崎を結ぶ線の内側部分を「発電所前面海域」，その他を「発電所周辺海域」とする。

図－13　潮間帯生物調査位置及び評価点

表－11　潮間帯生物(植物)の評価点別出現状況(令和7年度)

調査方法:50cm×50cm方形枠による枠取り採取(4潮位帯)

区分		発電所周辺海域						発電所前面海域											
		湾口			湾外														
評価点		St.28			St.34			St.30			St.31			St.32			St.33		
項目		最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小
出現種類数	高潮帯	1	1	0	4	2	1	1	1	0	2	2	1	4	2	1	4	3	1
	中潮帯	7	4	2	10	6	2	8	4	1	6	5	3	5	3	1	7	5	3
	低潮帯	16	16	14	23	20	16	17	14	8	26	22	15	22	18	14	**32**	20	12
	潮下帯	8	5	4	20	19	16	25	14	8	29	18	**5**	17	16	13	**34**	26	16
出現湿重量 (g/0.25m²)	高潮帯	＋	＋	0.0	0.9	0.2	＋	＋	＋	0.0	＋	＋	＋	2.6	0.7	＋	3.8	1.0	＋
	中潮帯	1.4	0.6	＋	175.6	74.6	＋	5.0	1.3	＋	44.2	17.7	＋	14.8	3.8	＋	3.2	0.8	＋
	低潮帯	1,450.1	678.7	156.2	1,087.6	616.3	96.5	435.0	160.6	39.8	2,289.2	1,113.4	660.8	845.8	393.5	90.6	1,179.6	574.5	160.6
	潮下帯	6.8	2.0	0.0	436.3	242.9	162.1	**4,180.4**	1,164.2	0.2	**6,147.5**	1,855.6	＋	526.8	152.8	0.5	1,446.8	451.7	32.2
主な出現種 (上位5種かつ5%以上)	高潮帯				アマノリ属		(100.0)							アマノリ属		(100.0)	イソダンツウ		(52.6)
																	アマノリ属		(31.6)
																	シワノカワ		(15.8)
	中潮帯	アマノリ属		(58.3)	アマノリ属		(81.0)	アマノリ属		(76.9)	ヒジキ		(85.8)	アマノリ属		(90.7)	アマノリ属		(56.3)
		ピリヒバ		(20.8)	フクロフノリ		(17.4)	イソダンツウ		(23.1)	ピリヒバ		(9.9)	イソダンツウ		(9.3)	イソダンツウ		(43.8)
		イソダンツウ		(16.7)															
	低潮帯	ピリヒバ		(40.0)	ピリヒバ		(33.8)	ピリヒバ		(80.5)	ヒジキ		(37.7)	ピリヒバ		(29.9)	ピリヒバ		(55.9)
		ワカメ		(33.2)	エゾノネジモク		(30.6)	ネバリモ		(7.7)	トサカモドキ属		(12.6)	ワカメ		(19.0)	トサカモドキ属		(25.4)
		エゾノネジモク		(7.5)	イボツノマタ		(11.0)				フダラク		(11.1)	トサカモドキ属		(15.3)	エゾノネジモク		(5.3)
		トサカモドキ属		(6.2)	アマノリ属		(7.7)				エゾノネジモク		(7.9)	ユナ		(14.6)			
					ワツナギソウ		(5.2)				ユナ		(5.6)	ネバリモ		(10.7)			
	潮下帯	フクロノリ		(84.6)	ピリヒバ		(45.4)	ワカメ		(96.5)	ワカメ		(92.1)	ワカメ		(93.5)	ワカメ		(61.4)
		フクリンアミジ		(10.3)	エゾノネジモク		(18.8)										アラメ		(19.8)
					オバクサ		(10.7)												
					カギケノリ		(8.9)												

注1 種類数及び湿重量の最大，最小，平均の値は，評価点の各潮位帯における5月，8月，11月，2月の測定値より集計した。

2 「+」は，0.1g/0.25m²未満であることを示す。

3 「0.0」は，未出現であることを示す。

4 ( )内の数値は，評価点における潮位帯別の総出現量に占める各種の割合とし，単位は「%」とした。

5 主な出現種は，評価点における潮位帯別の上位5種かつ5%以上を占める種とした。

6 アンダーラインの数値(太字)は，過去の測定範囲を外れた値を示す。

7 主な出現種のアンダーラインは，表－12に定義する「過去の主な出現種」と一致しなかった種を示す。

表－12　過去の潮間帯生物(植物)調査結果

調査方法:50cm×50cm方形枠による枠取り採取(4潮位帯)

区分		発電所周辺海域						発電所前面海域											
		湾口			湾外														
評価点		St.28			St.34			St.30			St.31			St.32			St.33		
項目		最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小
出現種類数	高潮帯	9	1	0	6	1	0	18	3	0	15	3	0	16	1	0	25	2	0
	中潮帯	22	9	0	19	6	0	31	9	0	27	10	0	30	5	0	26	8	0
	低潮帯	30	16	5	36	18	4	33	18	0	31	18	6	31	14	1	30	13	2
	潮下帯	30	13	2	40	17	3	32	17	3	34	16	6	23	12	2	33	13	2
出現湿重量 ($g/0.25m^2$)	高潮帯	35.7	0.8	0.0	37.3	0.9	0.0	584.3	16.5	0.0	96.6	3.1	0.0	25.8	0.5	0.0	1,126.1	8.0	0.0
	中潮帯	2,127.8	295.9	0.0	570.0	79.3	0.0	755.6	92.0	0.0	1,908.6	226.6	0.0	1,831.1	38.9	0.0	822.2	68.9	0.0
	低潮帯	7,147.0	799.1	5.6	5,152.7	845.3	92.0	4,805.0	741.1	0.0	5,952.7	1,012.9	8.4	3,670.8	477.7	+	3,820.2	417.6	+
	潮下帯	5,702.8	370.6	+	2,827.3	426.1	0.1	2,835.4	307.3	+	3,504.4	445.1	0.4	2,732.8	98.2	+	1,816.2	118.9	+

潮間帯生物(植物)の主な出現種

St.28	高潮帯	中潮帯	低潮帯	潮下帯
アマノリ属	■■■■			
ウミゾウメン	■			
アオサ属	■			
マツモ	■	■		
ヒジキ	□	■■■■		
イボツノマタ		■■■	□	
ピリヒバ		■ ※	■■ ※	
ツノマタ属		□		■
エゾノネジモク			■■■■ ※	
ワカメ			■■ ※	■
アラメ			■	■■■■
アカバギンナンソウ				■■
ツノマタ				■■

St.31	高潮帯	中潮帯	低潮帯	潮下帯
ウミゾウメン	■■■■			
ピリヒバ	■■	■■■ ※	■■	■
アマノリ属	■■			
イソダンツウ	■■			
カヤモノリ	□			
ヒジキ		■■■■ ※		
ワカメ		■	■■■	■■■■ ※
マツモ		□		
コスジフシツナギ		□		
エゾノネジモク			■■■ ※	■■
エゾシコロ			■	□
アラメ			□	■■■

凡　例	
■■■■	30%以上
■■■	20%以上
■■	10%以上
■	5%以上
□	5%未満

St.34	高潮帯	中潮帯	低潮帯	潮下帯
アマノリ属	■■■■ ※	□ ※		
ウミゾウメン	■■			
フクロフノリ	□			
ウシケノリ	□			
ハナフノリ	□			
イボツノマタ		■■■■	■■ ※	
ツノマタ属		□		
ハリガネ		□		
マツモ		□		
エゾノネジモク			■■■■ ※	■■■■ ※
オバクサ			■	
ワカメ			□	■
マクサ			□	■■
アラメ				■■
コンブ属				■

St.32	高潮帯	中潮帯	低潮帯	潮下帯
アマノリ属	■■■■ ※	□ ※		
ウミゾウメン	■■			
マツモ	■■			
ワタモ	■			
イソダンツウ	□			
ピリヒバ		■■■■	■■ ※	■
ユナ		■■		
アカモク		■		
ワカメ		□	■■■■ ※	■■■■ ※
コンブ属			■■	■■■
エゾノネジモク			□	
アラメ			□	
ハイミル				■
エゾシコロ				■

St.30	高潮帯	中潮帯	低潮帯	潮下帯
アマノリ属	■■■■	■■ ※		
アカバギンナンソウ	■■			
フクロフノリ	■			
カヤモノリ	■			
ツノマタ	□			
ヒジキ		■■■■		
ピリヒバ		■	■■ ※	□
マツモ		■		
イボツノマタ		□		
ワカメ			■■■■	■■■ ※
エゾノネジモク			■	
アラメ			■	■■
コンブ属			■	■■
スジメ				■■

St.33	高潮帯	中潮帯	低潮帯	潮下帯
ツノマタ	■■■■			
イボツノマタ	■■			
アマノリ属	■ ※			
アラメ	□			■■■■ ※
アカバギンナンソウ	□			
ピリヒバ		■■■■	■■■■ ※	
ヒジキ		■■■		
マツモ		■■		
ネバリモ		■■		
ワタモ		■		
ワカメ			■■	■■ ※
コンブ属			■■	■■
エゾノネジモク			■■ ※	□
エゾシコロ			□	
スジメ				■

注1 過去の測定値は，昭和60年5月から令和7年2月までの評価点における調査結果である。

2 種類数及び湿重量の最大，最小，平均の値は，評価点の各潮位帯における過去の測定値より集計した。

3「+」は，$0.1g/0.25m^2$未満であることを示す。

4「0.0」は，未出現であることを示す。

5 主な出現種は，評価点における潮位帯別の総出現量の上位5種とした。

6 表中の凡例に示すマークは，過年度の評価点における潮位帯別の総出現量に占める各種の割合とした。

7 ※は，評価点の各潮位帯において令和7年度の主な出現種と一致した種を示す。

表－13　潮間帯生物(動物)の評価点別出現状況(令和7年度)

調査方法:50cm×50cm方形枠による枠取り採取(4潮位帯)

区分		発電所周辺海域						発電所前面海域											
		湾口			湾外														
評価点		St.28			St.34			St.30			St.31			St.32			St.33		
項目		最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小
出現種類数	高潮帯	5	4	3	7	6	5	5	3	2	10	8	6	9	8	7	13	11	9
	中潮帯	18	15	11	18	15	12	17	14	13	27	21	18	21	16	14	19	15	13
	低潮帯	49	39	33	51	44	38	36	27	**19**	40	31	**25**	40	35	29	28	24	20
	潮下帯	57	49	42	52	45	37	61	54	44	62	50	38	59	57	53	49	42	36
出現個体数 (個体/0.25m^2)	高潮帯	438	373	296	78	58	42	154	91	**16**	1,518	970	292	654	339	146	1,054	546	114
	中潮帯	15,564	9,822	4,648	750	418	110	7,502	4,914	3,086	12,262	5,391	1,872	6,068	2,841	714	3,680	1,713	896
	低潮帯	1,524	1,238	1,067	1,474	1,050	630	4,696	2,851	252	2,258	1,501	1,006	2,212	1,310	417	1,534	867	438
	潮下帯	3,181	1,931	710	4,172	3,015	1,652	4,538	2,610	1,254	6,524	3,169	695	3,762	2,408	1,234	2,744	1,352	259
主な出現種 (上位5種かつ5%以上)	高潮帯	イワフジツボ		(93.4)	イワフジツボ		(54.3)	イワフジツボ		(82.4)	イワフジツボ		(80.0)	イワフジツボ		(77.4)	イワフジツボ		(52.8)
					ベッコウガサガイ		(9.5)	アラレタマキビ		(13.7)	ムラサキインコ		(12.8)	ムラサキインコ		(7.4)	ムラサキインコ		(30.3)
					カメノテ		(9.5)										チリハギガイ		(6.2)
					コガモガイ		(7.8)												
					ムラサキインコ		(7.8)												
	中潮帯	ムラサキインコ		(66.5)	イワフジツボ		(42.6)	ムラサキインコ		(49.7)	ムラサキインコ		(45.2)	ムラサキインコ		(61.7)	イワフジツボ		(45.1)
		イワフジツボ		(20.4)	ムラサキインコ		(21.7)	イワフジツボ		(30.3)	イワフジツボ		(42.9)	イワフジツボ		(25.8)	ムラサキインコ		(31.0)
		チリハギガイ		(9.5)	クロフジツボ		(11.4)	チリハギガイ		(14.7)				チリハギガイ		(5.6)	チリハギガイ		(8.8)
					コガモガイ		(5.5)										クロフジツボ		(8.6)
	低潮帯	ムラサキインコ		(16.8)	*Hyale* sp.		(18.6)	ムラサキインコ		(70.5)	イワフジツボ		(11.6)	*Hyale* sp.		(23.3)	ムラサキインコ		(15.5)
		ニシキウズガイ科		(9.6)	ニシキウズガイ科		(8.9)	チリハギガイ		(8.6)	*Hyale* sp.		(10.7)	ニシキウズガイ科		(15.6)	チャツボ		(12.6)
		シリス科		(8.3)	シリス科		(8.5)	イワフジツボ		(7.2)	シリス科		(9.2)	ムラサキインコ		(5.9)	ケハダヒザラガイ属		(8.3)
		Caprella spp.		(7.6)	タテソコエビ科		(5.3)				ヒゲブトゴカイ		(6.8)	ヒゲブトゴカイ		(5.5)	シリス科		(6.6)
		Ampithoe sp.		(6.3)							*Ampithoe* sp.		(6.3)	シリケンウミセミ		(5.2)	ヒゲブトゴカイ		(6.2)
	潮下帯	フジツボ科		(20.4)	チャツボ		(18.3)	フジツボ科		(15.7)	カマキリヨコエビ		(12.7)	イソヨコエビ		(13.1)	フジツボ科		(10.5)
		サンカクフジツボ		(10.2)	*Ampithoe* sp.		(13.2)	イソヨコエビ		(15.3)	イソヨコエビ		(10.2)	ニシキウズガイ科		(13.0)	カマキリヨコエビ		(9.4)
		イソヨコエビ		(8.2)	カマキリヨコエビ科		(10.1)	カマキリヨコエビ		(11.2)	*Gammaropsis* sp.		(9.6)	*Gammaropsis* sp.		(12.2)	チャツボ		(7.8)
		カマキリヨコエビ科		(8.1)	ニホンソコエビ		(7.3)	ニキシウズガイ科		(5.7)	*Pontogeneia* sp.		(7.8)	フジツボ科		(10.8)	イソヨコエビ		(7.3)
		ニシキウズガイ科		(7.3)	フサゴカイ科		(7.2)	*Gammaropsis* sp.		(5.5)	フジツボ科		(7.3)	カマキリヨコエビ		(6.9)	マルエラワレカラ		(6.8)

注1 種類数及び個体数の最大，最小，平均の値は，評価点の各潮位帯における5月，8月，11月，2月の測定値より集計した。
2 ( )内の数値は，評価点における潮位帯別の総出現量に占める各種の割合とし，単位は「%」とした。
3 主な出現種は，評価点における潮位帯別の上位5種かつ5%以上を占める種とした。
4 アンダーラインの数値(太字)は，過去の測定範囲を外れた値を示す。
5 主な出現種のアンダーラインは，表－14に定義する「過去の主な出現種」と一致しなかった種を示す。

表－14　過去の潮間帯生物(動物)調査結果

調査方法:50cm×50cm方形枠による枠取り採取(4潮位帯)

項目	区分	発電所周辺海域 湾口 St.28 最大	平均	最小	発電所周辺海域 湾外 St.34 最大	平均	最小	発電所前面海域 St.30 最大	平均	最小	St.31 最大	平均	最小	St.32 最大	平均	最小	St.33 最大	平均	最小
出現種類数	高潮帯	31	10	2	26	9	1	25	11	1	47	15	2	19	7	2	58	10	2
	中潮帯	58	25	8	61	17	4	66	25	8	50	29	6	38	19	5	49	24	7
	低潮帯	105	52	19	86	52	20	79	48	23	81	49	26	86	41	7	61	33	6
	潮下帯	85	38	6	84	48	7	85	44	11	90	48	15	66	35	7	66	32	6
出現個体数 (個体/0.25m²)	高潮帯	62,502	5,096	38	10,618	705	15	44,595	6,260	36	219,814	9,476	36	47,284	2,820	4	16,039	1,828	17
	中潮帯	36,432	4,472	28	7,964	389	10	54,082	11,824	312	74,113	3,971	168	27,662	5,243	27	23,710	3,906	119
	低潮帯	20,352	2,159	86	37,088	2,424	66	34,000	2,696	70	61,665	4,346	318	31,048	1,600	23	8,546	1,449	9
	潮下帯	5,222	662	25	10,703	1,778	12	18,084	1,522	22	112,327	4,136	23	8,978	652	13	5,864	616	7

潮間帯生物(動物)の主な出現種

St.28	高潮帯	中潮帯	低潮帯	潮下帯
イワフジツボ	■■■■ ※	■■■ ※		
チリハギガイ	■■■	■■■ ※		
ムラサキインコ	■	■■■■ ※	□ ※	
コガモガイ	□	□		
フサゲモクズ	□			
チシマフジツボ		□		
Caprella spp.			■■ ※	
カマキリヨコエビ			■■	■■
エゾカサネカンザシゴカイ			■	
Ampithoe spp.			■ ※	■
イソホソヨコエビ				■
ベニバイ				■
チャイロタマキビガイ科				□

St.31	高潮帯	中潮帯	低潮帯	潮下帯
イワフジツボ	■■■■ ※	■■■ ※		
チリハギガイ	■■■	■■		
ムラサキインコ	■ ※	■■■■ ※		
コガモガイ	□	■		
イソウミグモ科	□			
ムラサキイガイ		□	□	■
マルエラワレカラ			■■■■	■■■■
Caprella spp.			■	■
シリス科			■ ※	
カマキリヨコエビ			□	
Dodecaceria spp.				■
イソホソヨコエビ				□

凡　例	
■■■■	30%以上
■■■	20%以上
■■	10%以上
■	5%以上
□	5%未満

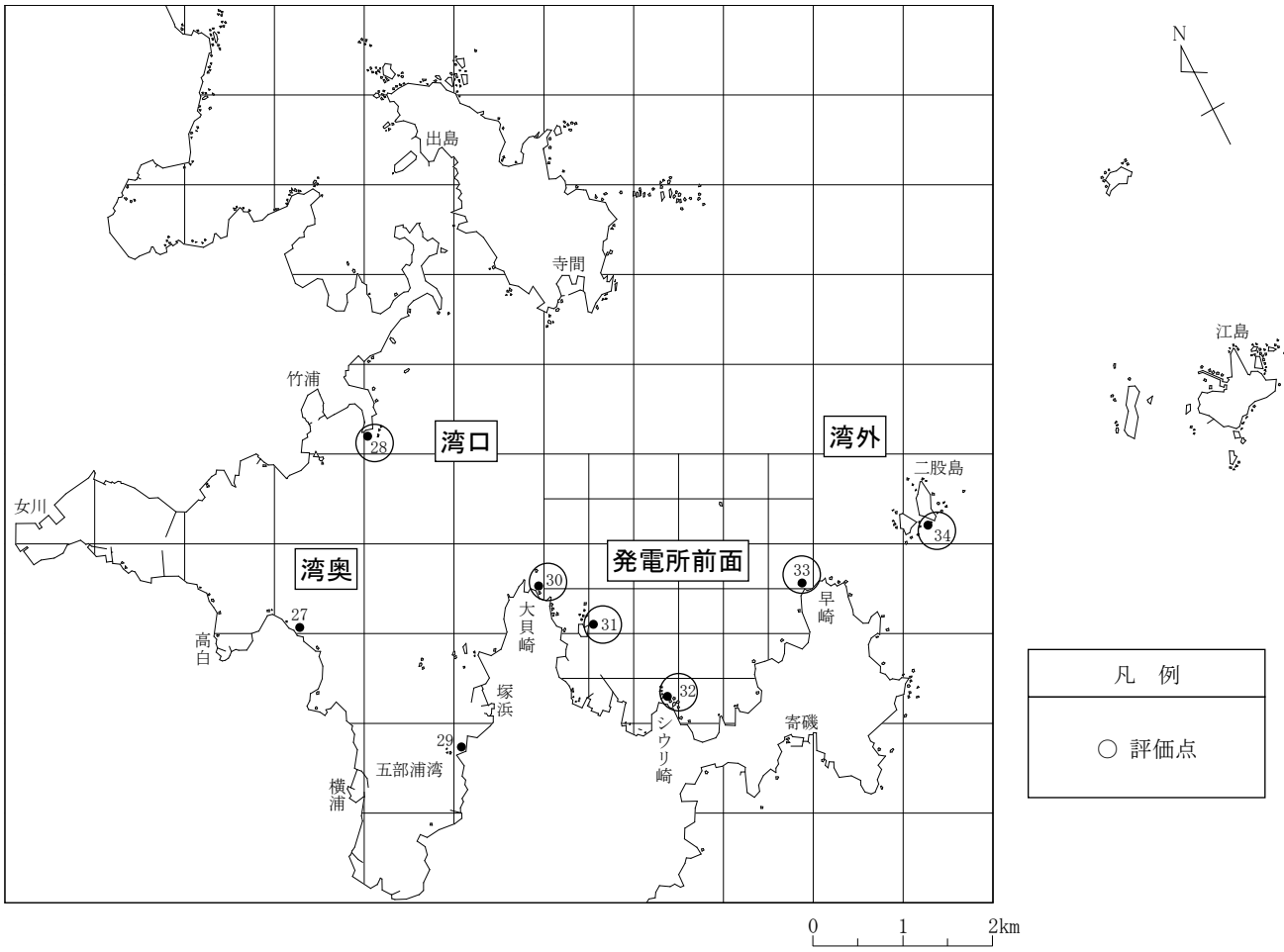
St.34	高潮帯	中潮帯	低潮帯	潮下帯
イワフジツボ	■■■■ ※	■■■ ※		
チリハギガイ	■■■■	■■■■		
コガモガイ	■ ※	■ ※		
ムラサキインコ	■ ※	■■ ※		
ベッコウガサガイ	□ ※			
チシマフジツボ		□		
Caprella spp.			■■■	■
マルエラワレカラ			■■	
Hyale spp.			■ ※	
カマキリヨコエビ			■	■■
ベニバイ			□	■
イソホソヨコエビ				■
チャツボ				■ ※

St.32	高潮帯	中潮帯	低潮帯	潮下帯
イワフジツボ	■■■■ ※	■■■■ ※		
ムラサキインコ	■■■ ※	■■■ ※		
チリハギガイ	■■	■■■ ※		
コガモガイ	□	■		
アラレタマキビ	□			
チシマフジツボ		□		
マルエラワレカラ			■■	
Caprella spp.			■	
カマキリヨコエビ			■	■ ※
ムラサキイガイ			□	■
シリス科			□	
フジツボ科				■ ※
イソホソヨコエビ				■
Dodecaceria spp.				■

St.30	高潮帯	中潮帯	低潮帯	潮下帯
イワフジツボ	■■■■ ※	■ ※		
チリハギガイ	■■■■	■■■■ ※		
ムラサキインコ	■	■■■■ ※	■■ ※	
コガモガイ	□	□		
シリケンウミセミ	□			
ムラサキイガイ		□	■	■
マルエラワレカラ			■■	
Caprella spp.			■	□
カマキリヨコエビ			□	■■ ※
Dodecaceria spp.				■■■
フジツボ科				□ ※

St.33	高潮帯	中潮帯	低潮帯	潮下帯
イワフジツボ	■■■■ ※	■■ ※		
チリハギガイ	■■■ ※	■■■■ ※		
コガモガイ	■	□		
ムラサキインコ	■ ※	■■■■ ※		
イソウミグモ科	□			
チシマフジツボ		■	■■■	
Caprella spp.			■	■
イソヨコエビ			■	
ムラサキイガイ			■	
シリス科			□ ※	
カマキリヨコエビ				■■ ※
Dodecaceria spp.				■■
ホヤノカンノン属				■
エンマヨコエビ科				□

注1 過去の測定値は，昭和60年5月から令和7年2月までの評価点における調査結果である。
2 種類数及び個体数の最大，最小，平均の値は，評価点の各潮位帯における過去の測定値より集計した。
3 主な出現種は，評価点における潮位帯別の総出現量の上位5種とした。
4 表中の凡例に示すマークは，過年度の評価点における潮位帯別の総出現量に占める各種の割合とした。
5 ※は，評価点の各潮位帯において令和7年度の主な出現種と一致した種を示す。
6 過去に出現した同属の「sp.」及び「spp.」は，全て「spp.」として集計した。



（測定者：東北電力）

注　大貝崎と早崎を結ぶ線の内側部分を「発電所前面海域」，その他を「発電所周辺海域」とする。

図－14　海藻群落調査位置及び評価点

表－15　海藻群落の評価点別出現状況（令和7年度）

調査方法：目視観察

項目	区分	発電所周辺海域						発電所前面海域											
		湾口			湾外														
	評価点	St.28			St.34			St.30			St.31			St.32			St.33		
		最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小
出現種類数	上部	30	28	27	29	26	24	26	25	25	32	31	30	32	30	26	27	26	24
	中部	13	12	11	14	12	10	21	16	13	12	11	9	20	18	16	11	9	8
	下部	14	13	12	13	11	9	20	15	11	16	11	8	17	14	10	18	14	10
全体被度（%）	上部	90	45	30	60	58	50	80	43	20	40	35	30	40	34	30	70	40	30
	中部	20	14	5	20	5	＋	30	15	＋	10	5	＋	20	14	10	5	3	＋
	下部	15	9	5	35	21	5	＋	＋	＋	5	4	＋	20	16	10	10	3	＋
主な出現種（上位5種かつ平均被度5%以上）	上部	サビ亜科 (35.0) フクリンアミジ (10.0) ピリヒバ (8.8) エゾノネジモク (5.0)			サビ亜科 (60.0) アラメ (17.5) エゾノネジモク (10.0) スガモ (6.3) ワカメ (5.0)			サビ亜科 (55.0) ワカメ (18.8) イトグサ属 (7.5)			サビ亜科 (60.0) ワカメ (17.5) エゾノネジモク (6.3)			サビ亜科 (60.0) ワカメ (11.3) ハイウスバノリ属 (5.0)			サビ亜科 (60.0) エゾノネジモク (21.3) イトグサ属 (5.0) ワカメ (5.0)		
	中部	サビ亜科 (72.5) フクリンアミジ (10.0)			サビ亜科 (65.0) 珪藻綱 (5.0)			サビ亜科 (62.5) ワカメ (7.5)			サビ亜科 (85.0) 珪藻綱 (5.0)			サビ亜科 (75.0)			サビ亜科 (90.0)		
	下部	サビ亜科 (60.0)			サビ亜科 (72.5) フクリンアミジ (18.8)			サビ亜科 (90.0)			サビ亜科 (90.0)			サビ亜科 (65.0) イワノカワ属 (12.5)			サビ亜科 (90.0)		

注1 種類数及び全体被度の最大，最小，平均の値は，5月，8月，11月，2月の評価点における水深帯別に設定した観察箇所の測定値より集計した。
2 全体被度にサビ亜科は含めない。
3「+」は，被度5%未満であることを示す。
4（ ）内の数値は，評価点における水深帯別の平均被度とし，単位は「%」とした。
5 主な出現種は，評価点における水深帯別の上位5種かつ平均被度5%以上を占める種とした。
6 主な出現種のアンダーラインは，表－17に定義する「過去の主な出現種」と一致しなかった種を示す。

表－16　海藻群落調査の評価点における観察箇所について

水深帯	区分	基点からの距離（水深m）					
		発電所周辺海域		発電所前面海域			
		湾口	湾外				
	評価点	St.28	St.34	St.30	St.31	St.32	St.33
上部（0～5m）		10m (3m)	10m (3m)	10m (5m)	10m (6m)	10m (6m)	10m (8m)
中部（5～10m）		110m (7m)	120m (8m)	20m (13m)	30m (6m)	20m (12m)	30m (10m)
下部（10～15m）		140m (12m)	150m (13m)	30m (16m)	70m (12m)	30m (14m)	80m (12m)

注 評価点における観察箇所は，上部，中部及び下部の各水深帯の目安の水深をもとに設定したが，
評価点によっては，地形状況により，必ずしも目安の水深とは一致しない。

表－17　過去の海藻群落調査結果

調査方法:目視観察

区分		発電所周辺海域						発電所前面海域											
		湾口			湾外														
評価点		St.28			St.34			St.30			St.31			St.32			St.33		
項目		最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小
出現種類数	上部	33	17	7	36	18	7	34	20	6	36	19	7	33	20	2	30	19	7
	中部	17	9	5	22	12	2	35	15	4	26	10	4	25	12	4	25	10	3
	下部	21	11	5	26	13	5	20	11	2	18	10	5	23	11	4	18	10	3
全体被度(%)	上部	100	42	＋	100	71	20	95	41	＋	100	37	5	95	29	＋	100	47	＋
	中部	95	41	＋	100	56	＋	90	14	＋	50	5	＋	45	11	＋	90	17	＋
	下部	80	21	＋	95	41	＋	30	6	＋	65	8	＋	50	17	＋	60	7	＋

海藻群落の主な出現種

St.28	上部	中部	下部
サビ亜科	■■■■ ※	■■■■ ※	■■■■ ※
フクリンアミジ	■■ ※	■■■ ※	■■
アラメ	■		
トゲモク	□	■	
アカモク	□	□	
ケウルシグサ		□	
アミジグサ科			□
イギス科			□
珪藻綱			□

St.31	上部	中部	下部
サビ亜科	■■■■ ※	■■■■ ※	■■■■ ※
サンゴモ亜科	■		
ワカメ	■ ※	□	
フクリンアミジ	□		
アカモク	□		
ケウルシグサ		□	
ハイミル		□	□
珪藻綱		□ ※	□
ヒメゴケ属			□
コザネモ			□

凡　例	
■■■■	30%以上
■■■	20%以上
■■	10%以上
■	5%以上
□	5%未満

St.34	上部	中部	下部
サビ亜科	■■■■ ※	■■■■ ※	■■■■ ※
エゾノネジモク	■■■ ※		
アラメ	■■■ ※	■■■■	■■■
フクリンアミジ	□		
スガモ	□ ※		
マクサ		■	
コンブ属		□	
フシスジモク		□	
ハイミル			□
サンゴモ亜科			□
アカモク			□

St.32	上部	中部	下部
サビ亜科	■■■■ ※	■■■■ ※	■■■■ ※
ワカメ	■ ※		
サンゴモ亜科	□	□	
ヒジキ	□		
ハイウスバノリ属	□ ※		
イワノカワ属		□	■■ ※
パルモフィルム属		□	□
珪藻綱		□	
スズシロノリ			□
イギス科			□

St.30	上部	中部	下部
サビ亜科	■■■■ ※	■■■■ ※	■■■■ ※
ワカメ	■■ ※	□ ※	
サンゴモ亜科	■		
アラメ	■	□	
アカモク	□		
ケウルシグサ		□	
ハイミル		□	□
イワノカワ属			□
珪藻綱			□
スズシロノリ			□

St.33	上部	中部	下部
サビ亜科	■■■■ ※	■■■■ ※	■■■■ ※
エゾノネジモク	■■ ※		
アラメ	■	■	
ワカメ	■ ※		
サンゴモ亜科	□		
珪藻綱		□	□
コンブ属		□	
ハイミル		□	□
スズシロノリ			□
藍藻植物門			□

注1 過去の測定値は，平成5年5月から令和7年2月までの評価点における調査結果である。
2 種類数及び全体被度の最大，最小，平均の値は，評価点における各水深帯の過去の測定値より集計した。
3 全体被度にサビ亜科は含めない。
4「+」は，被度5%未満であることを示す。
5 主な出現種は，評価点における水深帯別の平均被度の上位5種とした。
6 表中の凡例に示すマークは，過年度の評価点における水深帯別の各種の平均被度とした。
7 ※は，評価点の各水深帯において令和7年度の主な出現種と一致した種を示す。

資　　料

第Ⅰ編　物　理　調　査

Ⅰ－１　調査方法

宮城県及び東北電力が分担した，調査事項，調査年月日，測点数，観測層，調査方法，分析項目をそれぞれ表Ⅰ－１－(1)～(2)に示す。

表Ⅰ－1－(1)　調査方法

調査期間: 令和7年4月～令和8年3月

測 定 者: 宮 城 県

調査事項		月 日	測点数	観測層	方法	項目
物理調査	1.水温・塩分調査	4.9 7.22 10.1 1.9	43	0.5, 1, 2, 3, 4, 5, 7, 10, 15, 20, 海底上2m	電気水温, 塩分計を用いて測定	水温, 塩分
	2.流動調査	7.5～19 1.9～23	1	2, 15m	電磁自記式流向流速計により, 15昼夜連続測定	流向, 流速
	3.海象調査	4.9 7.22 10.1 1.9	1	―	目視による測定	波高, 波向
	4.水質調査	4.9 7.22 10.1 1.9	16	0.5, 5, 10, 20, 海底上1m	電気水温, 塩分計を用いて測定 バンドーン型採水器(3ℓ)を 用いて採水し, 測定, 分析	水温, 塩分, SS, 透明度, pH, DO, COD, PO_4-P, NH_4-N, NO_2-N, NO_3-N
	5.底質調査	5.12 10.21	18	―	スミス・マッキンタイヤ型採泥器を 用いて採泥し, 測定, 分析 採泥面積は0.05㎡, 3回採泥 (約7.5ℓ)する	泥温, Eh, 水分含有率, IL, T-S, COD, 粒度組成
	6.水温調査 (モニタリング)	周年	6	0.5m	簡易記録式水温計による 連続測定	水温

注　塩分は, 温排水影響による水温上昇域を確認するため, 水温とあわせて測定している。

表Ⅰ－1－(2)　調査方法

調査期間：令和7年4月～令和8年3月

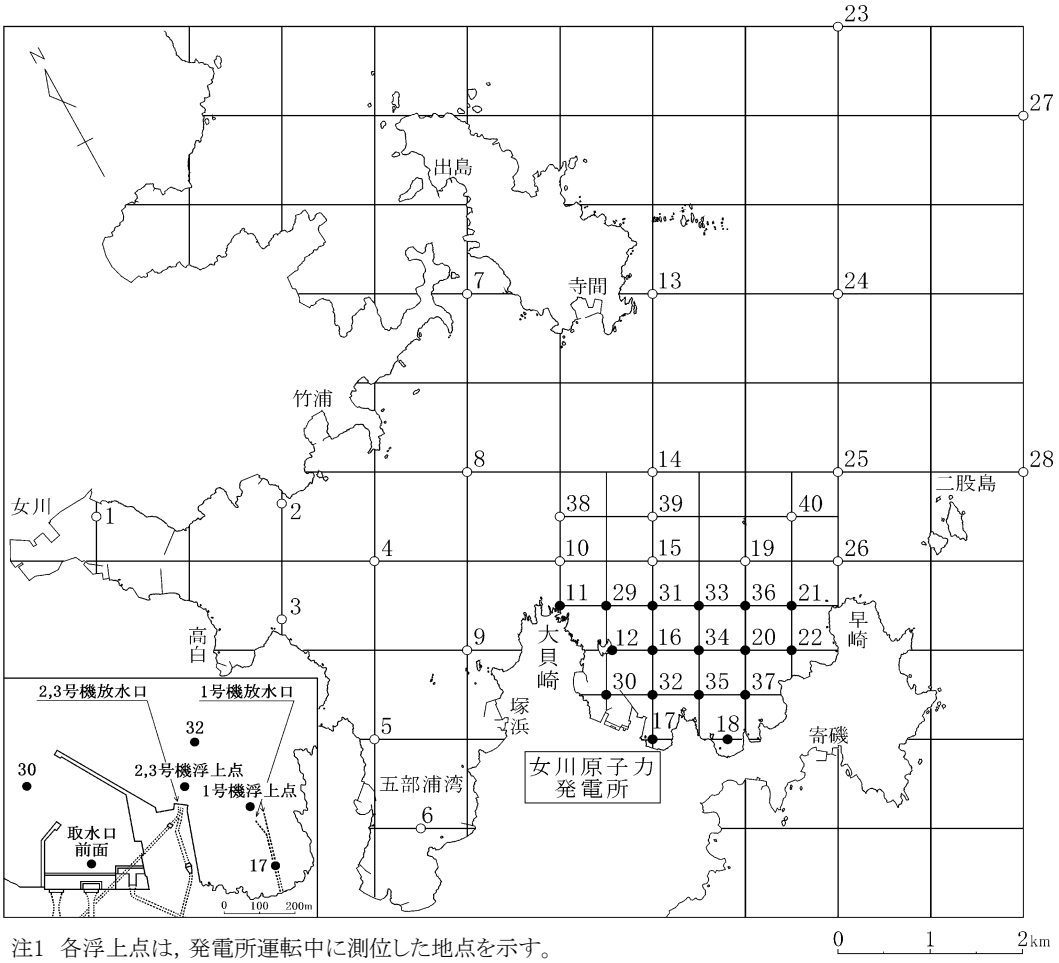
測 定 者：東北電力

調査事項		月 日	測点数	観測層	方法	項目
物理調査	1.水温・塩分調査	5.13 8.7 11.6 2.18	43	0.5, 1, 2, 3, 4, 5, 7, 10, 15, 20, 海底上2m	電気水温，塩分計を用いて測定	水温，塩分
	2.流動調査	5.3～22 8.2～21 11.5～24 2.3～22	6	2，海底上2m	電磁自記式流向流速計により，20昼夜連続測定	流向，流速
	3.海象調査	5.13 8.7 11.6 2.18	1	―	超音波式自記波高計及び陸上からトランシットにより測定	波高，波向
	4.水質調査	5.14 8.6	18	0.5, 5, 10, 20, 海底上1m または0.5m	バンドーン型採水器を用いて採水し，測定，分析	水温，塩分，SS，透明度，pH，DO，COD，ｎ－ヘキサン抽出物質，PO_4-P，T-P，NH_4-N，NO_2-N，NO_3-N，Org-N，T-N，クロロフィルa，フェオフィチン
		8.6	6	0.5m	同 上	CN，Cr(Ⅵ)，Cd，Pb，Zn，Cu，As，T-Fe，T-Mn，T-Cr，T-Hg，R-Hg，Org-P，PCB，大腸菌群数
		11.8 2.17	18	0.5, 5, 10, 20, 海底上1m または0.5m	同 上	水温，塩分，SS，透明度，pH，DO，COD，ｎ－ヘキサン抽出物質，PO_4-P，T-P，NH_4-N，NO_2-N，NO_3-N，Org-N，T-N，クロロフィルa，フェオフィチン
		2.17	6	0.5m	同 上	CN，Cr(Ⅵ)，Cd，Pb，Zn，Cu，As，T-Fe，T-Mn，T-Cr，T-Hg，R-Hg，Org-P，PCB，大腸菌群数
	5.底質調査	8.8	18	―	スミス・マッキンタイヤ型採泥器を用いて採泥し，測定，分析 採泥面積は0.05㎡，3回採泥(約7.5ℓ)する	泥温，Eh，水分含有率，IL，T-S，COD，Org-C，Org-N，粒度組成
		8.8	6	―	同 上	CN，Cd，Pb，Zn，Cu，Cr(Ⅵ)，As，T-Fe，T-Mn，T-Cr，T-Hg，R-Hg，Org-P，PCB，HCH，n-ヘキサン抽出物質，大腸菌群数
		2.20	18	―	同 上	泥温，Eh，水分含有率，IL，T-S，COD，Org-C，Org-N，粒度組成
		2.20	6	―	同 上	CN，Cd，Pb，Zn，Cu，Cr(Ⅵ)，As，T-Fe，T-Mn，T-Cr，T-Hg，R-Hg，Org-P，PCB，HCH，n-ヘキサン抽出物質，大腸菌群数
	6.気象観測	周年	1	―	発電所敷地内露場にて「地上気象観測指針」に基づき観測	風向，風速，気温，湿度，降水量など
	7.水温調査(モニタリング)	周年	9	0.5m St.10,13,15については 水路敷上3m	水温計を搭載した観測ブイならびにフローティング装置による連続モニタリング St.10,13,15については 固定式水温計による 連続モニタリング	水温

注　塩分は，温排水影響による水温上昇域を確認するため，水温とあわせて測定している。

Ⅰ－2　調査結果

測定者：宮城県及び東北電力



注1　各浮上点は，発電所運転中に測位した地点を示す。
　2　説明の都合上，大貝崎と早崎とを結ぶ線の
　　内側の入り江を前面海域，その他を周辺海域とする。

凡例	● 前面海域の調査点
	○ 周辺海域の調査点

図Ⅰ－1　水温･塩分調査位置

表Ⅰ－2　観測条件

項目＼調査年月日		令和7年 4月9日	令和7年 5月13日	令和7年 7月22日	令和7年 8月7日	令和7年 10月1日	令和7年 11月6日	令和8年 1月9日	令和8年 2月18日
波　高		0.48 m	0.30 m	0.20 m	0.23 m	0.61 m	0.40 m	0.37 m	0.30 m
波　向		NE	NE	NE	NE	NE	NE	NE	NE
潮汐 (O.P.)※1	満潮	0.11 m (13:21)	0.36 m (2:32)	0.46 m (16:11)	0.58 m (16:07)	0.39 m (16:02)	0.58 m (4:18)	0.31 m (7:29)	0.20 m (5:00)
	干潮	−0.24 m (7:39)	−0.93 m (9:33)	−0.71 m (7:27)	−0.47 m (8:35)	−0.34 m (3:28)	0.11 m (9:13)	−0.26 m (13:35)	−0.29 m (10:03)
風　速		1.4 m/s	2.2 m/s	0.7 m/s	3.9 m/s	0.8 m/s	欠測※2	2.1 m/s	0.6 m/s
風　向		ENE	SSW	SE	SW	ESE	欠測※2	SW	ESE
気　温		9.9 ℃	17.0 ℃	28.8 ℃	25.8 ℃	19.3 ℃	欠測※2	1.4 ℃	4.3 ℃
湿　度		73 %	67 %	73 %	83 %	91 %	欠測※2	59 %	59 %

注1　※1　潮位の観測基準面は，発電所基準面O.P. = 0.0m（東京湾基準T.P. = −0.74m）である。
　2　※2　使用前事業者検査による欠測。

表Ⅰ－3－(1) 水温・塩分調査時の水温範囲

単位(℃)

月	令和7年度の水温範囲			過去同期の水温範囲[注1]		
	前面海域[注2]	浮上点	周辺海域	前面海域	浮上点	周辺海域
4 (1号機)	8.0 ～ 9.6	8.7 ～ 9.3	7.4 ～ 10.1	4.6 ～ 14.4	4.9 ～ 14.4	4.6 ～ 14.9
(2,3号機)		8.3 ～ 9.5			5.7 ～ 14.3	
5 (1号機)	8.9 ～ 11.8	10.4 ～ 11.6	8.9 ～ 11.8	4.8 ～ 15.6	5.2 ～ 15.4	3.7 ～ 16.7
(2,3号機)		11.7 ～ 12.0			5.8 ～ 15.8	
7 (1号機)	13.4 ～ 20.8	16.5 ～ 19.8	13.5 ～ 20.2	11.8 ～ 23.4	12.7 ～ 23.1	11.2 ～ 25.4
(2,3号機)		15.9 ～ 17.6			12.3 ～ 22.8	
8 (1号機)	19.4 ～ 24.4	21.7 ～ 23.6	19.0 ～ 24.3	14.6 ～ 24.6	16.1 ～ 24.3	14.6 ～ 26.1
(2,3号機)		23.5 ～ 24.1			17.0 ～ 24.4	
10 (1号機)	21.4 ～ 22.7	21.6 ～ 22.5	21.1 ～ 22.6	16.2 ～ 22.1	17.8 ～ 22.7	16.4 ～ 22.1
(2,3号機)		22.1 ～ 23.8			17.5 ～ 22.8	
11 (1号機)	16.7 ～ 18.5	17.9 ～ 18.6	16.6 ～ 18.3	13.6 ～ 21.2	14.2 ～ 21.0	13.1 ～ 21.9
(2,3号機)		18.5 ～ 19.2			14.5 ～ 21.0	
1 (1号機)	10.2 ～ 11.5	11.3 ～ 11.3	9.2 ～ 11.0	8.1 ～ 16.3	8.3 ～ 15.9	6.9 ～ 16.6
(2,3号機)		12.0 ～ 12.2			8.3 ～ 15.8	
2 (1号機)	7.5 ～ 7.9	7.6 ～ 7.7	6.7 ～ 8.4	6.3 ～ 14.0	6.6 ～ 13.5	5.5 ～ 14.5
(2,3号機)		7.6 ～ 7.8			6.7 ～ 13.5	

注1 昭和59年7月から令和7年2月までの調査結果。平成7年1月より2,3号機浮上点(2号機浮上点)を含む。

2 前面海域とは大貝崎と早崎とを結ぶ線の内側を示す。ただし，浮上点を除く。

表Ⅰ－3－(2) 水温・塩分調査時の浮上点及び浮上点近傍，St.17，St.32の水温と取水口前面水温との較差

単位(℃)

月	令和7年度の水温較差の範囲			過去同期の水温較差の範囲[注1]		
	浮上点－取水口前面[注2]	St.17－取水口前面	St.32－取水口前面	浮上点－取水口前面	St.17－取水口前面	St.32－取水口前面
4 (1号機)	(−0.4 ～ 0.5)	−0.4 ～ 0.5	−0.3 ～ 0.4	−1.5 ～ 2.2	−1.0 ～ 1.6	−1.3 ～ 1.4
(2,3号機)	−0.2 ～ 0.6			−1.2 ～ 2.5		
5 (1号機)	(0.3 ～ 0.5)	0.1 ～ 0.3	−0.1 ～ 1.0	−1.5 ～ 1.8	−1.1 ～ 1.0	−1.2 ～ 1.2
(2,3号機)	0.6 ～ 1.6			−0.9 ～ 3.9		
7 (1号機)	(−0.5 ～ 0.9)	−1.8 ～ 0.5	−3.2 ～ 0.2	−3.2 ～ 1.8	−3.2 ～ 1.6	−2.1 ～ 2.2
(2,3号機)	−2.5 ～ 1.0			−3.8 ～ 3.7		
8 (1号機)	(−0.8 ～ 0.2)	−1.2 ～ −0.4	−1.4 ～ 0.0	−3.2 ～ 2.4	−2.1 ～ 2.0	−2.8 ～ 1.7
(2,3号機)	−0.2 ～ 2.0			−2.7 ～ 3.2		
10 (1号機)	(0.3 ～ 0.5)	0.5 ～ 0.5	0.1 ～ 0.7	−0.9 ～ 2.5	−0.4 ～ 1.9	−1.1 ～ 1.1
(2,3号機)	0.3 ～ 1.8			−0.6 ～ 3.1		
11 (1号機)	(0.1 ～ 1.3)	0.9 ～ 1.1	0.5 ～ 1.2	−0.7 ～ 2.2	−0.2 ～ 1.8	−0.5 ～ 1.9
(2,3号機)	0.8 ～ 1.9			0.0 ～ 2.8		
1 (1号機)	(0.6 ～ 0.7)	0.6 ～ 0.8	0.4 ～ 0.9	0.0 ～ 2.5	0.0 ～ 2.0	−0.3 ～ 1.5
(2,3号機)	1.4 ～ 1.6			−0.2 ～ 4.0		
2 (1号機)	(0.1 ～ 0.2)	0.1 ～ 0.1	0.1 ～ 0.2	0.0 ～ 2.8	−0.3 ～ 2.0	−0.2 ～ 2.1
(2,3号機)	(0.1 ～ 0.3)			0.0 ～ 2.8		

注1 昭和60年7月から令和7年2月の調査結果(5月の浮上点－取水口前面のみは平成元年から)。

2 ( )内の調査結果は定期事業者検査のため発電停止中の観測値。

表Ⅰ－3－(3) 水温・塩分調査時の塩分範囲

月	令和7年度の塩分範囲	過去同期の塩分範囲[注]
4	32.0 ～ 33.7	20.5 ～ 35.3
5	30.8 ～ 33.6	24.7 ～ 34.4
7	33.2 ～ 33.9	17.8 ～ 34.7
8	33.0 ～ 33.8	20.5 ～ 34.1
10	33.1 ～ 33.7	26.1 ～ 34.9
11	31.1 ～ 33.7	28.5 ～ 34.6
1	32.9 ～ 34.1	26.9 ～ 34.9
2	33.4 ～ 33.8	32.8 ～ 34.6

注 昭和59年7月から令和7年2月までの調査結果。

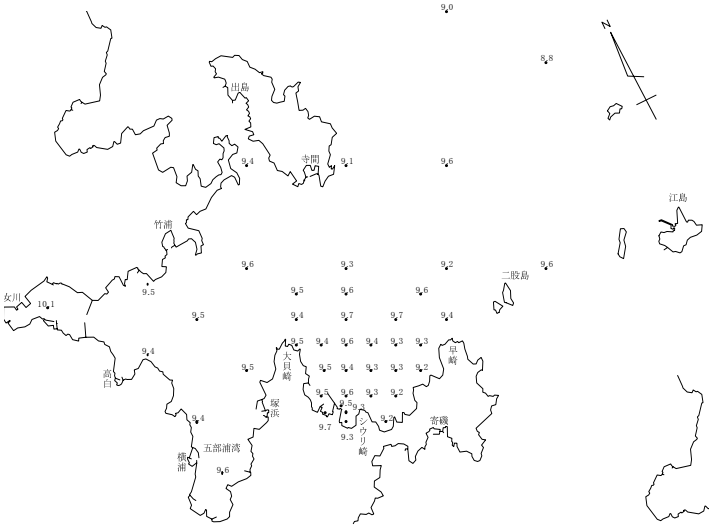
表Ⅰ－3－(4) 水温モニタリングの範囲

単位(℃)

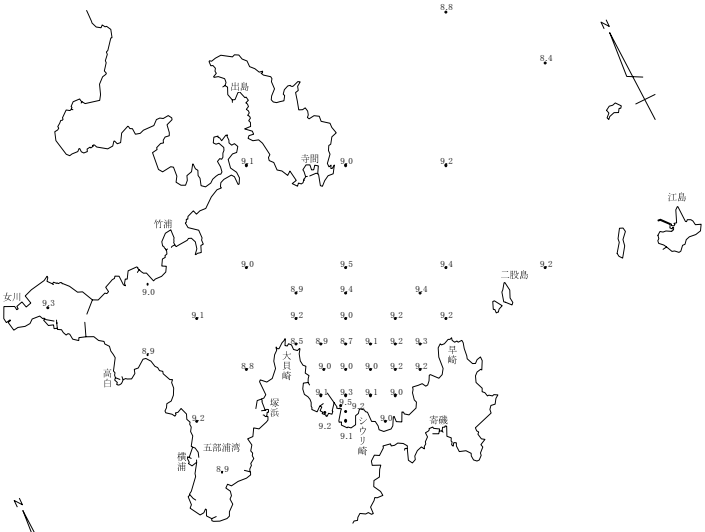
月	令和7年度の水温範囲			過去同期の水温範囲[注]		
	女川湾沿岸 (St.1～5,11)	前面海域 (St.6,8,9,12,14)	湾中央部 (St.7)	女川湾沿岸 (St.1～5,11)	前面海域 (St.6,8,9,12,14)	湾中央部 (St.7)
4	8.3 ～ 11.8	8.6 ～ 11.7	8.9 ～ 11.0	4.6 ～ 17.5	4.7 ～ 17.6	4.8 ～ 16.7
5	10.1 ～ 15.2	9.6 ～ 14.8	10.6 ～ 15.4	5.3 ～ 18.0	6.1 ～ 17.2	5.4 ～ 16.9
6	13.3 ～ 20.2	13.3 ～ 21.1	13.9 ～ 19.7	8.0 ～ 22.6	4.8 ～ 21.9	6.1 ～ 21.1
7	16.1 ～ 24.3	15.7 ～ 23.6	17.1 ～ 23.7	11.9 ～ 26.4	12.6 ～ 25.9	13.8 ～ 25.2
8	22.2 ～ 26.2	21.5 ～ 26.6	23.1 ～ 26.7	17.1 ～ 27.4	15.6 ～ 26.9	16.5 ～ 26.3
9	22.0 ～ 25.5	21.9 ～ 25.7	22.8 ～ 25.7	17.3 ～ 27.4	17.6 ～ 26.6	18.7 ～ 26.1
10	17.7 ～ 22.6	18.2 ～ 22.9	18.6 ～ 22.8	14.2 ～ 23.7	15.1 ～ 23.8	15.4 ～ 23.3
11	13.1 ～ 18.3	13.6 ～ 19.4	13.8 ～ 18.6	11.0 ～ 21.4	12.2 ～ 21.6	12.6 ～ 21.8
12	10.1 ～ 14.1	11.0 ～ 15.1	10.9 ～ 14.3	7.5 ～ 18.6	9.0 ～ 18.6	8.9 ～ 19.2
1	7.2 ～ 10.9	7.3 ～ 12.4	8.1 ～ 11.3	6.0 ～ 16.1	6.6 ～ 16.3	6.6 ～ 16.2
2	6.9 ～ 8.9	6.5 ～ 8.5	7.9 ～ 8.5	4.5 ～ 14.4	5.6 ～ 14.4	5.4 ～ 14.4
3	7.4 ～ 9.5	7.5 ～ 9.2	7.6 ～ 9.1	3.9 ～ 15.3	4.0 ～ 14.0	4.0 ～ 14.9

注 昭和59年6月から令和7年3月までの調査結果。前面海域において，平成6年10月よりSt.12，平成13年4月よりSt.14を含む。

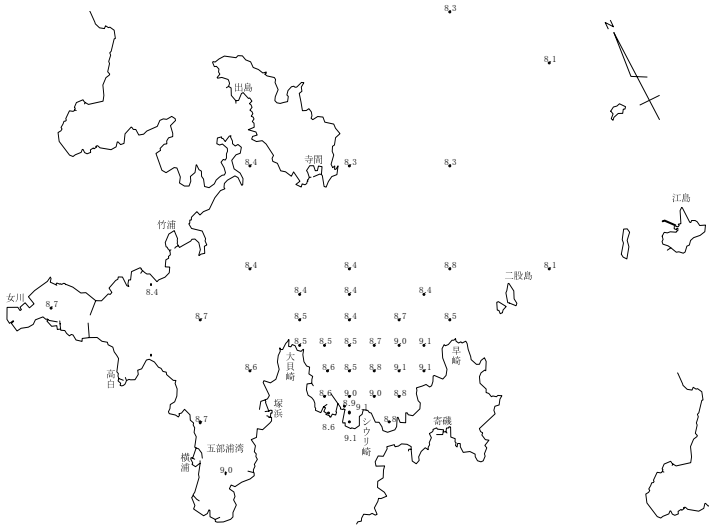
海面下 0.5 m



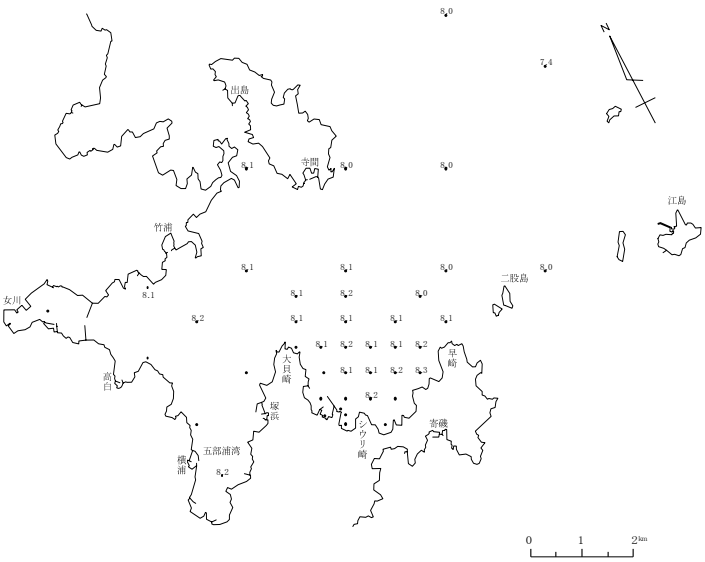
海面下 5 m



海面下 10 m



海面下 20 m



単　　位：　℃
調査年月日：令和7年4月9日
測 定 者：宮 城 県

図Ⅰ－2－(1) 水温水平分布 ［干 潮 時］



調査年月日 ： 令和7年4月9日
測 定 者 ： 宮 城 県

図Ⅰ－2－(2) 塩分水平分布 ［干 潮 時］

表Ⅰ－4－(1) 水温鉛直分布(干潮時)

単　　位：　℃
調査年月日：令和7年4月9日
測 定 者：宮城県

St.	周辺海域																							前面海域																			浮1	浮2,3	取水口前面
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	13	14	15	19	23	24	25	26	27	28	38	39	40	11	12	16	17	18	20	21	22	29	30	31	32	33	34	35	36	37			
m																																												
0.5	*10.1*	9.5	9.4	9.5	9.4	9.6	9.4	9.6	9.5	9.4	9.1	9.3	9.7	9.7	9.0	9.6	9.2	9.4	8.8	9.6	9.5	9.6	9.6	9.5	9.5	9.4	9.3	9.2	9.3	9.3	9.2	9.4	9.5	*9.6*	*9.6*	9.4	9.3	9.3	9.3	9.2	*9.3*	*9.5*	9.7
1	*10.1*	9.5	9.3	9.5	9.4	9.6	9.4	9.6	9.5	9.4	9.1	9.3	9.7	9.7	9.0	9.6	9.2	9.4	8.8	9.6	9.5	9.6	9.6	9.5	9.5	9.4	9.3	9.2	9.3	9.3	9.2	9.4	9.5	*9.6*	9.4	9.4	9.3	9.3	9.2	9.2	*9.3*	*9.5*	9.7
2	9.9	9.5	9.3	9.5	9.3	9.5	9.3	9.7	9.5	9.4	9.1	9.4	9.6	9.6	9.0	9.6	9.2	9.4	8.8	9.6	9.5	9.7	9.6	9.4	9.4	9.3	9.2	9.2	9.3	9.3	9.2	9.5	9.4	*9.6*	9.5	9.4	9.3	9.2	9.2	9.2	*9.3*	*9.5*	9.6
3	9.8	9.5	9.3	9.4	9.3	9.2	9.1	9.5	9.1	9.4	9.1	9.5	9.4	9.4	9.0	9.4	9.3	9.3	8.8	9.4	9.2	9.7	9.6	9.1	9.2	9.3	9.2	9.2	9.3	9.3	9.2	9.4	9.3	9.3	9.5	9.4	9.3	9.2	9.2	9.2	9.2	*9.5*	9.5
4	9.6	9.4	9.2	9.3	9.2	9.0	9.0	9.4	8.8	9.4	9.1	9.5	9.1	9.2	9.1	9.4	9.4	9.2	8.8	9.1	9.0	9.5	9.5	8.6	9.0	9.1	9.2	9.0	9.2	9.3	9.2	9.2	9.3	9.3	9.5	9.4	9.2	9.1	9.2	9.1	9.2	*9.5*	9.3
5	9.3	9.0	8.9	9.1	9.2	8.9	9.1	9.0	8.8	9.2	9.0	9.5	9.0	9.2	8.8	9.2	9.4	9.2	8.4	9.2	8.9	9.4	9.4	8.5	9.0	9.0	9.1	9.0	9.2	9.3	9.2	8.9	9.1	8.7	9.3	9.1	9.0	9.1	9.2	9.0	9.2	*9.5*	9.2
7	8.9	8.6	8.6	8.8	8.8	8.9	8.8	8.6	8.7	8.7	8.8	8.9	8.6	8.9	8.5	8.5	9.4	8.8	8.2	8.6	8.5	9.0	9.0	8.5	8.6	8.7	9.1	9.0	9.2	9.2	9.2	8.6	8.9	8.6	9.3	8.9	9.0	9.0	9.1	9.0	9.2	*9.5*	8.9
10	8.7	8.4		8.7	8.7	9.0	8.4	8.4	8.6	8.5	8.3	8.4	8.4	8.7	8.3	8.3	8.8	8.5	8.1	8.1	8.4	8.4	8.4	8.5	8.6	8.5	9.1	8.8	9.1	9.1	9.1	8.5	8.6	8.5	9.0	8.7	8.8	9.0	9.0	8.8	9.1	8.9	8.6
15	8.5	8.2		8.4	8.5	8.7	8.3	8.3	8.6	8.4	8.1	8.2	8.2	8.4	8.1	8.1	8.2	8.3	7.8	8.0	8.3	8.4	8.4	8.3		8.2			8.5	8.6	8.7	8.3		8.4	*8.0*	8.4	8.3	8.4	8.4	8.5	*8.7*	*8.3*	
20		8.1		8.2		8.2	8.1	8.1		8.1	8.0	8.1	8.1	8.1	8.0	8.0	8.0	8.1	*7.4*	8.0	8.1	8.2	8.0			8.1			8.2	8.2	8.3	8.1		8.2		8.1	8.1	8.2	8.1				
海底上2m	8.5	8.1	8.6	7.9	8.3	8.2	7.9	7.8	8.6	7.8	7.9	7.8	7.7	7.7	7.8	7.3	7.7	7.9	7.0	7.6	7.8	7.8	7.7	8.4	8.6	8.0	9.1	8.8	7.9	7.8	7.9	8.1	8.4	7.8	8.1	7.8	7.8	8.2	7.8	8.4	8.7	8.3	8.6
(水深:m)	(17.5)	(24.0)	(10.0)	(34.5)	(20.0)	(22.0)	(31.5)	(37.5)	(17.0)	(34.0)	(28.5)	(40.5)	(38.5)	(39.0)	(36.0)	(45.0)	(42.5)	(30.5)	(63.5)	(41.5)	(39.0)	(41.0)	(36.0)	(16.0)	(11.5)	(25.5)	(12.0)	(11.5)	(27.5)	(28.5)	(28.0)	(23.0)	(14.0)	(34.0)	(17.5)	(35.5)	(30.5)	(22.0)	(29.0)	(18.5)	(16.0)	(16.0)	(11.5)

注 1　St.はステーションの意で測定地点を示す。
　 2　「／」は海底に達したため測定不能箇所を示す。
　 3　過去は昭和59年7月から令和6年度までを表す。

過去同期(昭和59年7月から令和6年度まで)の測定範囲

周辺海域[4.6～14.9℃]　前面海域[4.6～14.4℃]
1号機浮上点[4.9～14.4℃]　2,3号機浮上点[5.7～14.3℃]

□ 範囲内の最大値
□ 範囲内の最小値

表Ⅰ－4－(2) 塩分鉛直分布(干潮時)

調査年月日 ： 令和7年4月9日

測 定 者 ： 宮 城 県

St.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	浮1	浮2,3	取水口前面
m 0.5	33.0	33.0	33.0	32.9	33.3	33.2	32.7	32.8	33.2	33.0	33.2	33.2	32.3	32.8	33.0	33.2	33.4	33.4	33.0	33.3	33.0	33.4	*32.0*	32.7	32.8	33.0	32.2	32.7	33.1	33.0	33.1	33.5	33.2	33.3	33.5	33.1	33.4	33.0	32.9	32.9	33.4	33.3	33.1
1	33.0	33.0	33.1	32.9	33.3	33.2	32.6	32.9	33.2	33.0	33.2	33.2	32.3	32.8	33.0	33.2	33.4	33.4	33.0	33.3	33.0	33.4	*32.0*	32.7	32.8	33.0	32.2	32.7	33.1	33.2	33.1	33.5	33.2	33.3	33.5	33.1	33.4	33.1	33.0	32.9	33.4	33.3	33.1
2	33.1	33.1	33.3	33.3	33.4	33.3	32.7	33.2	33.2	33.0	33.3	33.2	32.3	32.9	33.0	33.3	33.4	33.4	33.0	33.3	33.0	33.4	*32.0*	32.7	32.9	33.0	32.2	32.8	33.2	33.2	33.1	33.6	33.2	33.4	33.5	33.1	33.4	33.2	33.0	32.9	33.4	33.3	33.2
3	33.3	33.3	33.3	33.4	33.4	33.4	32.8	33.3	33.4	33.1	33.4	33.3	32.5	33.0	33.3	33.3	33.5	33.4	33.2	33.4	33.0	33.5	32.1	32.8	32.9	33.1	32.3	32.9	33.3	33.3	33.3	33.5	33.3	33.4	33.5	33.2	33.4	33.3	33.1	33.1	33.4	33.3	33.2
4	33.5	33.4	33.4	33.4	33.4	33.5	32.9	33.4	33.6	33.2	33.6	33.4	32.6	33.0	33.4	33.5	33.5	33.4	33.3	33.4	33.1	33.5	32.5	32.9	33.1	33.1	32.4	33.1	33.3	33.3	33.3	33.6	33.3	33.4	33.5	33.4	33.5	33.5	33.2	33.2	33.5	33.3	33.3
5	33.5	33.5	33.5	33.5	33.4	33.5	33.1	33.4	33.6	33.3	33.6	33.5	32.6	33.2	33.4	33.5	33.5	33.5	33.4	33.5	33.1	33.5	33.2	33.0	33.1	33.1	33.3	33.3	33.5	33.4	33.5	33.5	33.4	33.5	33.5	33.4	33.5	33.5	33.3	33.2	33.5	33.3	33.4
7	33.6	33.6	33.6	33.5	33.6	33.6	33.3	33.6	33.6	33.6	33.6	33.6	33.0	33.4	33.5	33.6	33.5	33.5	33.6	33.5	33.5	33.5	33.5	33.4	33.3	33.4	33.5	33.5	33.6	33.5	33.6	33.6	33.6	33.6	33.5	33.5	33.5	33.6	33.4	33.5	33.5	33.4	33.5
10	33.6	33.6		33.6	33.6	*33.7*	33.6	33.6	33.6	33.6	33.6	33.6	33.6	33.5	33.6	33.6	33.5	33.5	33.6	33.6	33.5	33.6	33.6	33.6	33.5	33.5	33.6	33.6	33.6	33.6	33.6	33.5	33.6	33.6	33.5	33.5	33.5	33.6	33.6	33.6	33.5	33.6	33.6
15	33.6	33.6		33.6	33.6	33.6	33.6	33.6	33.6	33.6	33.6		33.6	33.6	33.6	33.6			33.6	33.6	33.6	33.5	33.6	33.6	33.6	33.6	33.5	33.6	33.6		33.6	33.6	33.6	33.6	33.6	33.6	33.6	33.6	33.6	33.6	33.5	33.6	
20		33.6		33.6		33.6	33.6	33.6		33.6			33.6	33.6	33.6	33.6			33.5	33.6	33.6	33.6	33.6	33.6	33.6	33.6	33.5	33.6	33.6		33.6		33.6	33.6	33.6	33.6		33.6	33.6	33.6			
海底上2m	33.6	33.6	33.6	33.6	33.6	33.6	33.6	33.6	33.6	33.6	33.6	33.6	33.6	33.6	33.6	33.6	33.5	33.5	33.6	33.6	33.6	33.6	33.6	33.5	33.5	33.6	33.5	33.6	33.6	33.6	33.6	33.6	33.6	33.6	33.6	33.6	33.6	33.6	33.6	33.6	33.6	33.6	33.6
(水深:m)	(17.5)	(24.0)	(10.0)	(34.5)	(20.0)	(22.0)	(31.5)	(37.5)	(17.0)	(34.0)	(16.0)	(11.5)	(28.5)	(40.5)	(38.5)	(25.5)	(12.0)	(11.5)	(39.0)	(27.5)	(28.5)	(28.0)	(36.0)	(45.0)	(42.5)	(30.5)	(63.5)	(41.5)	(23.0)	(14.0)	(34.0)	(17.5)	(35.5)	(30.5)	(22.0)	(29.0)	(18.5)	(39.0)	(41.0)	(36.0)	(16.0)	(16.0)	(11.5)

注 1 St.はステーションの意で測定地点を示す。

2 「／」は海底に達したため測定不能箇所を示す。

3 実用塩分(気象庁「海洋観測指針」による）であり，電気伝導度比により定義されるため単位はない。海水1kg中に含まれる塩分（g）と同程度の値を示す。

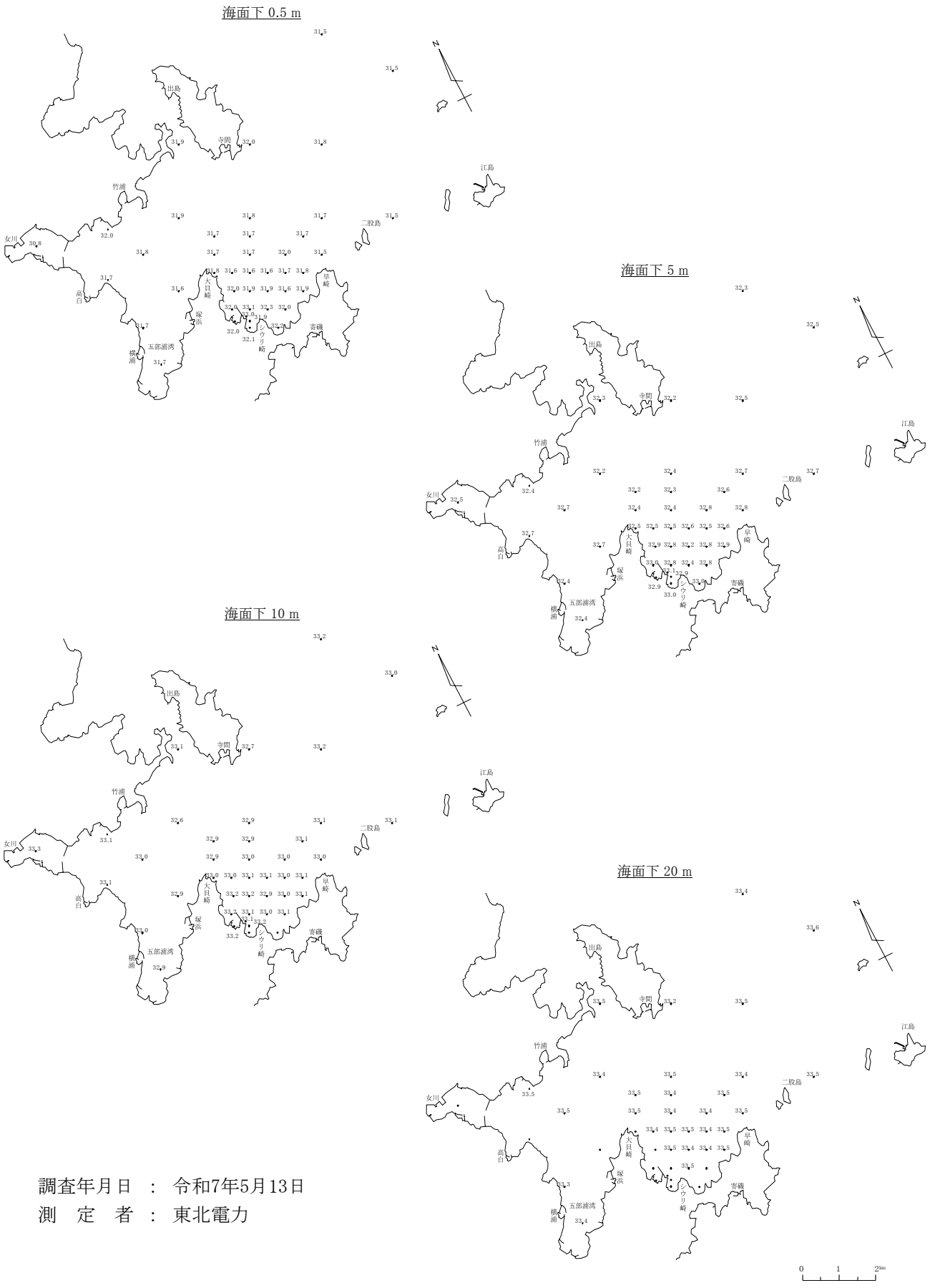
範囲内の最大値

範囲内の最小値



単　　位：　　℃
調査年月日：令和7年5月13日
測 定 者：東北電力

図Ⅰ－2－(3) 水温水平分布 ［干潮時］



調査年月日 ： 令和7年5月13日
測　定　者 ： 東北電力

図Ⅰ－2－(4) 塩分水平分布 ［干潮時］

表Ⅰ－4－(3) 水温鉛直分布(干潮時)

単　　位：　℃
調査年月日：令和7年5月13日
測 定 者：東北電力

St.	周辺海域																						前面海域																		浮1	浮2,3	取水口前面
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	13	14	15	19	23	24	25	26	27	28	38	39	40	11	12	16	17	18	20	21	22	29	30	31	32	33	34	35	36	37			
m																																											
0.5	11.7	11.0	11.1	11.2	11.7	*11.8*	11.0	11.4	11.5	11.6	10.7	11.5	11.4	11.4	11.0	11.2	11.2	11.5	10.7	11.2	11.5	11.5	11.4	11.5	11.3	11.6	11.4	11.7	11.6	11.6	11.7	11.4	11.3	11.6	11.2	11.6	11.4	11.7	11.7	11.6	*11.6*	11.9	11.3
1	11.4	11.0	11.1	11.2	11.7	11.6	10.9	11.4	11.4	11.6	10.6	11.5	11.4	11.4	10.8	11.1	11.2	11.3	10.7	11.0	11.5	11.4	11.3	11.4	11.2	11.6	11.3	11.7	11.5	11.6	*11.8*	11.3	11.2	11.5	11.1	11.5	11.4	11.7	11.6	11.6	11.5	11.8	11.2
2	10.9	11.0	11.2	11.0	11.4	11.4	10.9	11.4	11.4	11.6	10.6	11.5	11.2	11.4	10.7	10.7	11.0	11.4	10.6	10.8	11.4	11.3	11.2	11.3	11.0	11.2	11.2	11.5	11.5	11.5	11.4	11.4	10.9	11.3	11.1	11.4	11.4	11.7	11.5	11.5	11.3	11.9	11.0
3	10.7	10.7	10.8	10.8	10.9	11.1	11.0	11.1	11.2	11.3	10.6	11.2	11.3	11.3	10.6	10.4	10.8	10.9	10.5	10.6	11.2	11.4	11.1	11.1	10.5	11.1	11.1	11.3	11.4	11.5	11.4	11.1	10.5	11.4	11.2	11.4	11.4	11.7	11.4	11.5	11.2	11.9	10.8
4	10.6	10.6	10.5	10.6	10.8	11.1	10.8	10.9	11.2	11.2	10.5	11.2	11.3	11.1	10.5	10.4	10.7	11.2	10.5	10.4	11.1	11.3	10.5	11.0	10.3	11.1	11.0	11.1	11.3	11.4	11.3	11.0	10.4	11.3	11.2	11.3	11.4	11.6	11.4	11.3	11.1	*12.0*	10.8
5	10.5	10.5	10.5	10.4	10.6	11.1	10.8	10.8	10.7	10.9	10.5	11.1	11.2	11.0	10.4	10.3	10.8	11.0	10.5	10.4	11.0	11.2	11.0	10.8	10.4	10.9	10.8	11.0	11.2	11.3	11.1	11.0	10.4	11.2	11.2	11.2	11.4	11.4	11.4	11.2	11.0	*12.0*	10.6
7	10.3	10.3	10.3	10.4	10.6	11.1	10.7	10.8	10.5	10.7	10.5	10.6	10.6	10.8	10.4	10.2	10.7	11.0	10.4	10.5	10.7	10.7	10.7	10.3	10.4	10.4	10.6	10.8	11.1	11.0	10.9	10.4	10.3	10.4	11.2	11.0	11.2	11.2	11.1	10.9	10.9	*12.0*	10.4
10	9.4	9.9	9.8	10.4	10.3	10.6	10.0	10.5	10.4	10.3	10.3	10.3	10.2	10.5	9.9	9.9	10.5	10.6	10.0	10.5	10.2	10.4	10.3	10.4	10.1	10.2			10.7	10.7	10.6	10.3	10.2	10.3	11.1	10.5	11.0	11.0	10.6	10.5	*10.4*	*11.7*	10.1
15	9.0	9.1		9.7	9.9	9.9	9.2	10.2	9.4	9.6	10.2	9.5	9.5	10.0	9.8	9.7	9.6	9.9	9.4	10.0	9.6	9.6	9.6			9.6			10.2	10.2	9.9	9.7		9.8	9.6	9.8	10.3	10.5	9.9	9.9			
20		*8.9*		9.0	9.4	9.2	*8.9*	9.4		9.2	9.7	9.2	9.2	9.4	9.7	9.4	9.4	9.2	9.6	9.2	9.1	9.2	9.1			9.1			9.2	9.2	9.2	9.4		9.1		9.2	9.4	*8.9*	9.2				
海底上2m	9.0	8.8	9.7	8.8	9.1	9.5	8.9	8.7	9.6	8.8	9.5	8.7	8.7	8.7	8.8	8.8	8.7	8.7	8.7	9.1	8.7	8.7	8.7	10.4	10.2	9.1	10.6	10.8	8.9	9.2	9.2	9.2	10.2	8.7	10.1	8.7	8.9	9.0	8.8	9.6	10.1	11.9	10.1
(水深:m)	(16.5)	(27.0)	(14.5)	(35.5)	(25.0)	(20.5)	(26.0)	(37.0)	(15.5)	(34.0)	(26.5)	(40.5)	(38.0)	(33.0)	(35.0)	(43.5)	(39.5)	(36.0)	(65.5)	(24.5)	(38.5)	(40.0)	(35.5)	(10.5)	(11.5)	(23.0)	(9.5)	(9.0)	(26.5)	(22.0)	(21.0)	(25.0)	(12.5)	(35.5)	(15.5)	(36.0)	(29.5)	(21.0)	(32.5)	(19.0)	(15.0)	(14.0)	(11.5)

注 1　St.はステーションの意で測定地点を示す。
　 2　「／」は海底に達したため測定不能箇所を示す。
　 3　過去は昭和59年7月から令和6年度までを表す。

過去同期(昭和59年7月から令和6年度まで)の測定範囲

周辺海域[3.7～16.7℃]　前面海域[4.8～15.6℃]
1号機浮上点[5.2～15.4℃]　2,3号機浮上点[5.8～15.8℃]

□ 範囲内の最大値
□ 範囲内の最小値

表Ⅰ－4－(4) 塩分鉛直分布(干潮時)

調査年月日 ： 令和7年5月13日

測　定　者 ： 東北電力

St.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	浮1	浮2,3	取水口前面
m																																										
0.5	30.8	32.0	31.7	31.8	31.7	31.7	31.9	31.9	31.6	31.7	31.8	32.0	32.0	31.8	31.7	31.9	32.1	32.2	32.0	31.6	31.8	31.9	31.5	31.8	31.7	31.5	31.5	31.5	31.6	32.0	31.6	33.1	31.6	31.9	32.3	31.7	32.0	31.7	31.7	31.7	31.9	33.0	32.0
1	31.3	32.0	31.7	31.8	31.6	31.7	32.0	31.9	31.6	31.7	31.8	32.1	32.0	31.8	31.6	31.9	32.2	32.2	32.0	31.7	31.8	31.9	31.6	31.8	31.7	31.7	31.5	31.6	31.6	32.1	31.6	33.1	31.6	32.0	32.3	31.7	32.0	31.7	31.7	31.7	32.0	33.0	32.1
2	32.0	32.0	31.7	31.8	31.9	31.9	32.0	32.0	31.7	31.6	31.9	32.3	32.1	31.7	31.8	32.2	32.6	32.3	32.4	32.3	31.8	32.2	31.8	31.8	31.7	32.1	31.8	31.8	32.0	32.5	31.7	33.1	31.9	32.1	32.3	32.2	32.0	31.8	31.8	31.7	32.4	33.1	32.4
3	32.2	32.1	32.2	32.2	32.1	32.1	32.1	32.1	31.8	31.7	32.0	32.8	32.1	31.9	32.1	32.6	32.8	32.7	32.6	32.4	31.8	32.5	31.9	32.2	31.8	32.1	32.2	32.1	32.2	32.9	32.0	33.1	32.1	32.1	32.3	32.3	32.3	32.1	32.1	32.0	32.7	33.0	32.7
4	32.3	32.3	32.6	32.4	32.2	32.2	32.2	32.2	32.0	32.0	32.1	32.9	32.2	32.2	32.3	32.7	32.9	32.9	32.7	32.6	32.5	32.7	32.3	32.4	32.0	32.7	32.5	32.5	32.3	33.0	32.1	33.0	32.3	32.1	32.3	32.4	32.7	32.2	32.1	32.1	32.8	33.1	32.7
5	32.5	32.4	32.7	32.7	32.4	32.4	32.3	32.2	32.7	32.4	32.5	32.9	32.2	32.4	32.4	32.8	33.0	33.0	32.8	32.8	32.6	32.9	32.3	32.5	32.7	32.8	32.5	32.7	32.5	33.0	32.5	32.8	32.6	32.2	32.4	32.5	32.8	32.2	32.3	32.6	32.9	33.1	32.9
7	32.8	32.8	32.8	32.9	32.8	32.7	32.4	32.3	32.8	32.6	32.9	33.0	32.3	32.8	32.8	33.1	33.1	33.1	32.9	32.8	32.9	32.9	32.6	32.7	32.9	32.9	32.5	32.9	32.9	33.1	32.9	33.1	32.8	32.8	32.9	32.7	33.0	32.6	32.7	32.9	33.0	33.0	33.0
10	33.3	33.1	33.1	33.0	33.0	32.9	33.1	32.6	32.9	32.9	33.0	33.2	32.7	32.9	33.0	33.2	／	／	33.0	33.0	33.1	33.1	33.2	33.2	33.1	33.0	33.0	33.1	33.0	33.2	33.1	33.1	33.1	32.9	33.0	33.0	33.1	32.9	32.9	33.1	33.2	33.1	33.2
15	33.5	33.4	／	33.2	33.1	33.1	33.4	33.1	33.4	33.3	／	／	32.9	33.3	33.4	33.4	／	／	33.2	33.3	33.2	33.3	33.4	33.4	33.4	33.3	33.4	33.2	33.3	／	33.2	33.4	33.3	33.2	33.2	33.3	33.3	33.3	33.2	33.3	／	／	／
20	／	33.5	／	33.5	33.3	33.4	33.5	33.4	／	33.5	／	／	33.2	33.5	33.4	33.5	／	／	33.4	33.4	33.5	33.5	33.4	33.5	33.4	33.5	33.6	33.5	33.4	／	33.5	／	33.5	33.4	33.5	33.4	／	33.5	33.4	33.5	／	／	／
海底上2m	33.5	33.6	33.2	33.6	33.4	33.3	33.5	33.6	33.3	33.5	33.0	33.2	33.4	33.6	33.6	33.5	33.1	33.1	33.6	33.5	33.5	33.5	33.6	33.6	33.6	33.6	33.6	33.5	33.4	33.2	33.6	33.0	33.6	33.5	33.5	33.6	33.4	33.6	33.6	33.6	33.2	33.0	33.2
(水深:m)	(16.5)	(27.0)	(14.5)	(35.5)	(25.0)	(20.5)	(26.0)	(37.0)	(15.5)	(34.0)	(10.5)	(11.5)	(26.5)	(40.5)	(38.0)	(23.0)	(9.5)	(9.0)	(33.0)	(26.5)	(22.0)	(21.0)	(35.0)	(43.5)	(39.5)	(36.0)	(65.5)	(24.5)	(25.0)	(12.5)	(35.5)	(15.5)	(36.0)	(29.5)	(21.0)	(32.5)	(19.0)	(38.5)	(40.0)	(35.5)	(15.0)	(14.0)	(11.5)

注 1　St.はステーションの意で測定地点を示す。

2 「／」は海底に達したため測定不能箇所を示す。

3 実用塩分(気象庁「海洋観測指針」による）であり，電気伝導度比により定義されるため単位はない。海水1kg中に含まれる塩分（g）と同程度の値を示す。

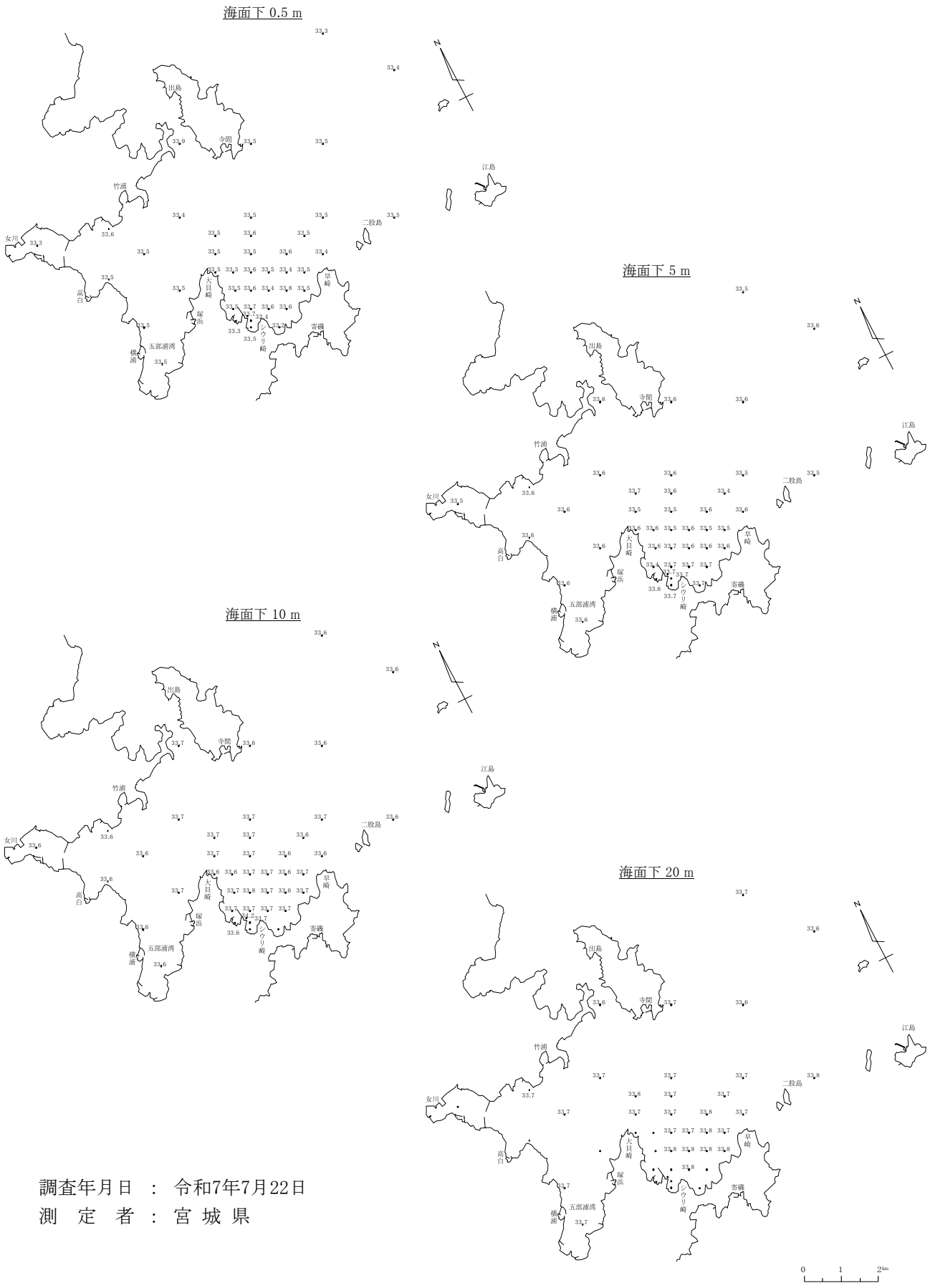
範囲内の最大値

範囲内の最小値



単　　位：　　℃
調査年月日：令和7年7月22日
測 定 者：宮 城 県

図Ⅰ－2－(5) 水温水平分布 ［干 潮 時］



調査年月日 ： 令和7年7月22日
測 定 者 ： 宮 城 県

図Ⅰ－2－(6) 塩分水平分布 ［干 潮 時］

表Ⅰ－4－(5) 水温鉛直分布(干潮時)

単　　位：　℃
調査年月日：令和7年7月22日
測 定 者：宮城県

St.	周辺海域																						前面海域																		浮1	浮2,3	取水口前面
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	13	14	15	19	23	24	25	26	27	28	38	39	40	11	12	16	17	18	20	21	22	29	30	31	32	33	34	35	36	37			
m																																											
0.5	19.7	17.9	19.4	19.6	19.4	19.6	18.6	20.0	19.3	*20.2*	18.8	19.4	19.5	18.2	19.9	19.1	18.7	18.2	19.2	19.2	19.6	19.0	18.5	19.8	19.5	18.6	19.3	*20.8*	19.2	18.4	19.0	19.1	20.4	19.6	16.9	19.5	19.8	19.4	18.8	19.2	*19.8*	*17.6*	20.1
1	18.6	17.6	19.2	19.2	19.2	19.3	18.8	19.1	19.3	20.0	18.6	19.2	19.4	18.1	19.5	19.1	18.6	18.0	19.0	18.9	19.1	18.8	18.5	19.4	19.4	18.7	18.5	19.6	19.4	18.4	18.6	19.0	19.7	19.6	16.8	19.4	19.4	19.2	18.5	19.2	19.4	*17.6*	19.5
2	17.9	17.5	18.7	18.3	18.8	18.8	18.9	18.1	19.0	19.4	18.3	18.7	19.2	18.1	19.3	18.8	18.5	17.8	18.8	18.7	18.9	18.5	18.5	18.9	19.3	18.1	17.3	18.6	18.6	18.2	18.1	18.5	18.9	19.1	17.3	19.3	18.6	18.1	18.1	18.2	18.6	17.5	19.1
3	17.3	17.2	17.8	17.5	18.3	18.3	16.8	17.1	18.1	19.2	18.1	18.4	18.9	17.7	19.3	17.6	18.2	17.6	18.6	18.4	17.4	18.1	18.4	18.1	18.1	17.7	17.2	17.6	18.3	18.1	17.8	18.1	17.9	18.9	17.4	19.2	18.4	17.6	18.0	17.8	17.4	*17.6*	17.8
4	16.7	16.9	17.1	17.0	17.4	17.9	16.5	16.8	17.5	18.9	18.1	18.2	18.8	17.3	19.2	16.1	17.9	17.5	18.4	17.7	17.1	17.9	18.3	17.6	17.1	17.4	16.9	17.1	18.1	17.9	17.6	17.9	17.4	18.8	17.3	18.1	17.9	17.4	17.9	17.2	17.1	17.5	17.1
5	16.2	16.9	16.8	16.9	16.8	17.5	16.4	16.7	17.1	18.5	18.1	17.2	18.8	17.1	18.9	15.9	17.5	17.5	18.2	16.5	16.6	17.0	18.1	16.9	16.9	17.3	16.8	16.6	17.9	17.6	17.5	16.7	17.2	18.2	17.0	17.7	17.3	16.9	17.8	17.1	16.9	17.4	16.9
7	15.9	16.3	16.1	16.5	16.6	17.3	16.2	16.1	16.8	17.1	17.6	15.5	17.9	16.9	18.3	15.8	17.2	17.4	16.7	15.9	16.4	16.0	17.4	16.3	15.5	16.4	16.7	16.2	17.4	17.3	17.1	16.2	16.0	16.8	16.1	16.4	16.4	16.8	17.4	16.6	16.9	17.2	16.2
10	15.3	15.7	15.5	15.8	15.7	16.6	16.0	15.5	15.7	15.8	16.4	15.3	15.8	16.6	17.4	15.3	14.8	16.8	14.9	15.0	15.3	15.4	16.5	15.7	14.9	15.6			16.1	15.5	16.0	15.6	15.1	15.7	15.6	15.9	16.2	16.5	16.3	16.0	*16.5*	16.4	15.6
15	14.5	15.0		14.4	14.7	15.1	15.4	15.2		14.7	14.6	14.9	14.9	14.8	15.6	14.6	14.6	15.3	14.3	13.7	15.1	14.8	14.6	14.4		14.4			14.9	14.4	14.9	14.3		14.8	13.9	15.1	15.4	15.4	14.9	15.4		*15.9*	
20		14.4		13.9	14.1	13.6	14.3	14.2		13.9	14.4	14.1	14.1	13.7	14.6	14.2	14.3	14.4	13.9	*13.5*	14.0	14.3	14.3			14.0			13.6	14.3	13.5			14.0		14.0	13.7	13.5	*13.4*				
海底上2m	14.5	14.4	15.5	12.8	14.2	13.9	13.0	12.6	15.7	13.0	14.3	12.5	12.7	12.6	13.5	13.3	12.6	14.3	12.7	13.4	12.6	12.4	12.7	14.6	14.8	13.6	16.8	16.2	13.2	13.8	13.3	13.9	14.9	12.9	14.1	12.8	13.2	13.5	13.0	15.4	15.6	15.8	15.9
(水深:m)	(17.0)	(22.5)	(12.0)	(33.5)	(20.5)	(21.0)	(31.0)	(37.5)	(13.0)	(34.0)	(25.0)	(39.5)	(37.0)	(33.5)	(41.0)	(44.0)	(41.0)	(33.5)	(71.0)	(31.0)	(38.0)	(40.0)	(39.5)	(16.0)	(12.5)	(25.5)	(8.5)	(10.0)	(26.5)	(30.0)	(25.0)	(19.5)	(13.5)	(33.5)	(16.0)	(34.0)	(29.0)	(21.0)	(30.0)	(17.0)	(15.0)	(19.5)	(11.5)

注 1　St.はステーションの意で測定地点を示す。
　 2　「／」は海底に達したため測定不能箇所を示す。
　 3　過去は昭和59年7月から令和6年度までを表す。

過去同期(昭和59年7月から令和6年度まで)の測定範囲

周辺海域[11.2～25.4℃]　前面海域[11.8～23.4℃]
1号機浮上点[12.7～23.1℃]　2,3号機浮上点[12.3～22.8℃]

□ 範囲内の最大値
□ 範囲内の最小値